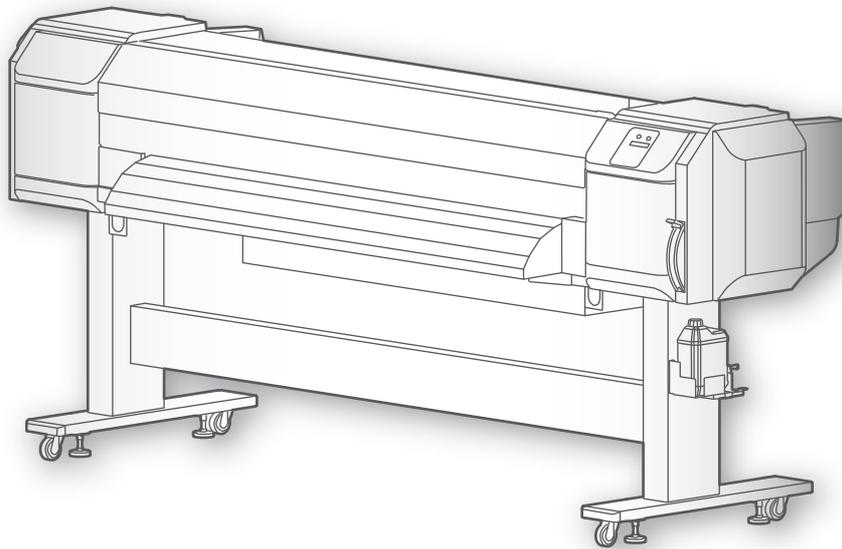


VJ-1638UR Mark II

取扱説明書

使い方とメンテナンス方法



-
- 本書の内容の全部または一部を、無断で複写・複製することを禁止します。
 - 本書の内容につきましては万全を期していますが、万一ご不明の点や、誤り、お気づきの点がございましたら、弊社またはお買い求めの販売店にご連絡ください。
 - 本書に記載された取扱方法以外の手順によって生じた故障、事故などにつきましては、一切責任を負いかねますのでご了承ください。
 - 記載されている会社名、製品名は、各社の商標および登録商標です。

この装置は、クラス A 情報技術装置です。
この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。
この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

本システム（きょう体と安全装置含む）は、クラス 2 レーザ機器です。

【注意】

本書および取扱説明書に規定した以外の手順による制御や調整は、危険なレーザ放射の被ばくをもたらします。
IEC 60825-1 Edition 3.0(2014-05)

【本システムのレーザ仕様】（きょう体を含む）

最大出力：1 mW 以下、パルス持続時間：3.0 μ s、波長：655 nm

第1章 基本的な使い方

はじめに	9
各部の名称.....	9
メニューチャート	13
本製品のシステム構成.....	17
コンピューターとの接続.....	18
MUTOH Status Monitor の起動方法／表示方法／終了方法	19
本製品の印刷エリア	21
使用できるメディアの条件.....	22
ご使用上のお願い	23
電源のオンオフ.....	26
電源をオンにする	26
電源をオフにする	26
長期間使用しない場合（長期保存）.....	27
スリープモード.....	30
メディアのセット方法	32
ロール紙受けにメディアを取り付ける	32
プリンターにメディアをセットする.....	34
メディアをセットしたら・・・.....	36
ノズルチェックとクリーニング	38
ノズルチェック	38
クリーニング.....	40
印刷精度の調整.....	41
ヘッド調整.....	41
画質調整	43
メディア送り補正	45
ヘッド高さを変更する.....	47
操作パネルからの各種操作.....	48
メディア送り.....	48
印刷の一時停止／再開.....	48
印刷のキャンセル	49
ロール紙のカット	49
印刷中に操作パネルでできること.....	50

第2章 パネル設定メニュー

はじめに	55
------------	----

キー操作.....	55
パネル設定メニュー.....	56
メニュー 1: スリープモード.....	60
メニュー 2: ユーザ定義.....	61
メニュー 3: 設定.....	73
セット 1: サイドマージン.....	73
セット 2: 排紙モード.....	73
セット 3: カット方法.....	74
セット 4: 原点設定.....	75
セット 5: CR 作画移動幅.....	75
セット 6: 重ね描き回数.....	76
セット 7: 斜行チェック.....	77
セット 8: シングルヘッド.....	77
セット 9: ノズル選択.....	78
セット 10: オートクリーニング.....	78
セット 11: ロール紙長さ設定.....	79
セット 12: 先端処理.....	80
セット 13: CR メンテナンス.....	81
セット 14: インクステータス.....	81
セット 15: 寿命確認.....	82
セット 16: ヘッダーダンプ.....	83
セット 17: 排気ファン.....	83
セット 18: ホワイトメンテナンス.....	84
セット 19: スタートフィード.....	84
セット 20: 初期化.....	84
セット 21: フラッシング.....	85
セット 22: カラーメンテナンス.....	86
セット 23: 追加照射回数.....	86
セット 24: 一時詳細表示.....	86
メニュー 4: テスト作画.....	87
テスト 1: ノズルチェック.....	87
テスト 2: ノズルチェック B.....	87
テスト 3: モードプリント.....	88
テスト 4: 設定内容.....	88
テスト 5: パレット.....	89
テスト 6: ヘッド調整.....	90
メニュー 5: クリーニング.....	92
メニュー 6: 簡易選択.....	93
メニュー 7: メンテナンス.....	94
メンテナンス 1: デイリーメンテナンス.....	94
メンテナンス 2: プラグ寿命.....	94
メンテナンス 3: インク排出.....	95
メンテナンス 4: 漬け置きクリーニング.....	96

メニュー 8: バージョン.....	96
メニュー 9: 初期設定	96
初期設定 1: 言語	96
初期設定 2: 長さ	96
初期設定 3: IP アドレス.....	97
初期設定 4: サブネットマスク.....	97
初期設定 5: ゲートウェイ	97
初期設定 6: 警告ブザー	98
メニュー 10: Job ステータス.....	98

第 3章 メンテナンス

メンテナンスについて	100
手袋、ゴーグルをつける	101
付属の手袋の装着方法.....	101
インクをかくはんする	102
インクをかくはんする.....	102
インクの確認と交換	105
インク残量を確認する.....	105
インクの交換が近づいたら.....	106
インクの交換.....	106
大容量パックアダプターのプラグ交換.....	110
廃液タンクを空にする	111
廃液タンクを空にする.....	111
デイリーメンテナンス	114
デイリーメンテナンスの流れ	114
デイリーメンテナンスの準備	115
デイリーメンテナンスを行う	117
デイリーメンテナンス後も印刷を行う場合の手順.....	122
ご使用にあわせたメンテナンス	124
ヘッドクリーニング	124
漬け置きクリーニング.....	125
内部の清掃.....	126
消耗品の交換	127
フラッシングボックス用吸収材の交換	127
カッターの交換	131
クリーニングワイパーの交換	134

輸送.....	136
移動の方法.....	136
輸送の方法.....	137
インク排出後の初期充電の方法.....	138

第4章 付録

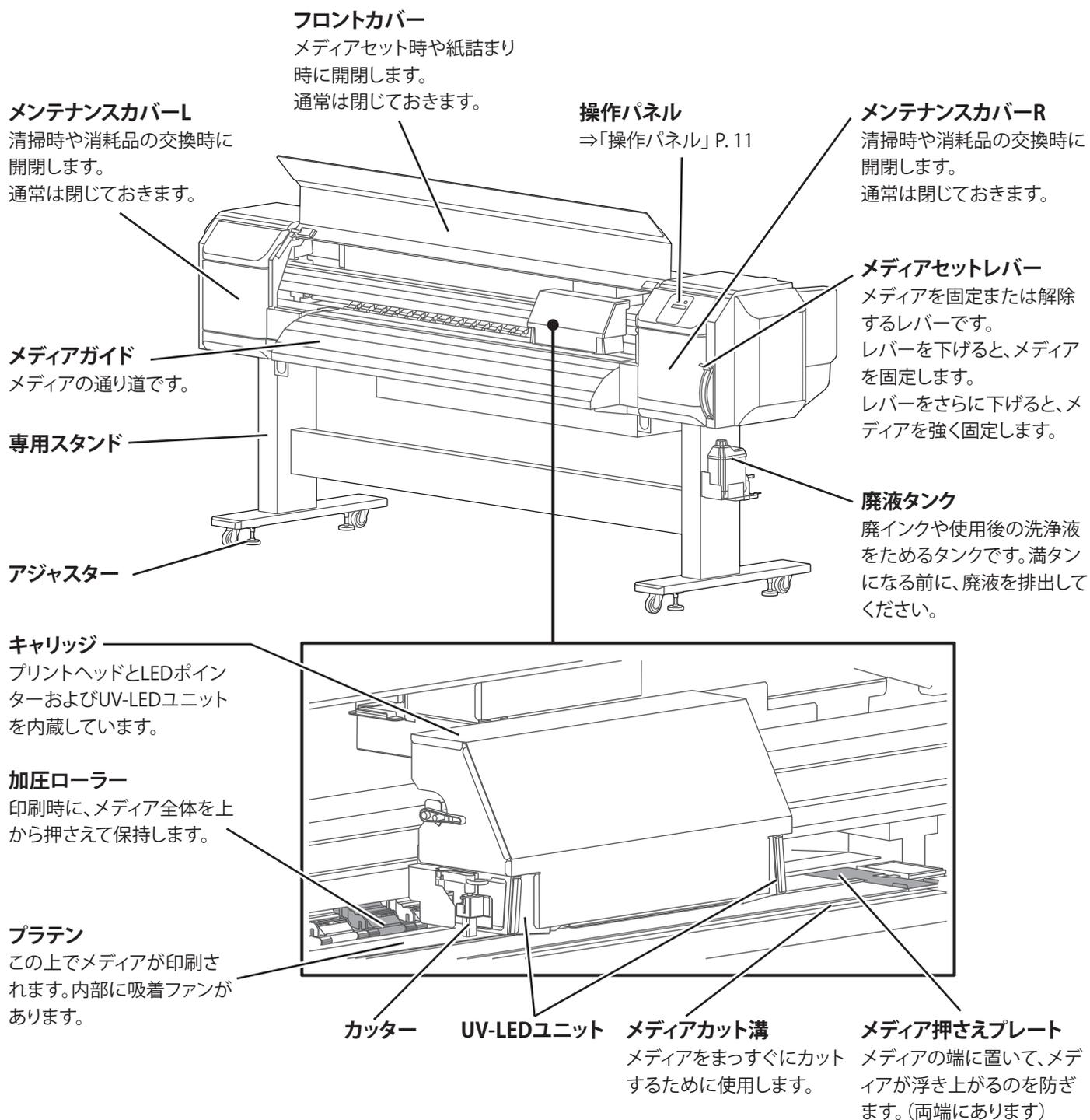
メッセージとエラーメッセージ.....	142
動作状態表示.....	142
メッセージ型エラー表示と対処方法.....	144
再起動が必要なエラー.....	148
トラブルシューティング.....	149
設置・導入時のトラブル.....	149
動作に関するトラブル.....	150
メディアに関するトラブル.....	151
印刷に関するトラブル.....	153
メディアが詰まった場合.....	156
お問い合わせ先.....	158
本製品の仕様.....	159
仕様一覧.....	159
オプション・サプライ品リスト.....	161
インク.....	161
その他.....	162
改訂履歴.....	162

第 1 章 基本的な使い方

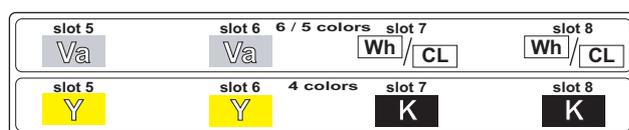
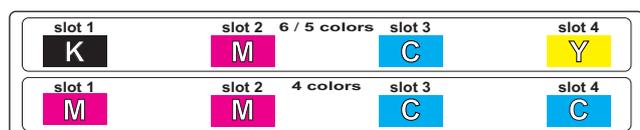
はじめに	9
各部の名称.....	9
メニューチャート	13
本製品のシステム構成.....	17
コンピューターとの接続.....	18
MUTOH Status Monitor の起動方法／表示方法／終了方法.....	19
本製品の印刷エリア	21
使用できるメディアの条件	22
ご使用上のお願い	23
電源のオンオフ.....	26
電源をオンにする	26
電源をオフにする	26
長期間使用しない場合（長期保存）.....	27
スリープモード.....	30
メディアのセット方法	32
ロール紙受けにメディアを取り付ける	32
プリンターにメディアをセットする.....	34
メディアをセットしたら・・・.....	36
ノズルチェックとクリーニング	38
ノズルチェック	38
クリーニング.....	40
印刷精度の調整.....	41
ヘッド調整.....	41
画質調整	43
メディア送り補正	45
ヘッド高さを変更する.....	47
操作パネルからの各種操作.....	48
メディア送り	48
印刷の一時停止／再開.....	48
印刷のキャンセル	49
ロール紙のカット	49
印刷中に操作パネルでできること.....	50

各部の名称

プリンター本体（正面）



プリンター本体（背面）



インク表示ラベル

インクカートリッジ
スロット

メディアセットレバー

メディアを固定または解除する
レバーです。
正面側のメディアセットレバー
と連動しています。

ロール紙受け

ロール紙をセットします。
ロール紙をはめ込むフランジ
と、ロール紙受けを固定する
固定レバーが付いています。

ネットワーク
コネクター

ACインレット

インク表示ラベル

インクカートリッジ
スロット

インクカートリッジや大容量
パックアダプターをセットし
ます。

給紙スロット

メディアをセットするとき、
ここにメディアを差し込んで
正面にメディアを通します。

メディアガイド

メディアの通り道です。

操作パネル

電源ボタン

- ・押すと電源をオンします。
電源オン時は青色に点灯します。
- ・もう一度押すと、電源をオフします。オフ状態では消灯します。
- ・データ受信中は点滅します。

[参考]

⏻ マークはスタンバイを意味します。
本製品は電源ボタンがオンでなくても、電源ケーブルが接続されていれば微量の電力を消費します。
本書では、この状態を「電源オフ」と表記しています。

[Head Height]ランプ

- ・ヘッド高さHigh:Highのみ点灯
- ・ヘッド高さLow:Lowのみ点灯

[Take up]ランプ

排紙モードを「マキトリ」に設定しているとき、緑色に点灯します。

[Auto Cut]ランプ

排紙モードを「オートカット」に設定しているとき、緑色に点灯します。

[Menu]キー

設定メニューに入るとき／出るときに使用します。

[Pause]キー／[Cancel]キー

- ・印刷を一時停止します。
- ・2秒以上押し続けると、印刷をキャンセルし、受信したデータを削除します。

設定メニュー表示時:

設定値の変更をキャンセルします。

エラーランプ

- ・エラー状態やカバーオープンの際にはオレンジ色に点灯します。
- ・インクが残り少ないときは点滅します。

ディスプレイ

本製品の状態、設定メニュー、エラーなどを表示します。

[Cleaning Mode]ランプ

ヘッドクリーニングのモードを、緑色に点灯して表示します。

クリーニングモード

- ・強力:Longが点灯
- ・通常:Normalが点灯
- ・微量:LongとNormalが同時点灯

[Enter]キー

メディアをセットした状態で2秒以上押し続けると、メディアのカットを行います。

設定メニュー表示時:

- ・各メニューに入ります。
- ・設定値を確定します。

[+]キー／[Backward feed]キー

メディアを逆方向に送ります。

設定メニュー表示時:

- ・別のメニューに移動します。
- ・設定値を変更します。

[-]キー／[Forward feed]キー

メディアを順方向に送ります。

設定メニュー表示時:

- ・別のメニューに移動します。
- ・設定値を変更します。

[<]キー／[Nozzle Check]キー

2秒以上押し続けると、ノズルチェックを実行します。

設定メニュー表示時:

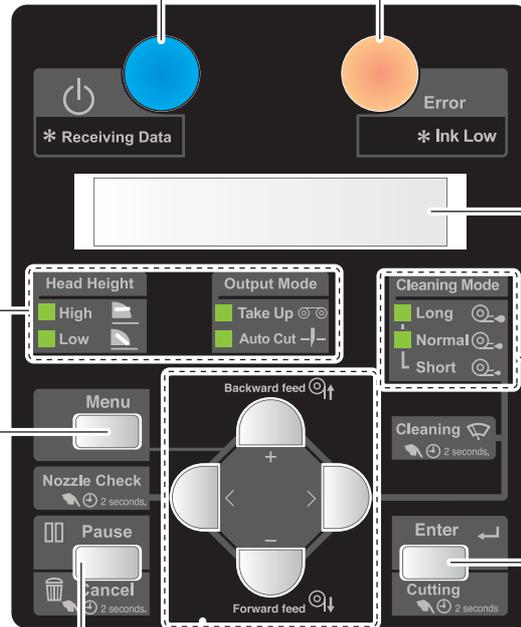
- ・設定値を変更します。

[>]キー／[Cleaning Mode]キー

- ・クリーニングモードを変更します。
- ・2秒以上押し続けると、ヘッドクリーニングを実行します。

設定メニュー表示時:

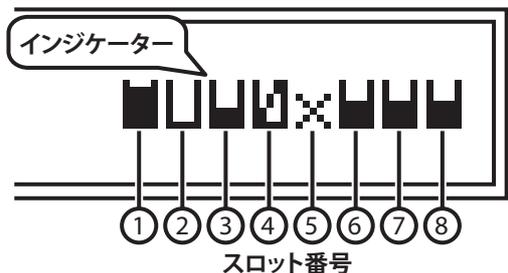
- ・メニューの下階層に移動します。
- ・設定値を変更します。



操作パネルのインジケータ表示

次の場合に、ディスプレイにインクやカートリッジの状態を示すインジケータを表示します。

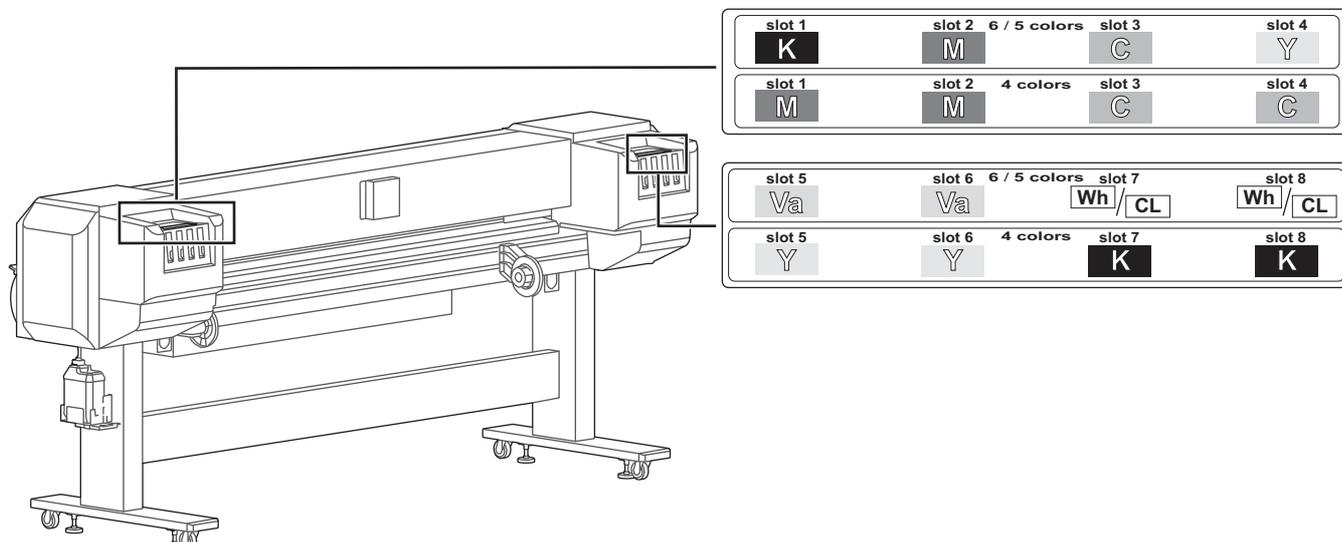
- ・メニューを表示していないとき
- ・インクやカートリッジのエラーのとき



- ・左図の場合、Slot 2 のカートリッジのインクが残り少なく、Slot 4 のカートリッジのインクがなく、Slot 5 のカートリッジが差し込まれていません。
- ・インジケータの意味は下表のとおりです。

	インク残量 80% 以上 100% 以下		インク残量 20% 未満 ・インジケータが点滅している場合、対応しているインクカートリッジに対してスマートチップリカバリーが実行されています。 「スマートチップリカバリー」P.147
	インク残量 60% 以上 80% 未満		インク少ない
	インク残量 40% 以上 60% 未満		インクなし
	インク残量 20% 以上 40% 未満		カートリッジなし

スロット番号とインクカートリッジの関係は次のとおりです。

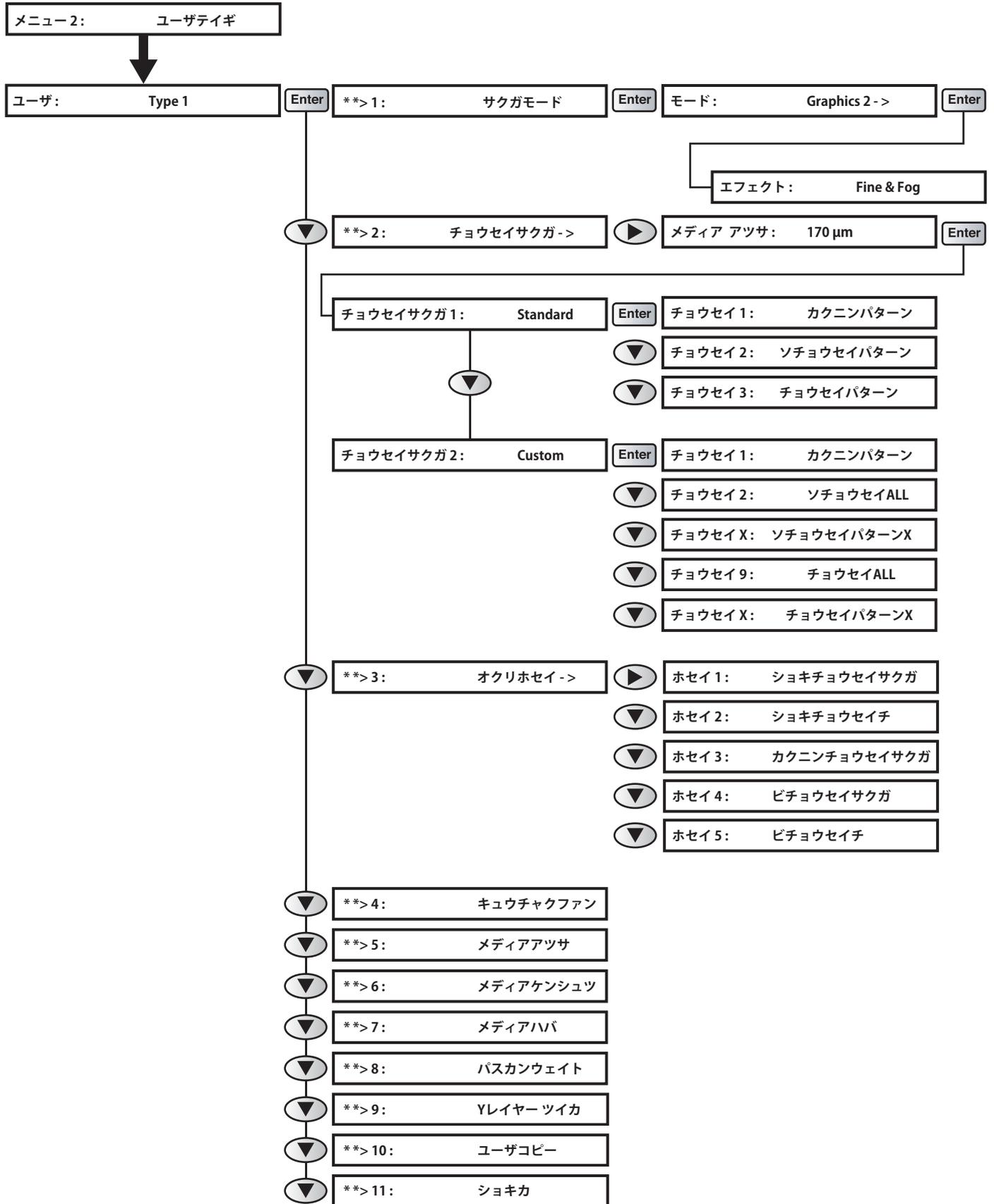


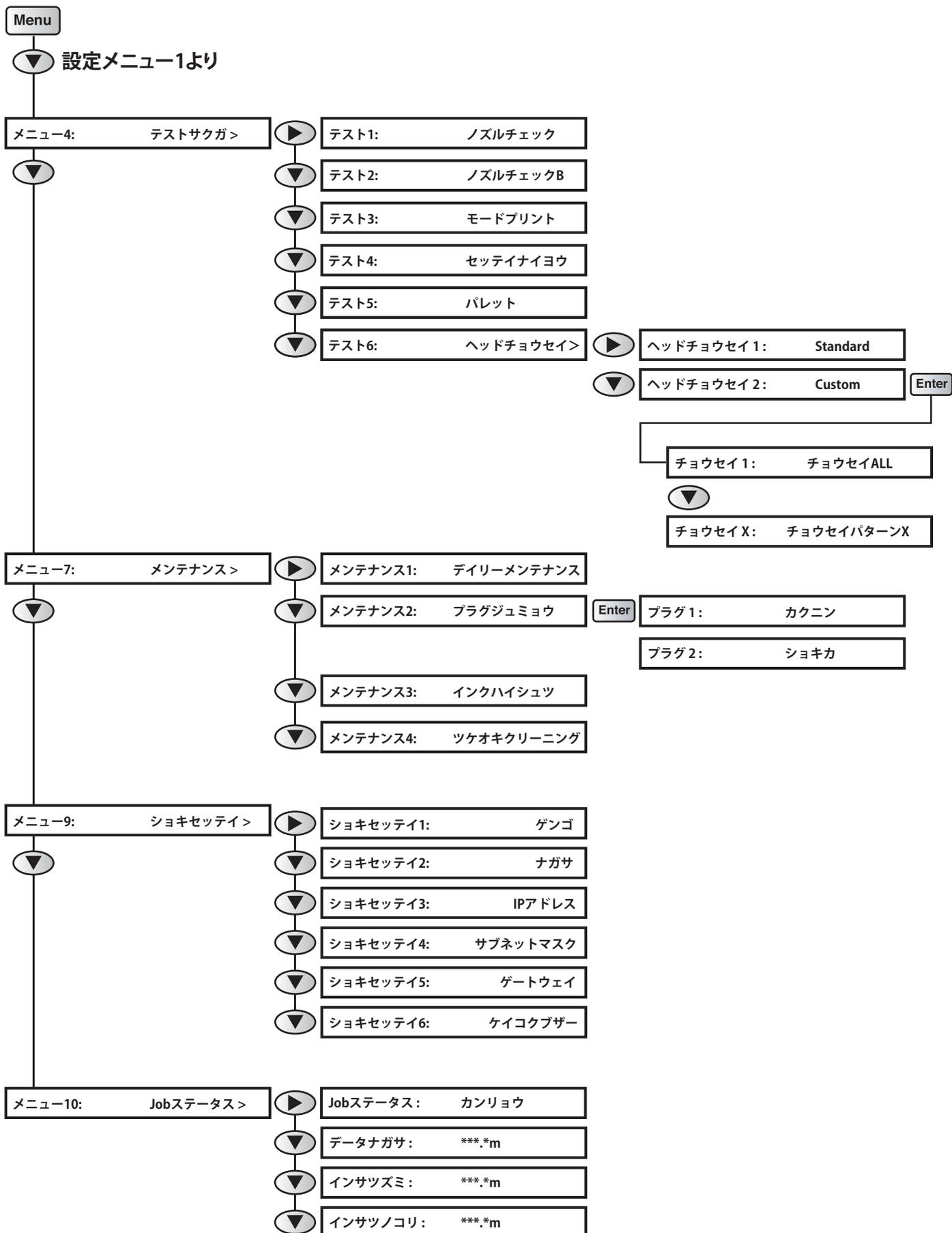
メニューチャート

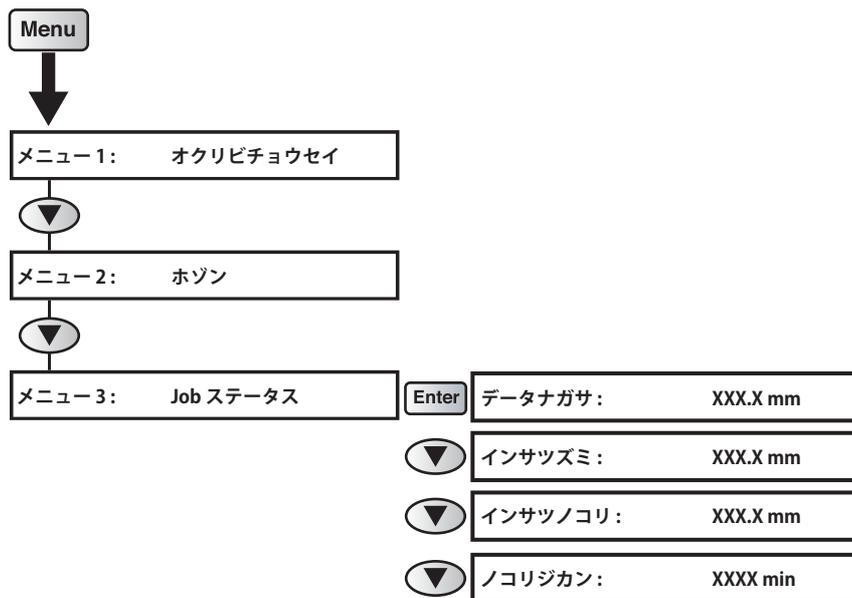
設定メニュー 1



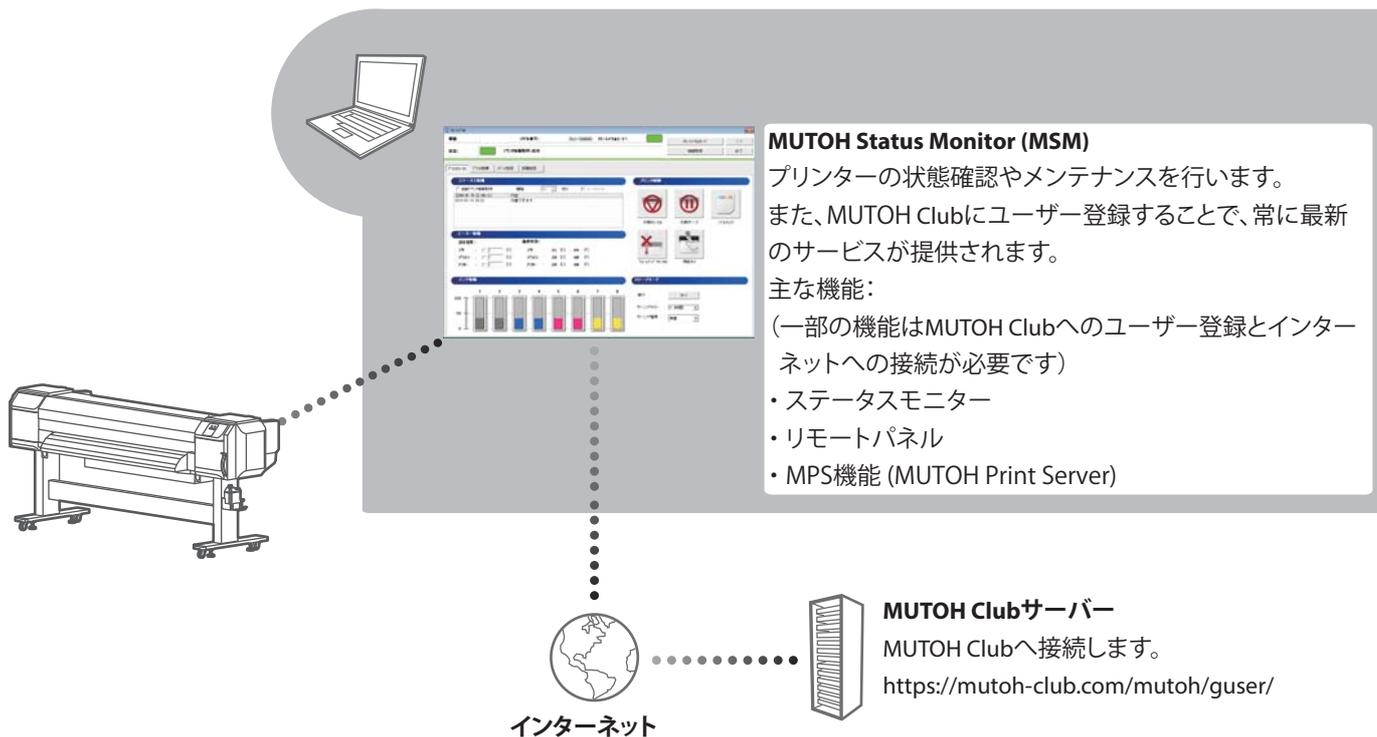
設定メニュー 2







本製品のシステム構成



*1 MUTOH Club

ユーザーに役立つコンテンツを無料で提供するWebサービスです。

ユーザー登録をすると様々なサービスをご利用いただけます。

主な機能：

- ・最新アプリ、マニュアルのダウンロード
- ・メディアプロファイルのダウンロード
- ・プリンター状態の確認
(MSMのプリンター情報提供サービス使用時)

<印刷サポートソフトについて>

本製品のスペックを最大に発揮するためには、MSMと、MSMのMPS機能をご利用ください。

最新のMSMは、MUTOH Clubからダウンロードできます。

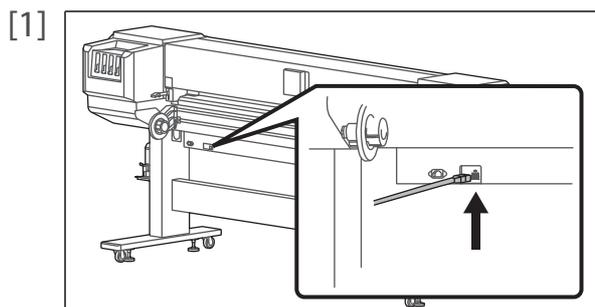
(MPS機能をご利用の場合は、RIPの出力先をMPS機能に切り替えてください。)

コンピューターとの接続

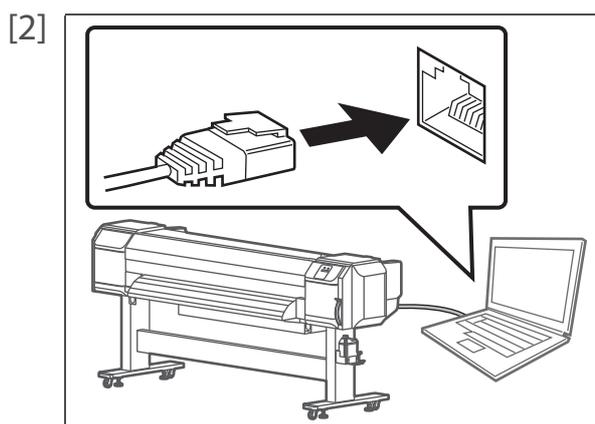
Important!

コンピューターは、以下の条件を満たすものをご使用ください。

- OS : Windows 11 (64bit)
- CPU : Intel (R) Core (TM) i5 / i7
- メモリ : 8G バイト以上
- ネットワーク : ギガビットイーサネットに対応したネットワークポート、Category 6 以降のギガビット対応イーサネットケーブルを使用



ギガビットイーサネットケーブルを本製品に接続します。



ギガビットイーサネットケーブルを、コンピューターに接続します。

[3] プリンターの操作パネルで、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを設定します。

👉 「初期設定 3 : IP アドレス」P.97 「初期設定 4 : サブネットマスク」P.97 「初期設定 5 : ゲートウェイ」P.97

Note

- 上図は本製品とコンピューターを 1 対 1 接続した例です。接続方法はご使用の環境により異なります。
- 本製品を LAN で使用する場合は、接続先のコンピューターと同じサブネットになるようにしてください。
- 当社が提供するソフトウェアの各 OS に対するサポート期間は、マイクロソフトの各 OS のサポート期間に準拠します。
- RIP ソフトウェアをご使用の場合は、RIP ソフトウェアの使用条件もご確認ください。

MUTOH Status Monitor の起動方法／表示方法／終了方法

MUTOH Status Monitor は以下 MSM と記載します。

MSM の起動方法



Windows 11

デスクトップの MSM アイコンをダブルクリックします。



Note

Windows のスタートメニューから起動する方法

[スタート] メニューから [すべてのプログラム] (または [すべてのアプリ]) - [MUTOH] - [MUTOH Status Monitor] の順にクリックします。

MSM の表示方法



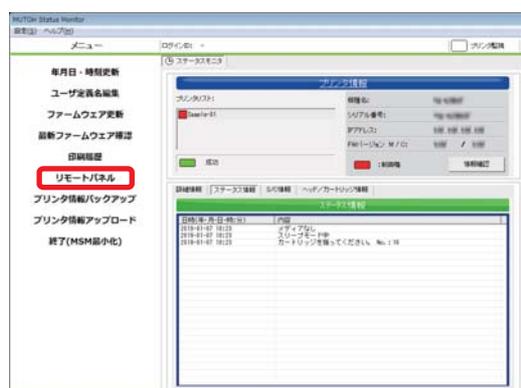
タスクトレイの MSM アイコンをダブルクリックします。

リモートパネルの表示方法

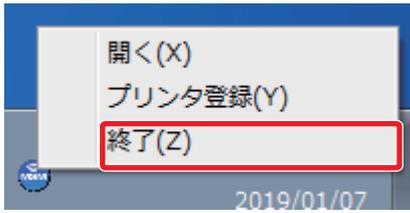
リモートパネルは、本製品の状態を見たり、操作したりするときに使用します。

[リモートパネル] をクリックします。

- ・ リモートパネルが開きます。



MSM の終了方法



タスクトレイの MSM アイコンを右クリックし、[終了] をクリックします。

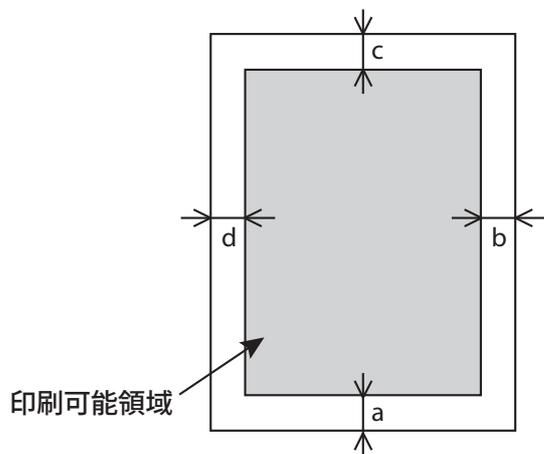
Note

通常のご使用時は MSM を終了させないでください。MSM の画面を閉じるときは、メニューバーの [設定] - [閉じる] の順にクリックします。

本製品の印刷エリア

印刷は常に原点位置（印刷開始点）から開始します。

下図は印刷結果の例です。



a=5 mm *¹
b=5 mm~25 mm
c=5 mm
d=5 mm~25 mm

*¹ ただし下記の場合は15 mmとなる

- メディアイニシャル直後
- メディア送りを[Backward ↑]キーで行ったとき

また、下記の場合は40 mmとなる

- メディア検出「Top&Width」設定時
- カット動作後

使用できるメディアの条件

本製品は、以下のメディアを使用することができます。

使用可能サイズ

外径	150 mm 以下
紙管径	2 インチまたは 3 インチ
重量	30 kg 以下
最大幅	1,625 mm
最小幅	182 mm
最大厚さ	1.3 mm (ヘッド高さ「High」設定時)

Important!

ヘッド高さの初期値は「Low」に設定されています。

ヘッド高さ「Low」設定時、使用可能なメディアの最大厚さは 0.3 mm です。

メディア取り扱い上のご注意

良好な画質を得るために、以下のことに十分注意してください。

以下の注意に従っていただけない場合、本製品の故障につながる恐れがあります。

- シワや折れ、反りなどが無いメディアを使用して下さい。
端が折れているなど、平らにならないメディアを使用する場合、メディア押さえを使用して、浮いている部分がないようにしてください。
- 熱に弱いメディアは使用しないでください。
UV 光の発する熱でメディアが変形します。
- UV-LED の光を反射しやすいメディアは、プリントヘッド表面のインクを硬化させるため、使用しないでください。

ご使用上のお願い

電源をオフにしないでください

本製品は、電源を常時オンにしてご使用ください。使わないときは電源をオフにせず、かならずスリープモードにしてください。

スリープモードにすると、本製品は定期的に本体内部のインクを循環し、ヘッドクリーニングを自動で行います。スリープモードにしないと本体内部のインクが沈殿・凝固し、画質不良や故障の原因となります。

硬化前の UV インクが皮膚に触れないようにしてください

UV インクは、メディアの表面特性により、硬化するまでの時間が異なる場合があります。特に、インク打ち込み量の少ない印刷部分は、硬化するまでに一定の時間を必要とします（目安として1時間）。

UV インクが硬化しているか確認するときは、かならず保護手袋を着用してください。

インクをかくはんしてください

インクカートリッジ（インクパック）は、はじめて使用する前にかくはんしてください。また、パネルメッセージに従って、定期的にかくはんする必要があります。

放置するとカートリッジ（パック）内部のインクが沈殿・凝固し、画質不良や故障の原因となります。

定期的に使用してください

本製品は1週間に1度は使用することをおすすめいたします。

長時間放置するとプリントヘッドのノズルが詰まり、故障の原因となります。

定期メンテナンスを実施してください

本製品は日常のメンテナンスが必要です。

- ・印刷前と後に、ノズルチェックを行ってください。
ノズル抜けがある場合はヘッドクリーニングを行ってください。
- ・1日の作業終了後に、かならずデイリーメンテナンスを行ってください。
デイリーメンテナンスを行わない場合、画質不良や故障の原因となります。
 「[デイリーメンテナンス](#)」P.114
- ・廃液タンクを定期的を確認し、満タンになる前に廃液を排出してください。
- ・1か月に1度は内部の清掃を行ってください。

インクの取り扱いに注意してください

- ・ インクをはじめて使用する前に、かならず安全データシート（SDS）をお読みの上、作業を行ってください。
- ・ インクカートリッジ（インクパック）を分解しないでください。
分解すると、インクが目に入ったり皮膚に付着し、炎症やアレルギー反応を起こす場合があります。
- ・ インクを取り扱うときは、インクが目に入ったり、皮膚に付着しないように注意してください。
目に入ったり皮膚に付着した場合は、直ちに水で洗い流してください。
そのまま放置すると、目の充血や軽い炎症を起こす恐れがあります。万一異常がある場合は、直ちに医師にご相談ください。

定期的に交換が必要な部品があります

本製品には、長期間のご使用により交換が必要になる部品があります。

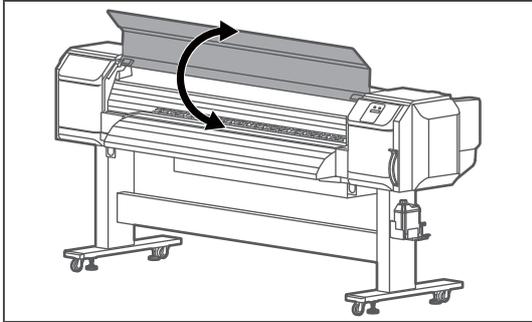
- ・ ユーザーによる交換が必要な部品：
フラッシングボックス用吸収材、カッター、クリーニングワイパー
- ・ サービスマンによる交換が必要な部品：
各種モーター、各種ポンプ、プリントヘッド、UV ランプフィルター、UV ランプ

フロントカバーおよびメンテナンスカバーの取り扱いについて

⚠ 注意

フロントカバーは力を入れて閉じないでください。途中から自重で閉じます。
必要以上に負荷をかけると、部品の寿命低下や機体の破損につながる恐れがあります。

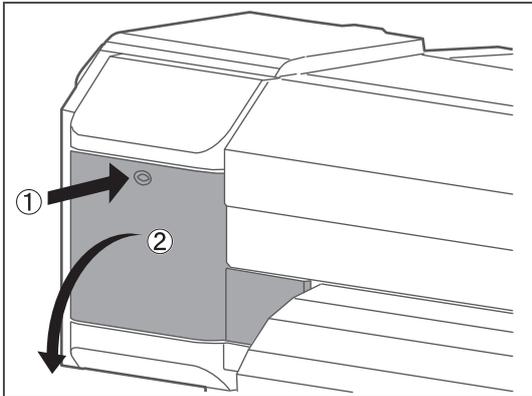
<フロントカバーの開閉>



ゆっくりと開閉を行ってください。

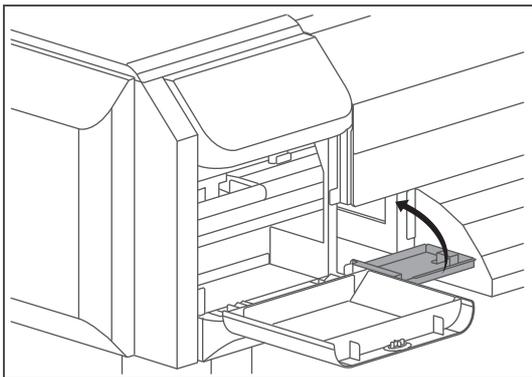
<メンテナンスカバー（左側）の取り外し>

[1]



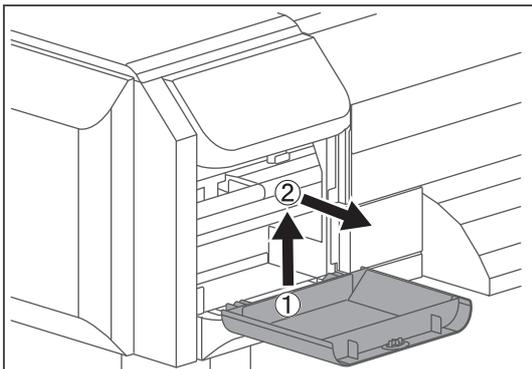
メンテナンスカバーを開きます。

[2]



メンテナンスカバー横のカバーを閉じます。

[3]



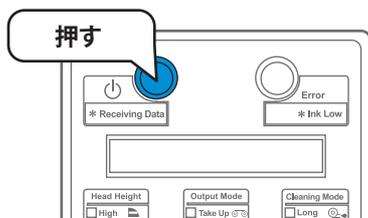
メンテナンスカバーを取り外します。

電源のオンオフ

電源をオンにする

[1] フロントカバーを閉じます。

[2]



本製品の電源ボタンを押します。

- ・青色のランプが点灯します。
- ・本製品が初期動作を開始します。

電源をオフにする

Important!

・本製品は、電源を常時オンにしてご使用ください。使わないときは電源をオフにせず、かならずスリープモードにしてください。スリープモードにしないと本体内部のインクが沈殿・凝固し、画質不良や故障の原因となります。

👉 「スリープモード」P.30

・長期間（最長1ヶ月）使用しない場合は、以下の手順に従って、電源をオフにしてください。

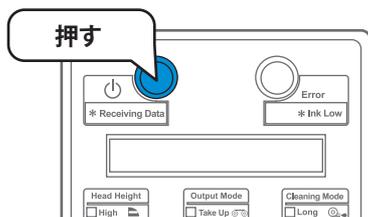
👉 「長期間使用しない場合（長期保存）」P.27

[1] 印刷が終了し、メディアが取り外されていることを確認します。

[2] デイリーメンテナンスに必要なものを準備します。

👉 「デイリーメンテナンスの準備」P.115

[3]



本製品の電源ボタンを押します。

- ・本製品が電源オフ動作を開始します。
- ・青色のランプが消灯します。

[4]

デイリーメンテナンス: Start

[Enter] キーを押します。

シバラクオマチクダサイ

- ・キャリッジとクリーニングワイパーがメンテナンス位置へ移動します。

[5]

デイリーメンテナンス:	End
-------------	-----

左のメッセージが表示されます。

- ・ デイリーメンテナンスを行います。
☞ 「デイリーメンテナンスを行う」P.117
- ・ メンテナンス終了後、[Enter] キーを押します。

クリーニングチュウ	** %
-----------	------

微量クリーニングを行います。

デンゲンシャダンチュウ	
-------------	--

微量クリーニング終了後、本製品が電源オフ動作を開始します。

長期間使用しない場合（長期保存）

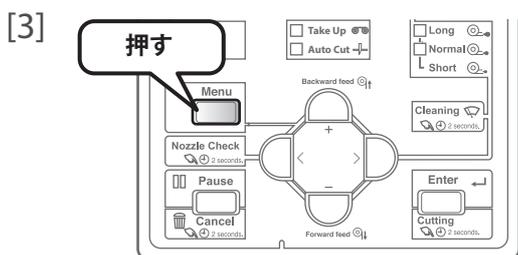
長期間（最長1ヶ月）使用しない場合は、以下の手順に従って、電源をオフにしてください。

1. デイリーメンテナンスを行う

[1] 印刷が終了し、メディアが取り外されていることを確認します。

[2] デイリーメンテナンスに必要なものを準備します。

☞ 「デイリーメンテナンスの準備」P.115



[Menu] キーを押します。

[4]

メニュー7:	メンテナンス >
--------	----------

[-] キーを何回か押して、左の表示にします。

- ・ [>] キーを押します。

[5]

メンテナンス1:	デイリーメンテナンス
----------	------------

[Enter] キーを押します。

[6]

デイリーメンテナンス:	Start
-------------	-------

[Enter] キーを押します。

シバラクオマチクダサイ	
-------------	--

- ・ キャリッジとクリーニングワイパーがメンテナンス位置へ移動します。

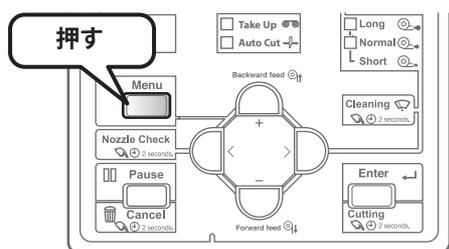
[7]

デイリーメンテナンス:	End
-------------	-----

- ・ 各部の清掃を行います。
☞ 「デイリーメンテナンスを行う」P.117
- ・ 清掃後、フロントカバーとメンテナンスカバーを閉じ、[Enter] キーを押します。
☞ 「デイリーメンテナンスを終了する」P.123

2. インク排出を行う

[1]



[Menu] キーを押します。

[2]

メニュー7: メンテナンス >

[-] キーを何回か押して、左の表示にします。

・ [>] キーを押します。

[3]

メンテナンス3: インクハイシュツ

・ [+] キーを押して、左の表示にします。

・ [Enter] キーを押します。

[4]

インクハイシュツ: Start

[Enter] キーを押します。

[5]

ハイエキヲ カラニシテクダサイ -> E

左のメッセージが表示されたら、容器に廃液を移し替えてください。

☞ 「[廃液タンクを空にする](#)」の「[廃液を容器に移す](#)」P.112

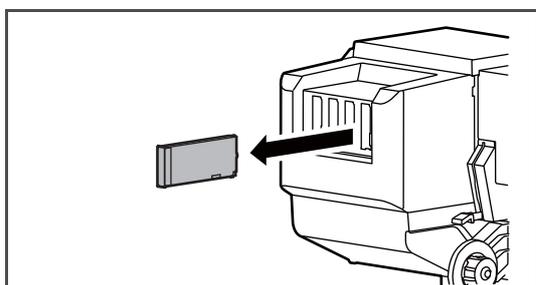
[6]

カートリッジヲ ヌイテクダサイ

・ [Enter] キーを押します。

・ 左のメッセージが表示されます。

[7]



インクカートリッジ（または、大容量インクパックアダプター）を、インクカートリッジスロットから取り外します。

インクハイシュツチュウ

左のメッセージが表示されます。

・ インクの排出を開始します。

[8]

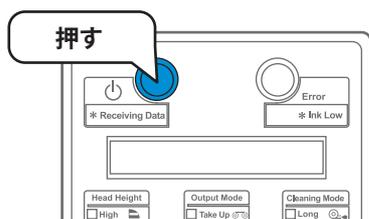
カートリッジ ナシ XXXXXXXXXX

左のメッセージが表示されたら、容器に廃インクを移し替えてください。

☞ 「[廃液タンクを空にする](#)」の「[廃液を容器に移す](#)」P.112

3. 電源をオフにする

[1]



本製品の電源ボタンを押します。

- ・ 本製品が電源オフ動作を開始します。
- ・ 青色のランプが消灯します。

[2]

デイリーメンテナンス: Start

[Cancel] キーを押します。

Important!

かならず事前にデイリーメンテナンスを行ってから、電源をオフしてください。
デイリーメンテナンスを行わずに電源をオフにすると、ノズル詰まりが発生する恐れがあります。

デンゲンシャダンチュウ

本製品が電源オフ動作を開始します。

スリープモード

本製品を使わないときは、電源をオフにせず、かならずスリープモードにしてください。スリープモードにしないと本体内部のインクが沈殿・凝固し、画質不良や故障の原因になります。

また、スリープモードにする前は、操作パネルの指示に従って、かならずデイリーメンテナンスを行ってください。

スリープモード中は以下の動作を行います。

- ・ プリンター内にあるインクの一部を循環する
- ・ インクの微量充てん

Important!

スリープモードを1週間以上継続する場合は、週1回、以下を行ってください。

- ・ インクの残量を確認し、「インクスクナイ」が表示されていたらインクを交換してください。
- ・ インクをかくはんしてください。

手順

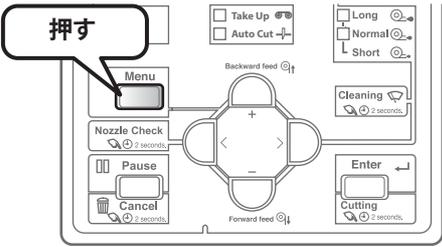
- [1] 製品の動作状態について以下を確認します。
 - ・ フロントカバー、メンテナンスカバーが閉じていること。
 - ・ メディアが取り外されていないこと。
 - ・ インクカートリッジ（インクパック）の残量が十分にあること。
 - ・ 廃液タンクの空き容量が十分にあること。

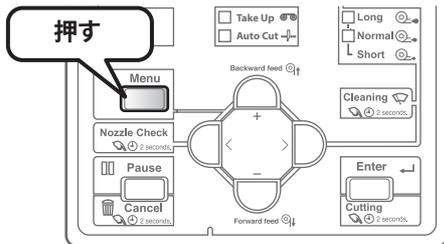
Important!

長時間スリープモードを継続する場合は、廃液タンクから廃液を排出してください。

- [2] デイリーメンテナンスに必要なものを準備します。

 「[デイリーメンテナンスの準備](#)」P.115

- [3]  [Menu] キーを押します。



- [4]

メニュー1:	スリープモード >
--------	-----------

 [\triangleright] キーを押します。
- [5]

スリープモード:	スタート
----------	------

 [Enter] キーを押します。
- [6]

スリープモードヲカイシマスカ?

 [Enter] キーを押します。

- [7]

デイリーメンテナンス:	Start
-------------	-------

 [Enter] キーを押します。
- | |
|-------------|
| シバラクオマチクダサイ |
|-------------|
- ・ キャリッジとクリーニングワイパーがメンテナンス位置へ移動します。
- [8]

デイリーメンテナンス:	End
-------------	-----

 左のメッセージが表示されます。
- ・ デイリーメンテナンスを行います。
 「[デイリーメンテナンスを行う](#)」P.117
 - ・ メンテナンス終了後、[Enter] キーを押します。
- | | |
|-----------|------|
| クリーニングチュウ | ** % |
|-----------|------|

 微量クリーニングを行います。
- | |
|-----------------|
| Enter デ サイカイシマス |
|-----------------|

 スリープモードを開始します。
- ・ スリープモードから復帰する場合は、[Enter] キーを押します。

 Note

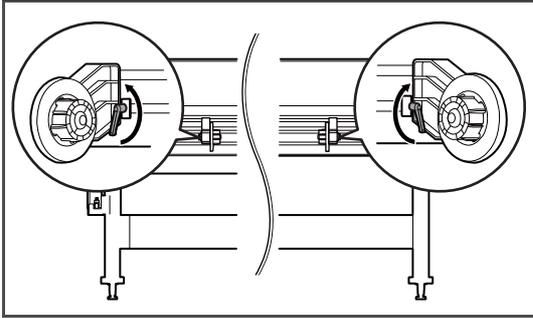
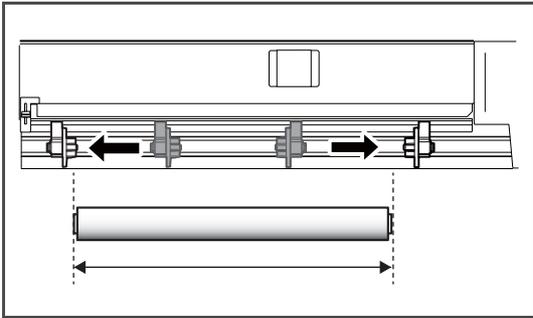
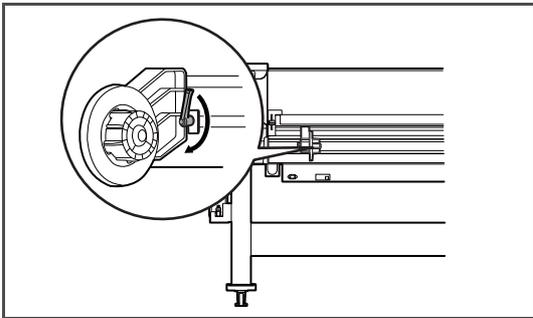
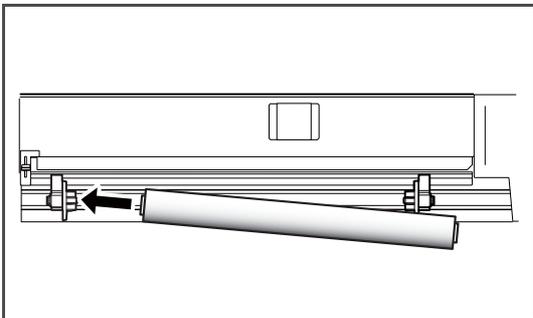
- ・ スリープモード中は、電源ボタンが青色に点滅します。
- ・ 本製品は、スリープモードからの復帰時に、自動でヘッドクリーニングや充電を行うことがあります。動作は経過時間により異なります。この動作はスリープモードの設定によるものではなく、本製品の自動メンテナンス機能によるものです。

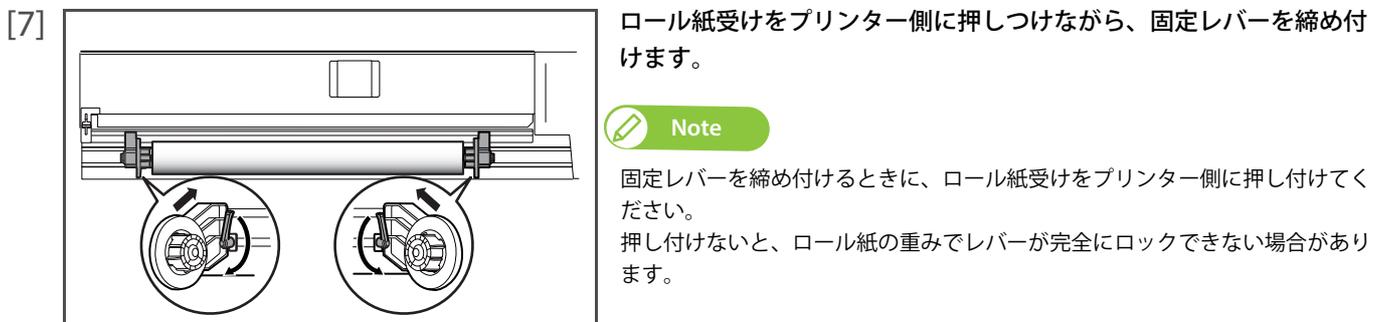
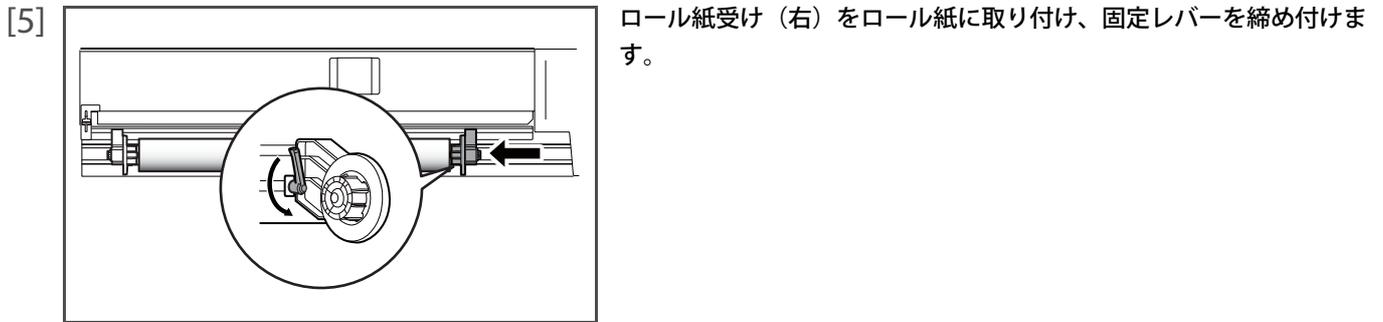
メディアのセット方法

ロール紙受けにメディアを取り付ける

Important!

メディアをセットする場合は、セットするメディアに合わせて、2人以上で作業することをおすすめします。

- [1]  プリンター背面の左右のロール紙受けの固定レバーを緩めます。
- [2]  左右のロール紙受けの間隔を、セットするロール紙幅より大きく広げます。
- [3]  ロール紙受け（左）の固定レバーを締め付け、ロール紙受け（左）を固定します。
- [4]  ロール紙をロール紙受け（左）に取り付けます。

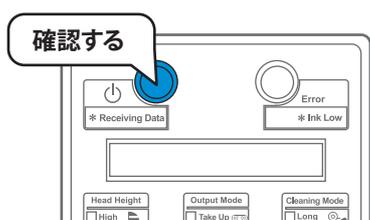


 Note

固定レバーを締め付けるときに、ロール紙受けをプリンター側に押し付けてください。
押し付けないと、ロール紙の重みでレバーが完全にロックできない場合があります。

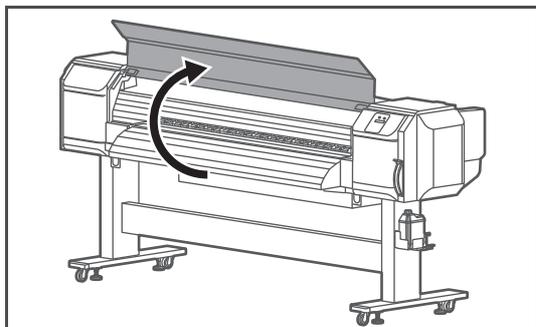
プリンターにメディアをセットする

[1]



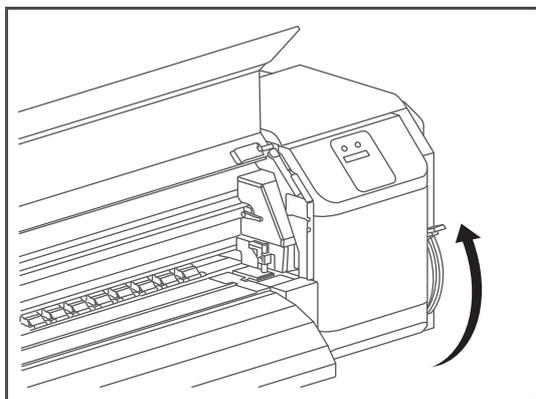
プリンターの電源がオンになっていることを確認します。

[2]



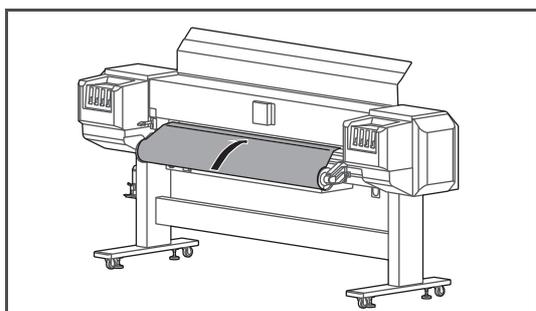
フロントカバーを開きます。

[3]



メディアセットレバーを上げます。

[4]



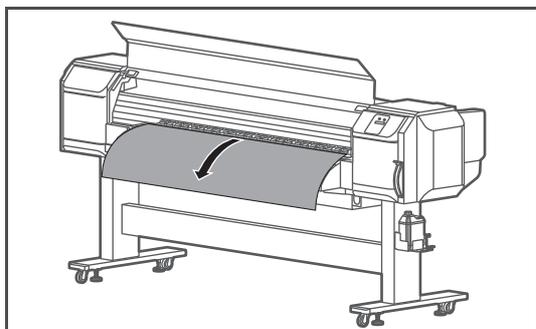
メディアを給紙スロットに差し込みます。



Note

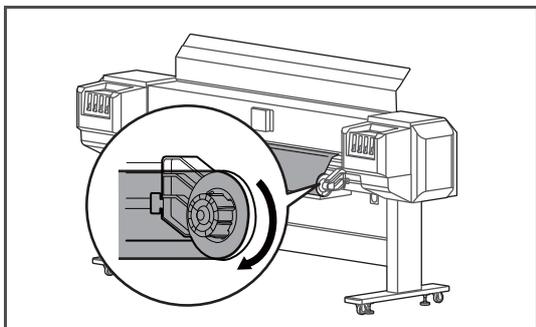
ロール紙端に巻乱れがある場合は、巻きなおしてからセットしてください。

[5]



正面側の給紙スロットから、メディアを約1m引き出します。

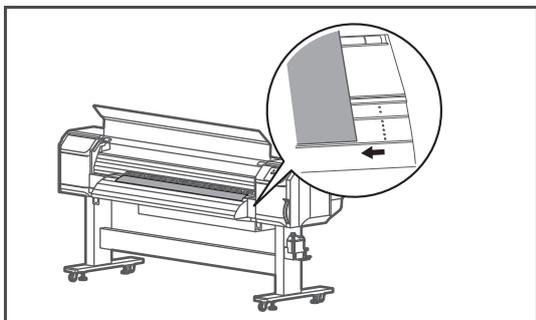
[6]



メディア先端を押さえながら、ロール紙受けのフランジを回してロール紙を少し巻き戻し、メディアのたわみおよび斜行を取り除きます。

 Note

メディアを巻き戻している途中で手を放すと、メディアが給紙スロットから抜けて製品背面側に落ちることがあります。



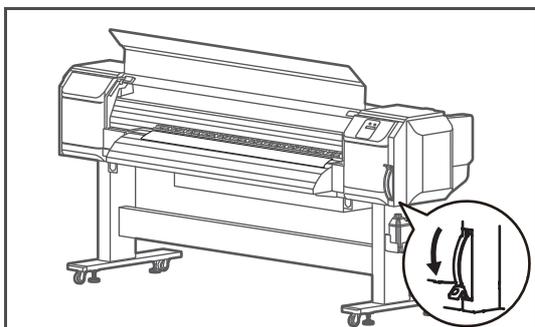
メディアの右端がメディアセット目安よりも右側に入らないようにしてください。印刷品質に影響する場合があります。

メディアをセットしたら・・・

- [1] 操作パネルに「メディアヲセットシテクダサイ」と表示されます。

メディアヲセットシテクダサイ

- [2] メディアセットレバーを下げます。

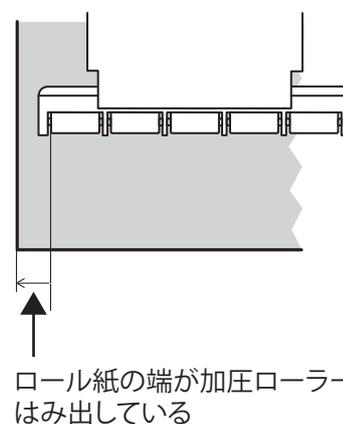
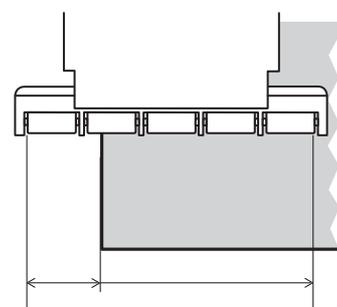
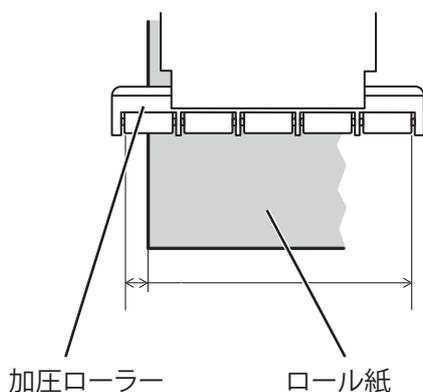


- [3] メディアの端が加圧ローラーに適切に押さえられていることを確認します。

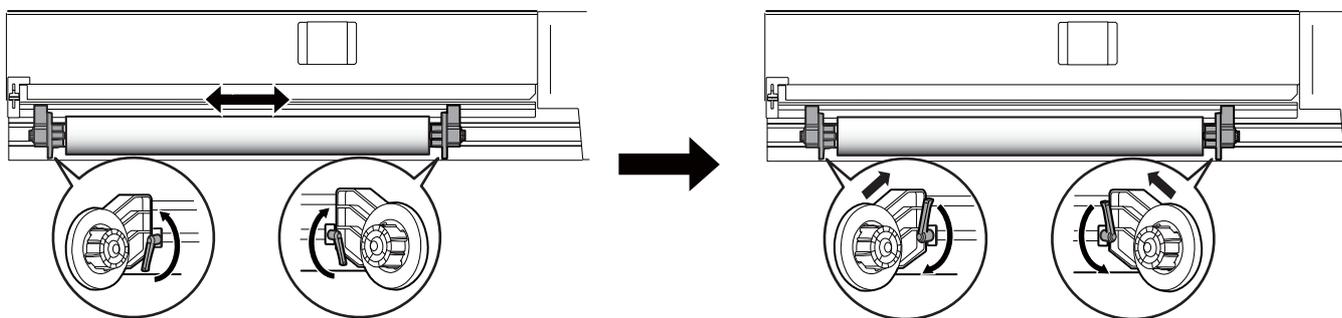
Good

Good

Not Good

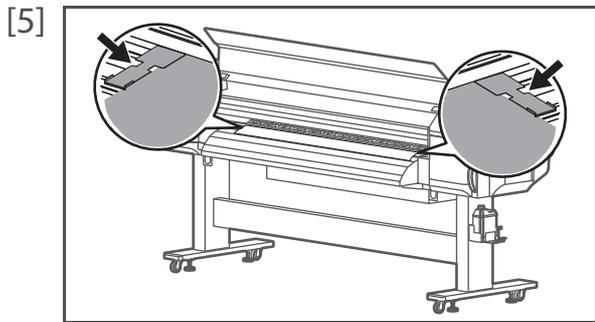


- [4] メディアが適切に押さえられていない場合は、以下の手順に従って、メディアの位置を調整してください。
- ・メディアセットレバーを上げます。
 - ・ロール紙受け（左、右）の固定レバーを緩め、ロール紙を左または右に動かします。
 - ・ロール紙受けをプリンター側に押しつけながら、ロール紙受け（左、右）の固定レバーを締め付けます。



Note

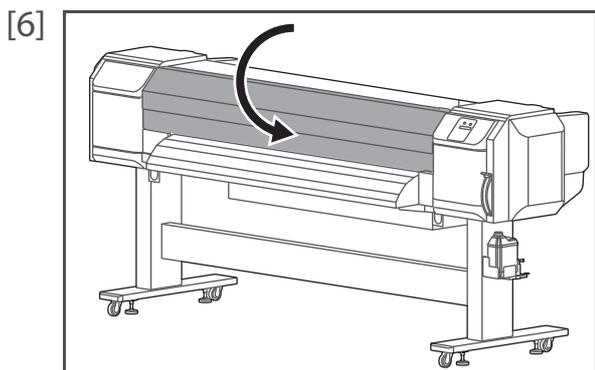
- ・メディアが適切に押さえられていない場合、印刷時にメディアのズレ、シワ等が発生する恐れがあります。
- ・固定レバーを締め付けるときに、ロール紙受けをプリンター側に押し付けてください。押し付けないと、ロール紙の重みでレバーが完全にロックできない場合があります。



メディアの両端にメディア押さえをセットします。

Important!

初期設定では、メディアの端から 5 mm の部分から印刷を行います。
 メディア押さえは、メディアと重なる部分が 5 mm 未満になるようにセットしてください。

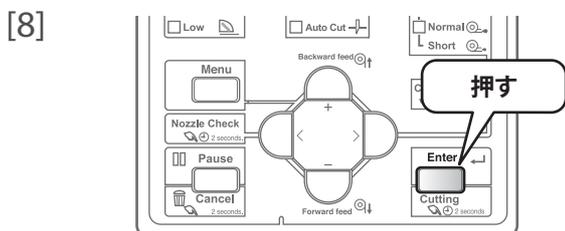


フロントカバーを閉じます。



操作パネルに「ユーザ： Type ** OK?」と表示されます。

- ・使用するユーザ定義を [+] キー / [-] キーで選択します。



[Enter] キーを押して、メディアイニシャルを実行します。

- ・メディアセットを終了します。

ノズルチェックとクリーニング

毎日の作業前にノズルチェックをしてください。ノズル抜けがあるときは、クリーニングをしてください。

本製品のノズルチェックには下記の種類があります。

- ・ ノズルチェック：ノズルチェックを印刷します。
- ・ ノズルチェック B：一部のノズルチェックパターンの背景に色をつけて印刷します。

Note

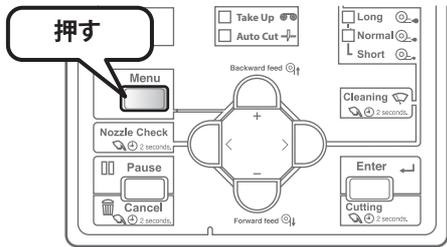
- ・ 6色設定時のみ、メニューに「ノズルチェック B」を表示します。
- ・ ホワイトインクを使用する場合は、有色メディアや、透明または半透明のメディア（OHP フィルム、トレーシングペーパーなど）をおすすめします。

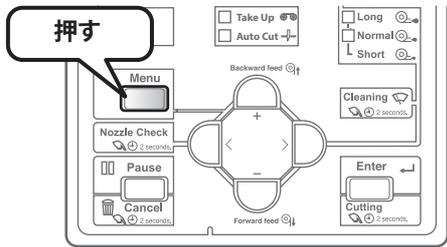
ノズルチェック

ノズルチェックの手順

- [1] ノズルチェックで使用するメディアをセットします。

 「メディアのセット方法」P.32

- [2]  [Menu] キーを押します。



- [3]  [-] キーを何回か押して、左の表示にします。

メニュー4: テストサクガ >

- ・ [-] キーを押します。

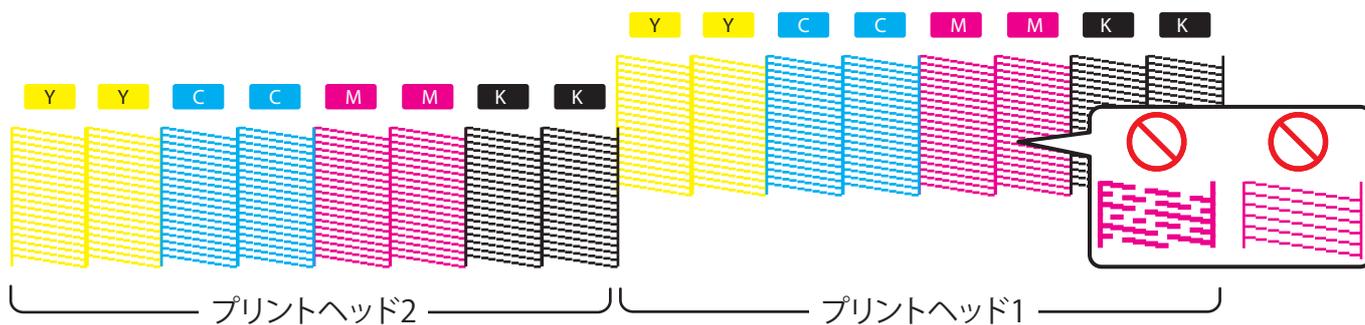
- [4]  [Enter] キーを押します。

テスト1: ノズルチェック

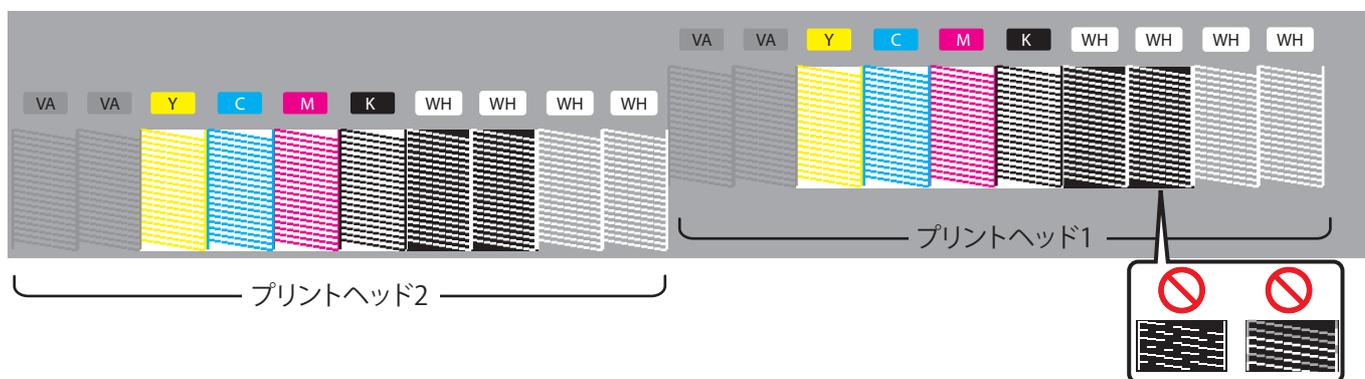
テスト2: ノズルチェックB

- ・ ノズルチェック B を選択する場合は、[-] キーを押してノズルチェック B を表示してから [Enter] キーを押してください。
- ・ ノズルチェックを印刷します。

- [5] パターンを確認します。
- ・ノズル抜け（線が抜けている）があったり、線がかすれている場合は、「クリーニングの手順」P.40に進みます。
 - ・パターンが正常に印刷されている場合は、印刷を開始できます。
 - ・下図は4色設定時のノズルチェックの印刷例です。



- ・ノズルチェック B の場合、ノズルチェックパターンの背景の一部に色がつきます。
- ・下図はノズルチェック B の印刷例です。この例では、背景に色がつかない部分をグレーにしています。



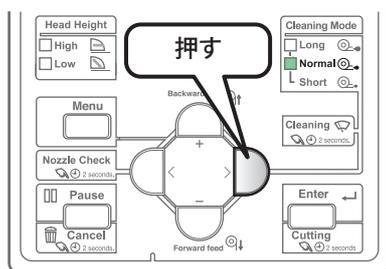
 Note

プリンター情報（印刷時刻、シリアル番号、ファームウェアバージョン）が印刷されます。

クリーニング

クリーニングの手順

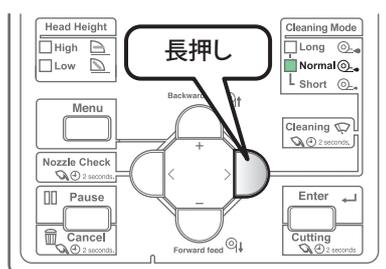
[1]



[Cleaning] キーを押して、[Cleaning Mode] ランプが [Normal] に点灯しているようにします。

- ・クリーニングモードが「通常」に設定されます。

[2]



[Cleaning] キーを 2 秒以上長押しします。

- ・クリーニングを開始します。

[3] もう一度、ノズルチェックを行います。

👉 「ノズルチェックの手順」P.38

- ・ノズル抜けが直らない場合は、通常クリーニングを繰り返してください。「微量」「強力」「微量充てん」「初期充てん」については、「ヘッドクリーニング」P.124 を参照してください。

印刷精度の調整

初回の印刷を開始する前に、印刷精度の調整を行ってください。

ヘッド調整

プリントヘッド間のズレを、本メニューの調整パターンの印刷結果で確認し、調整することができます。

本メニューには以下の調整方式があります。

ヘッドチョウセイ1: Standard

現在のユーザ定義で使用している作画モードのみを調整します。

Standard で調整したときは、RIP 側の作画モードの解像度、パス数、作画方向をユーザ定義の作画モードと同じにしてください。

ヘッドチョウセイ2: Custom

現在のユーザ定義で使用している作画モード以外の作画モードを含めて調整できます。RIP 側の作画モードがユーザ定義の作画モードと違っていても、画質が最適になります。

Note

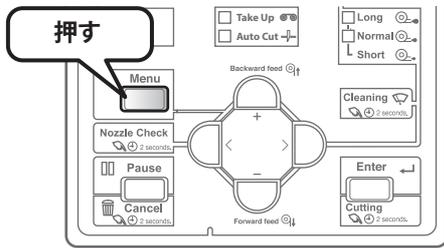
- 以下の場合にはヘッド調整を行うと、画質が改善できる可能性があります。
作画方向が片方向の作画モードを使用していて画質が気になるとき  「[作画モードの詳細](#)」P.62
画質調整をしても画質が向上しないとき
- ヘッド調整を行った後は、かならず画質調整を行ってください。
ヘッド調整の影響で、ズレが生じる可能性があります。  「[画質調整](#)」P.43
- Standard ヘッド調整を行った後に、作画モードを変更するときは、かならずヘッド調整も合わせて行ってください。
- Custom ヘッド調整の「調整 ALL」を行った場合は、すべての作画モードを一度に調整するため、作画モードを変更してもヘッド調整は不要です。
- RIP ソフトなどで、ユーザ定義での設定とは異なる作画モードを指定するような場合は、Custom ヘッド調整であらかじめすべてのパターン (A～F) を確認し、ズレがあるパターンは調整を行っておいてください。

ヘッド調整の手順

- [1] プリンターの電源をオンにして、メディアをセットします。

 「メディアのセット方法」P.32

- [2]



[Menu] キーを押します。

- [3]

メニュー4: テストサクガ >

- ・ [-] キーを何回か押して、左の表示にします。
- ・ [>] キーを押します。

- [4]

テスト6: ヘッドチョウセイ >

- ・ [-] キーを何回か押して、左の表示にします。
- ・ [>] キーを押します。

- [5]

ヘッドチョウセイ1: Standard

- ・ [+] キー / [-] キーで調整方式を選択します。
- ・ [Enter] キーを押します。

ヘッドチョウセイ2: Custom

- [6]

印刷を開始します。
・ 確認パターンが印刷されます。

- [7]

以下の手順に従って、調整します。

 「手順」P.91

画質調整

プリントヘッドの往復動作のズレを、本メニューの調整パターンの印刷結果で確認し、調整することができます。

本メニューには以下の調整方式があります。

チョウセイサクガ1: Standard

現在のユーザ定義で使用している作画モードのみを調整します。

Standard で調整したときは、RIP 側の作画モードの解像度、パス数、作画方向をユーザ定義の作画モードと同じにしてください。

チョウセイサクガ2: Custom

現在のユーザ定義で使用している作画モード以外の作画モードでも調整できます。

RIP 側の作画モードがユーザ定義の作画モードと違っていても、画質が最適になります。

Note

- 製品の設置環境、使用するメディア等を変更して、作画画質が変化した場合に、画質調整を行ってください。
- Standard 画質調整を行った後に、作画モードを変更する場合は、かならず画質調整も合わせて行ってください。
- Custom 画質調整を行った場合は、すべての作画モードを一度に調整するため、作画モードを変更しても画質調整は不要です。
- RIP ソフトなどで、ユーザ定義での設定とは異なる作画モードを指定するような場合は、Custom 画質調整であらかじめすべてのパターン（A～F）に対して調整を行っておいてください。
- 以下の場合にはヘッド調整を行うと、画質が改善できる可能性があります。👉 [「ヘッド調整」P.41](#)

作画方向が片方向の作画モードを使用していて画質が気になるとき👉 [「作画モードの詳細」P.62](#)

画質調整をしても画質が向上しないとき

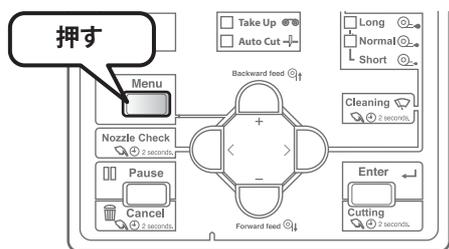
- ヘッド調整を行った後は、かならず画質調整を行ってください。
ヘッド調整の影響で、ズレが生じる可能性があります。

画質調整の手順

- [1] プリンターの電源をオンにして、メディアをセットします。

👉 「メディアのセット方法」P.32

- [2] [Menu] キーを押します。



- [3] [-] キーを押します。

メニュー1: スリープモード >

- [4] [>] キーを押します。

メニュー2: ユーザティギ >

- [5] [+] キー / [-] キーで使用するユーザ定義を選びます。

ユーザ: Type 1

・ [Enter] キーを押します。

- [6] [-] キーを何回か押して、左の表示にします。

**> 2: チョウセイサクガ >

・ [>] キーを押します。

- [7] メディア厚さを設定します。

メディアアツサ: 170 μm

・ [Enter] キーを押します。

- [8] [+] キー / [-] キーで調整方式を選択します。

チョウセイサクガ1: Standard

・ [Enter] キーを押します。

チョウセイサクガ2: Custom

Note

Standard 画質調整と Custom 画質調整では、選択するパターンの名称が異なります。詳しくは以下のページを参照してください。

👉 「調整作画 1 : Standard」P.63

👉 「調整作画 2 : Custom」P.64

調整前の確認を行う場合は、「カクニンパターン」を選択します。

「カクニンパターン」の印刷結果を確認し、

- ・ズレ量が大きいと思われる場合は、「ソチョウセイパターン」を選択します。
- ・ズレ量が小さいと思われる場合は、「チョウセイパターン」を選択します。

- [9] 以下の手順に従って、調整します。

👉 「手順」P.65

メディア送り補正

次の場合には、この調整をかならず行ってください。

- 本製品をはじめて使用するとき。
- メディアの種類を変更するとき。

それ以外の場合は、「[ノズルチェックとクリーニング](#)」P.38 に進んでください。

この調整には定規を使用します。市販の定規をご用意ください。

Note

印刷結果に次のような不具合があるときも、メディア送り補正を行うと改善する場合があります。

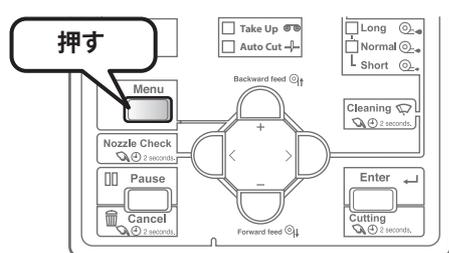
- 画像が重なっている。
- 画像に白いスジが入っている。

メディア送り補正の手順

[1] メディアをセットします。

 「[メディアのセット方法](#)」P.32

[2]



[Menu] キーを押します。

[3]

メニュー1: スリープモード >

[-] キーを押します。

[4]

メニュー2: ユーザテイギ >

[>] キーを押します。

[5]

ユーザ: Type 1

[-] キーを何回か押して、使用するユーザ定義を選びます。

- [Enter] キーを押します。

[6]

**> 3:	オクリホセイ>
--------	---------

[-] キーを何回か押して、左の画面にします。

・ [>] キーを押します。

[7]

ホセイ1:	シヨキチヨウセイサクガ
-------	-------------

ホセイ2:	シヨキチヨウセイチ
-------	-----------

ホセイ3:	カクニンチヨウセイサクガ
-------	--------------

ホセイ4:	ビチヨウセイサクガ
-------	-----------

ホセイ5:	ビチヨウセイチ
-------	---------

[+] キー / [-] キーでメニューを選択します。

・ [Enter] キーを押します。

[8] 以下の手順に従って、調整します。

 [「手順」P.67](#)

ヘッド高さを変更する

メディアが反っていたり、インクを大量に使う印刷をするときは、メディアがプリントヘッドとこすれて汚れることがあります。そのようなときは、プリントヘッドの高さを高くすると改善する場合があります。

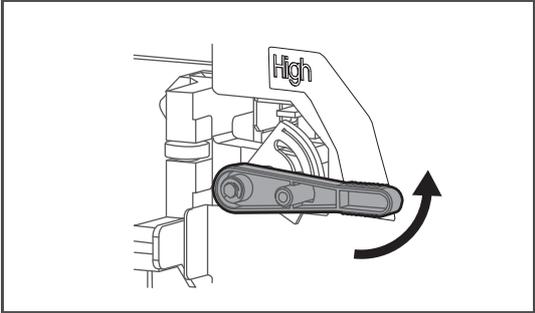
プリントヘッドの高さを変えたときは、かならず画質調整を行ってください。

手順

Important!

印刷中にフロントカバーを開け、ヘッド高さを切り替えないでください。
ヘッド高さを切り替えると、画質調整が変わってしまい、印刷品質が保証できません。

[1] フロントカバーを開きます。

[2]  レバー（オレンジ色）を動かして、ヘッド高さを切り替えます。

- ・ヘッド高さ「Low」：
操作パネルの Low ランプが点灯します。
- ・ヘッド高さ「High」：
操作パネルの High ランプが点灯します。

[3] フロントカバーを閉じます。

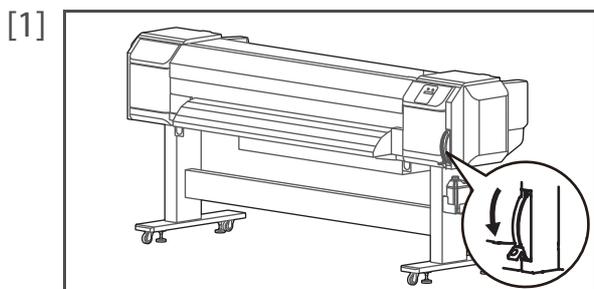
[4] 画質調整を行います。

 [「画質調整」P.43](#)

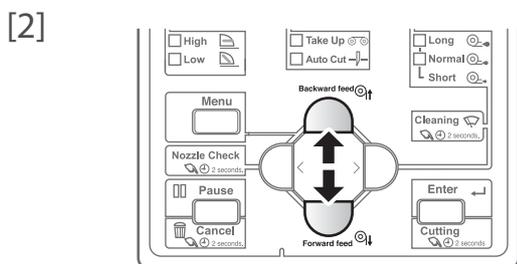
操作パネルからの各種操作

メディア送り

手順



メディアセットレバーが下がっていることを確認します。

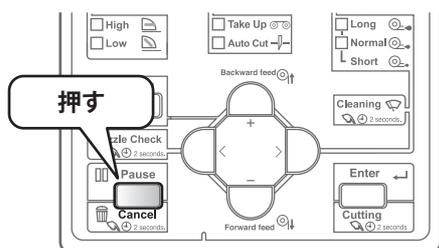


操作パネルの [Forward] キーまたは [Backward] キーを押します。

- ・ [Forward] キー：メディアが順方向に送られます。
- ・ [Backward] キー：メディアが逆方向に送られます。

[3] メディアを任意の位置まで送ったら、操作パネルの [Forward ↓] キーまたは [Backward ↑] キーをはなします。

印刷の一時停止／再開



印刷中に、[Cancel] キーを押します。

- ・ 印刷が一時停止します。
- ・ [Enter] キーを押すと、印刷が再開します。

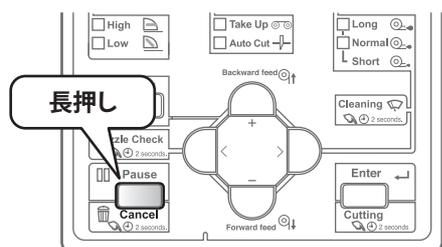
Note

- ・ 本操作では本製品に送信された印刷データを削除しません。
- ・ 印刷を中止しデータを削除する場合は、以下をご覧ください。
👉 [「印刷のキャンセル」P.49](#)

Important!

印刷を一時停止させた場合、印刷品質は保証できません。

印刷のキャンセル



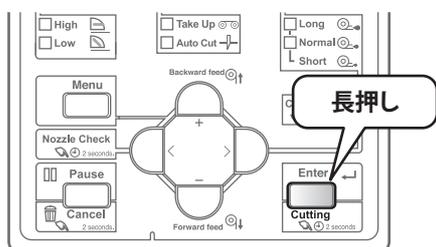
印刷中に、操作パネルの [Cancel] キーを 2 秒以上長押しします。

- ・印刷がキャンセルされます（再開はできません）。
- ・本製品に送信された印刷データを削除します。

Note

MSM のリモートパネルでも同じことができます。

ロール紙のカット



操作パネルの [Cutting] キーを 2 秒以上押しします。

- ・製品は余白分のメディアを送り出し、ロール紙をカットをします。

Note

- ・新しいロール紙をセットしたときに、ロール紙の先端がまっすぐになっていない場合は、ロール紙の先端をカットしてください。
- ・「**>6：メディア検出」が「Off」に設定されている場合は、自動でカットすることができません。
👉 「**>6：メディア検出」P.71
- ・「排紙モードメニュー」で「オートカット」に設定している場合は、印刷が終了すると、製品は自動的にメディアをカットします。
👉 「セット 2：排紙モード」P.73
- ・カッターは消耗品です。定期的に変換してください。
👉 「カッターの交換」P.131

印刷中に操作パネルでできること

[1]

データジュシンチュウ

データサクガチュウ

データカイセキチュウ

左のメッセージのどれかが表示されているときに、[Menu] キーを押します。

[2]

メニュー 1: オクリビチョウセイ

メニュー 2: ホゾン

メニュー 3: Job ステータス

[+] キー / [-] キーでメニューを選択します。

 「メニュー 1: 送り微調整」P.50

 「メニュー 2: 保存」P.51

 「メニュー 3: Job ステータス」P.51

メニュー 1: 送り微調整

このメニューでは、送り補正の調整値を、現在の印刷の間だけ変更できます。

- ・ パネル設定メニューの関連箇所については、以下をご覧ください。

 「**> 3: 送り補正」P.67

[1]

メニュー 1: オクリビチョウセイ

[Enter] キーを押します。

[2]

オクリチョウセイチ: 5.00 %

[+] キー / [-] キーで設定値を変更します。

- ・ [Enter] キーを押して確定します。



Note

- ・ このメニューでの設定値の変更は、印刷完了後は無効になります。
- ・ 変更を、現在選択中のユーザ定義に反映する場合は「メニュー 2: ホゾン」から保存してください。

メニュー 2：保存

このメニューでは、「メニュー 1：オクリビチヨウセイ」での変更を、現在選択中のユーザ定義に反映できます。

[1] [Enter] キーを押します。

メニュー 2: ホゾン

[2] [Enter] キーを押します。

パラメータヲ ホゾンシマスカ?

設定値が保存されます。

** パラメータ ホゾンチュウ **

メニュー 3：Job ステータス

印刷中のデータについて情報を表示します。

- ・ パネル設定メニューの関連箇所については、以下をご覧ください。

 「メニュー 10：Job ステータス」P.59

[1] [Enter] キーを押します。

メニュー 3: Jobステータス

[2] [+] キー / [-] キーでメニューを選択します。

データナガサ: XXX.X mm

- ・ データナガサ：印刷中のデータの全長（メディア送り方向）を確認します。

インサツズミ: XXX.X mm

- ・ インサツズミ：印刷中のデータについて、印刷済みの部分の長さを確認します。

インサツノコリ: XXX.X mm

- ・ インサツノコリ：印刷中のデータについて、まだ印刷されていないデータの長さを確認します。

ノコリジカン: XXXX min

- ・ ノコリジカン：印刷にかかる残り時間を表示します。

Note

- ・ この機能で表示される数値は目安です。厳密な精度を保証するものではありません。
- ・ 印刷データに長さ情報が含まれていない場合は、すべての項目で「0」を表示します。

第2章 パネル設定メニュー

はじめに	55
キー操作	55
パネル設定メニュー	56
メニュー 1: スリープモード	60
メニュー 2: ユーザ定義	61
メニュー 3: 設定	73
セット 1: サイドマージン	73
セット 2: 排紙モード	73
セット 3: カット方法	74
セット 4: 原点設定	75
セット 5: CR 作画移動幅	75
セット 6: 重ね描き回数	76
セット 7: 斜行チェック	77
セット 8: シングルヘッド	77
セット 9: ノズル選択	78
セット 10: オートクリーニング	78
セット 11: ロール紙長さ設定	79
セット 12: 先端処理	80
セット 13: CR メンテナンス	81
セット 14: インクステータス	81
セット 15: 寿命確認	82
セット 16: ヘッダーダンプ	83
セット 17: 排気ファン	83
セット 18: ホワイトメンテナンス	84
セット 19: スタートフィード	84
セット 20: 初期化	84
セット 21: フラッシング	85
セット 22: カラーメンテナンス	86
セット 23: 追加照射回数	86
セット 24: 一時詳細表示	86
メニュー 4: テスト作画	87
テスト 1: ノズルチェック	87
テスト 2: ノズルチェック B	87
テスト 3: モードプリント	88
テスト 4: 設定内容	88
テスト 5: パレット	89
テスト 6: ヘッド調整	90

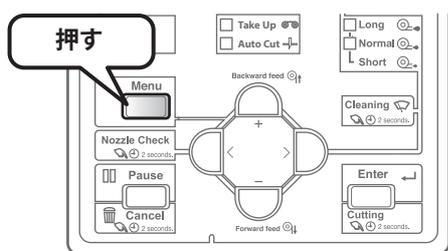
メニュー 5: クリーニング	92
メニュー 6: 簡易選択	93
メニュー 7: メンテナンス	94
メンテナンス 1: デイリーメンテナンス	94
メンテナンス 2: プラグ寿命	94
メンテナンス 3: インク排出	95
メンテナンス 4: 漬け置きクリーニング	96
メニュー 8: バージョン	96
メニュー 9: 初期設定	96
初期設定 1: 言語	96
初期設定 2: 長さ	96
初期設定 3: IP アドレス	97
初期設定 4: サブネットマスク	97
初期設定 5: ゲートウェイ	97
初期設定 6: 警告ブザー	98
メニュー 10: Job ステータス	98

はじめに

本製品の各種設定は、パネル設定メニューで行います。

キー操作

[1]



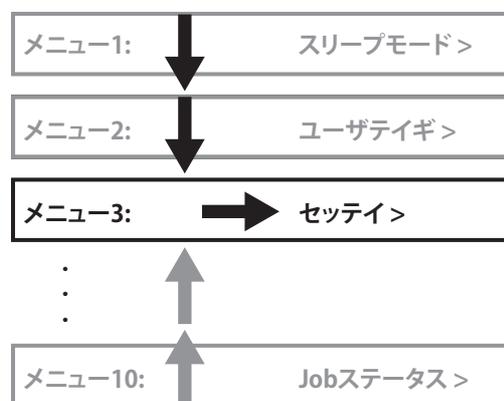
パネル設定メニューに入るには、[Menu] キーを押します。



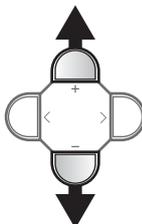
Note

印刷中や、データ受信中（電源ボタン点滅中）は、パネル設定メニューに入れません。

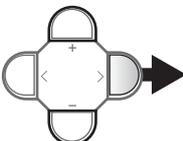
[2]



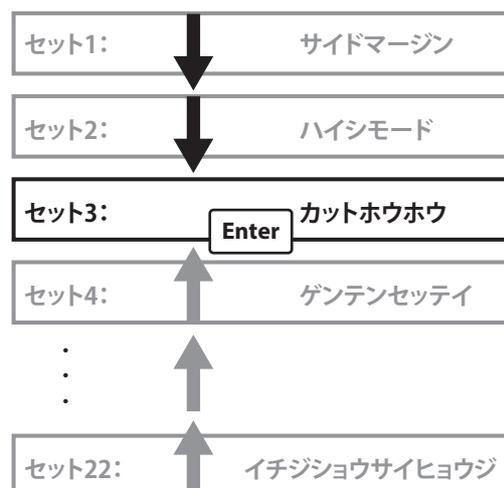
[+] キー / [-] キーで上下に移動します。



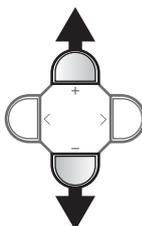
[>] キーでメニューに入ります。



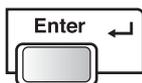
[3]



サブメニューから選択したり、数値を入力したりするときは、[+] キー [-] キーを押します。



[Enter] キーで確定 / 実行します。



[Cancel] キーで1つ前の階層のメニューに戻ります。
(左図の場合、「メニュー3：セッテイ>」に戻ります。)



パネル設定メニュー

メニュー 1：スリープモード

メニュー1: スリープモード>

スリープモードの起動を行います。

サブメニュー

スリープモード1: スタート

 [メニュー 1:スリープモード](#)

メニュー 2：ユーザ定義

メニュー2: ユーザ定義>

メディアの設定を行います。

サブメニュー

**> 1: サクガモード

 [**> 1: 作画モード](#)

**> 2: チョウセイサクガ>

 [**> 2: 調整作画](#)

**> 3: オクリホセイ>

 [**> 3: 送り補正](#)

**> 4: キュウチャクファン

 [**> 4: 吸着ファン](#)

**> 5: メディアアツサ

 [**> 5: メディア厚さ](#)

**> 6: メディアケンシュツ

 [**> 6: メディア検出](#)

**> 7: メディアハバ

 [**> 7: メディア幅](#)

**> 8: バスカンウェイト

 [**> 8: パス間ウェイト](#)

**> 9: Yレイヤーツイカ

 [**> 9: Yレイヤー追加](#)

**> 10: ユーザコピー

 [**> 10: ユーザコピー](#)

**> 11: ショキカ

 [**> 11: 初期化](#)

メニュー 3：設定

メニュー3: セッテイ>

本製品の各種設定を行います。

サブメニュー

セット1: サイドマージン

 [セット 1: サイドマージン](#)

セット2: ハイシモード

 [セット 2: 排紙モード](#)

セット3: カットホウホウ

 [セット 3: カット方法](#)

セット4: ゲンテンセッテイ

 [セット 4: 原点設定](#)

セット5:	CRサクガイドウハバ	👉 セット 5 : CR 作画移動幅
セット6:	カサネガキカイスウ	👉 セット 6 : 重ね描き回数
セット7:	シャコウチェック	👉 セット 7 : 斜行チェック
セット8:	シングルヘッド	👉 セット 8 : シングルヘッド
セット9:	ノズルセンタク	👉 セット 9 : ノズル選択
セット10:	オートクリーニング	👉 セット 10 : オートクリーニング
セット11:	ロールシナガサセツテイ	👉 セット 11 : ロール紙長さ設定
セット12:	センタンショリ	👉 セット 12 : 先端処理
セット13:	CRメンテナンス	👉 セット 13 : CR メンテナンス
セット14:	インクステータス	👉 セット 14 : インクステータス
セット15:	ジュミョウカクニン	👉 セット 15 : 寿命確認
セット16:	ヘッダーダンプ	👉 セット 16 : ヘッダーダンプ
セット17:	ハイキファン	👉 セット 17 : 排気ファン
セット18:	ホワイトメンテナンス	👉 セット 18 : ホワイトメンテナンス
セット19:	スタートフィード	👉 セット 19 : スタートフィード
セット20:	シヨキカ	👉 セット 20 : 初期化
セット21:	フラッシング	👉 セット 21 : フラッシング
セット22:	カラーメンテナンス	👉 セット 22 : カラーメンテナンス
セット23:	ツイカショウシャカイスウ	👉 セット 23 : 追加照射回数
セット24:	イチジショウサイヒョウジ	👉 セット 24 : 一時詳細表示

メニュー 4：テスト作画

メニュー4: テストサクガ >

ノズルチェックや、設定内容の確認印刷などを行います。

サブメニュー

テスト1: ノズルチェック

 [テスト 1：ノズルチェック](#)

テスト2: ノズルチェックB

 [テスト 2：ノズルチェック B](#)

テスト3: モードプリント

 [テスト 3：モードプリント](#)

テスト4: セッテイナイヨウ

 [テスト 4：設定内容](#)

テスト5: パレット

 [テスト 5：パレット](#)

テスト6: ヘッドチョウセイ >

 [テスト 6：ヘッド調整](#)

メニュー 5：クリーニング

メニュー5: クリーニング >

プリントヘッドのクリーニングや初期充てんを行います。

サブメニュー

クリーニング: ビリョウ

 [メニュー 5: クリーニング](#)

クリーニング: ツウジョウ

クリーニング: キョウリョク

クリーニング: ビリョウジュウテン

クリーニング: ショキジュウテン

メニュー 6：簡易選択

メニュー6: カンイセンタク >

「メニュー 3：セッテイ」に各メニューを表示するかどうかを選択できます。

 [メニュー 6: 簡易選択](#)

メニュー 7：メンテナンス

メニュー7: メンテナンス >

プリンターの定期的なメンテナンスを行います。

サブメニュー

メンテナンス1: デイリーメンテナンス

 [メンテナンス 1：デイリーメンテナンス](#)

メンテナンス2: プラグジュミョウ

 [メンテナンス 2：プラグ寿命](#)

メンテナンス3: インクハイシュツ

 [メンテナンス 3：インク排出](#)

メンテナンス4: ツケオキクリーニング

 [メンテナンス 4：漬け置きクリーニング](#)

メニュー 8：バージョン

メニュー8: バージョン >

ファームウェアのバージョンを表示します。

 [メニュー 8：バージョン](#)

メニュー 9：初期設定

メニュー9: ショキセッテイ >

表示言語や単位の設定、ネットワーク設定やメニューの表示設定を行います。

サブメニュー

ショキセッテイ1: ゲンゴ

 [初期設定 1：言語](#)

ショキセッテイ2: ナガサ

 [初期設定 2：長さ](#)

ショキセッテイ3: IPアドレス

 [初期設定 3：IP アドレス](#)

ショキセッテイ4: サブネットマスク

 [初期設定 4：サブネットマスク](#)

ショキセッテイ5: ゲートウェイ

 [初期設定 5：ゲートウェイ](#)

ショキセッテイ6: ケイコクブザー

 [初期設定 6：警告ブザー](#)

メニュー 10：Job ステータス

メニュー10: Jobステータス >

前回の印刷結果について、各種情報を表示します。

 [メニュー 10: Job ステータス](#)

メニュー1:スリープモード

メニュー1: スリープモード>

スリープモードを開始します。
操作パネルの指示に従って、かならずデイリーメンテナンスを行ってください。

 「スリープモード」P.30

サブメニュー

スリープモード1: スタート

[Enter] キーを押すと、スリープモードを開始します。

Important!

スリープモード中に以下の状態になった場合は、ヘッドクリーニングを行いません。

- フロントカバーが開いている
- メンテナンスカバーが開いている
- メディアセットレバーが上がっている
- 廃液タンクが満タンになっている
- インクカートリッジ（大容量パックアダプター）が取り外されている
- 純正品以外のインクカートリッジ（インクパック）、S/C カードが挿入されている

ヘッドクリーニング中に、上記の状態になった場合は、ヘッドクリーニング動作を停止します。
正常な状態に戻すと、ヘッドクリーニングを再開します。

メニュー2: ユーザ定義

メニュー2: ユーザ定義 >

Type1 ~ Type15 のユーザ定義を持つことができます。ユーザ定義を選択して [Enter] キーを押すと、そのユーザ定義が本製品にセットされます。また、サブメニューを表示します。

設定値

ユーザ: Type 1

Type 1 ~ Type15 から選択できます。

Important!

別のユーザ定義に変更すると、ユーザ定義で変更できる設定がすべて切り替わります。初めて使うときやメディアを切り替えた時は、ユーザ定義の各項目を設定してください。

ユーザ: Type 1

メディアの設定を行います。

サブメニュー

**> 1: サクガモード	 ** > 1: 作画モード
**> 2: チョウセイサクガ>	 ** > 2: 調整作画
**> 3: オクリホセイ>	 ** > 3: 送り補正
**> 4: キウチャクファン	 ** > 4: 吸着ファン
**> 5: メディアアツサ	 ** > 5: メディア厚さ
**> 6: メディアケンシュツ	 ** > 6: メディア検出
**> 7: メディアハバ	 ** > 7: メディア幅
**> 8: パスカンウェイト	 ** > 8: パス間ウェイト
**> 9: Yレイヤーツイカ	 ** > 9: Yレイヤー追加
**> 10: ユーザコピー	 ** > 10: ユーザコピー
**> 11: ショキカ	 ** > 11: 初期化

** > 1：作画モード

**> 1: サクガモード

作画モードの設定を行います。

- ・各作画モードを表示中に、[>] キーを押している間は、その作画モードの詳細情報（解像度、パス数、印刷方向）を表示します。
- ・作画モードを設定すると、エフェクトの設定に移ります。

設定値

モード: Quality X ->

高品質な印刷を行いたいときに設定します。
Quality 1~Quality 4 の 4 パターンがあります。

モード: Graphics X ->

標準画質で印刷を行いたいときに設定します。
Graphics 1~Graphics 2 の 2 パターンがあります。
初期値は Graphics 2 です。

モード: Banner X ->

高速印刷を行いたいときに設定します。
Banner 1~Banner 2 の 2 パターンがあります。

作画モードの詳細

作画モード	解像度	パス数 (4色使用時)	パス数 (5、6色使用時)	印刷方向	エフェクト初期値
Quality 1	1440 × 1440	16 pass	32 pass	Uni (片方向印刷)	i-Weave UV
Quality 2	1440 × 1440	16 pass	32 pass	Bi (双方向印刷)	i-Weave UV
Quality 3	720 × 1440	8 pass	16 pass	Uni (片方向印刷)	i-Weave UV
Quality 4	720 × 1440	8 pass	16 pass	Bi (双方向印刷)	i-Weave UV
Graphics 1	720 × 1080	6 pass	12 pass	Uni (片方向印刷)	i-Weave UV
Graphics 2	720 × 1080	6 pass	12 pass	Bi (双方向印刷)	i-Weave UV
Banner 1	720 × 720	4 pass	8 pass	Uni (片方向印刷)	i-Weave UV
Banner 2	720 × 720	4 pass	8 pass	Bi (双方向印刷)	i-Weave UV

エフェクトの設定

モード: Graphics 2 ->

エフェクト機能を設定します。
設定した作画モードに微調整を加えて、画質を向上します。

設定値

エフェクト: None	エフェクトを使用しません。
エフェクト: i-Weave UV	印刷のつなが目をぼかします。 初期値はこの設定です。
エフェクト: i-Weave UVEx	パス間のエッジがほとんど目立たなくなり、よりシームレスになります。

Note

- 作画モードメニューで「Quality 1」、「Quality 2」に設定されている場合、エフェクトメニューで「i-Weave UVEx」を選択しても、「i-Weave UV」を選択したときと同じ印刷結果になります。

** > 2 : 調整作画

**> 2: チョウセイサクガ>

最適な画質に調整するときに設定します。
調整を行う前に、メディアの厚さを入力します。

サブメニュー

チョウセイサクガ1: Standard	現在のユーザ定義で使用している作画モードのみ、調整を行います。
チョウセイサクガ2: Custom	現在のユーザ定義で使用している作画モード以外の作画モードも調整できます。

調整作画 1 : Standard

チョウセイサクガ1: Standard

現在のユーザ定義で使用している作画モードのみ、調整を行います。

- 👉 「1. 確認パターン」P. 65
- 👉 「2. 粗調整パターン」P. 66
- 👉 「3. 微調整パターン」P. 66

サブメニュー

チョウセイ1: カクニンパターン	画質微調整のためのテストパターンを印刷します。調整前の確認を行います。
チョウセイ2: ソチョウセイパターン	ズレ量が大きいと思われる場合に実行します。調整パターンを印刷し、設定値を入力します。
チョウセイ3: チョウセイパターン	ズレ量が小さいと思われる場合に実行します。調整パターンを印刷し、設定値を入力します。

調整作画 2 : Custom

チョウセイサクガ2: Custom

A ~ F のすべてのパターンに対する調整を行います。

👉 「1. 確認パターン」P. 65

👉 「2. 粗調整パターン」P. 66

👉 「3. 微調整パターン」P. 66

サブメニュー

チョウセイ1: カクニンパターン	画質微調整のためのテストパターンを印刷します。調整前の確認を行います。
チョウセイ2: ソチョウセイALL	A ~ F のすべての調整パターンを印刷します。
チョウセイ3: ソチョウセイパターンA	A ~ F のうちから選択された調整パターンを印刷します。
⋮	
チョウセイ8: ソチョウセイパターンF	
チョウセイ9: チョウセイALL	A ~ F のすべての調整パターンを印刷します。
チョウセイ10: チョウセイパターンA	A ~ F のうちから選択された調整パターンを印刷します。
⋮	
チョウセイ15: チョウセイパターンF	

作画モードに対応する調整パターン

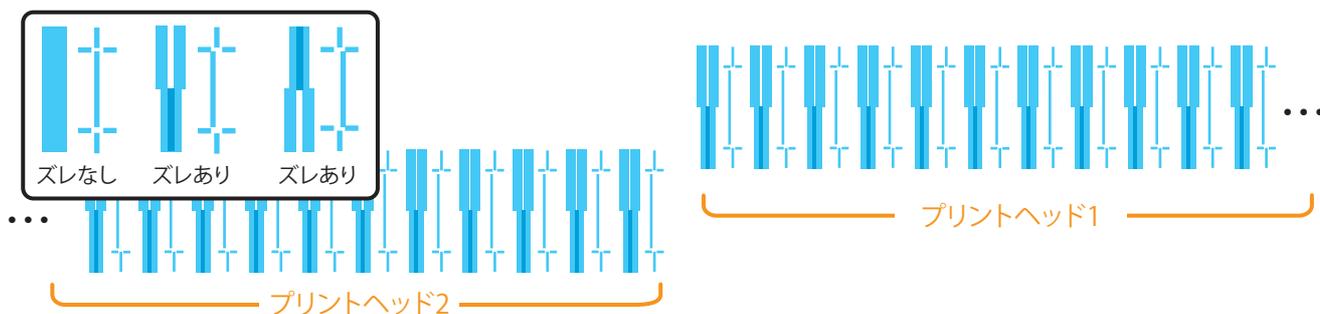
作画モード	作画モードの仕様	調整パターン
Quality 1	1440 x 1440, 16 pass / 32 pass, Uni	E
Quality 2	1440 x 1440, 16 pass / 32 pass, Bi	
Quality 3	720 x 1440, 8 pass / 16 pass, Uni	D
Quality 4	720 x 1440, 8 pass / 16 pass, Bi	
Graphics 1	720 x 1080, 6 pass / 12 pass, Uni	
Graphics 2	720 x 1080, 6 pass / 12 pass, Bi	
Banner 1	720 x 720, 4 pass / 8 pass, Uni	
Banner 2	720 x 720, 4 pass / 8 pass, Bi	

手順

1. 確認パターンを印刷し、ズレがあるか確認します。
2. 粗調整パターンを印刷し、プリントヘッド1の印刷結果から、ズレがないところを探します。
 - 「調整作画2: Custom」を選択した場合は、「ALL」または「A」～「F」を選びます。
 - ズレのないパターンの下に印刷されている番号が調整値です。
3. 調整値を入力します。
4. 同様に、プリントヘッド2の調整を行います。
5. 微調整パターンを印刷し、プリントヘッド1の印刷結果から、ズレがないところを探します。
 - 「調整作画2: Custom」を選択した場合は、「ALL」または「A」～「F」を選びます。
 - ズレのないパターンの下に印刷されている番号が調整値です。
6. 調整値を入力します。
7. 同様に、プリントヘッド2の調整を行います。

1. 確認パターン

- [Enter] キーを押すと、印刷を行います。
- 印刷結果を確認し、ズレがあれば、粗調整パターンに進みます。
- 下図の場合、ズレがあります。

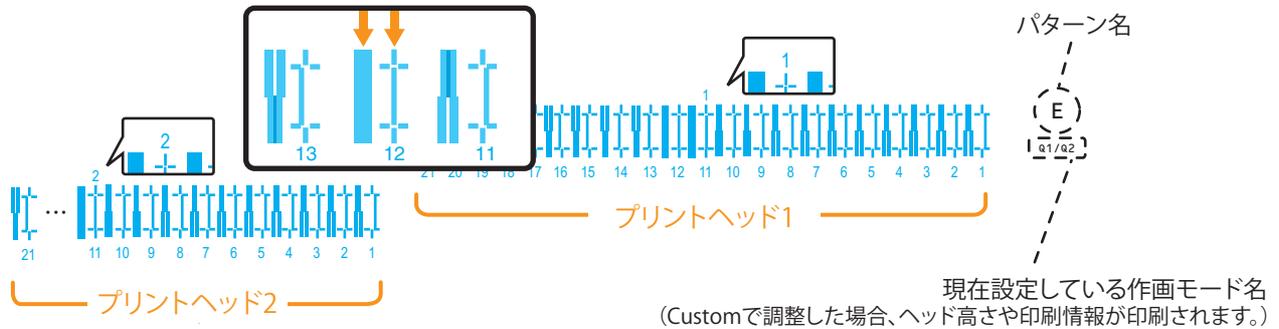


Note

- 本製品はプリントヘッドが2つ内蔵されているため、確認パターンを2列印刷します。
- 上記のパターンは、4色使用の場合の例です。

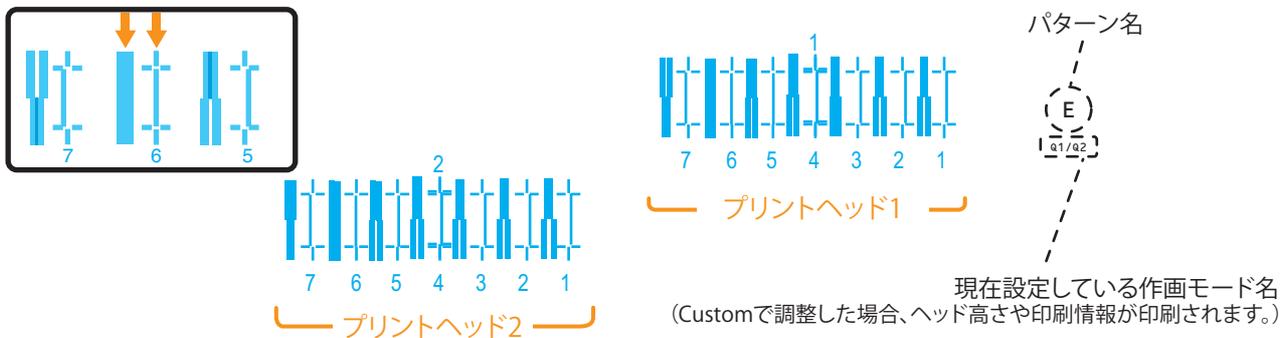
2. 粗調整パターン

- ・ [Enter] キーを押すと、印刷を行います。
- ・ プリントヘッド 1 について、印刷結果を見て、もっともズレのないパターンの下に印刷されている番号を探します。
- ・ ディスプレイに「パターン E1： 11」などと表示されているので、もっともズレのないパターンの番号を [+] キー / [-] キーで入力して [Enter] キーを押します。
- ・ 下図の場合「パターン E1： 12」と入力します。同様に、プリントヘッド 2 の調整を行います。



3. 微調整パターン

- ・ [Enter] キーを押すと、印刷を行います。画質微調整パターンは、メディア両端と中央に印刷されます。
- ・ プリントヘッド 1 について、メディア両端と中央の印刷結果を見て、もっともズレのないパターンの下に印刷されている番号を探します。
- ・ ディスプレイに「パターン E1： 4」などと表示されているので、もっともズレのないパターンの番号を [+] キー / [-] キーで入力して [Enter] キーを押します。
- ・ 下図の場合「パターン E1： 6」と入力します。同様に、プリントヘッド 2 の調整を行います。



** > 3 : 送り補正

** > 3 : オクリホセイ >

メディア送り補正についての各種設定を行います。

印刷結果に次のような不具合があるとき、メディア送り補正を行うと改善する場合があります。

- ・画像が重なっている。
- ・画像に白いスジが入っている。

サブメニュー

ホセイ1:	シヨキチヨウセイサクガ	☞ 「補正 1 : 初期調整作画」 P. 68
ホセイ2:	シヨキチヨウセイチ	☞ 「補正 2 : 初期調整値」 P. 68
ホセイ3:	カクニンチヨウセイサクガ	☞ 「補正 3 : 確認調整作画」 P. 69
ホセイ4:	ビチヨウセイサクガ	☞ 「補正 4 : 微調整作画」 P. 69
ホセイ5:	ビチヨウセイチ	☞ 「補正 5 : 微調整値」 P. 70

手順

1. 「補正 1 : 初期調整作画」を選択します。
 - ・「フィート`ナカ`サ : 250 mm」と表示されます。
2. 初期調整作画終了後、メディアをカットします。
 - ・定規等を使用して、初期調整作画の「 ∇ 」間の長さを測ります。
3. 1章の「メディア送り補正の手順」P. 45 を参考に、操作パネルで「補正 2 : 初期調整値」を選択します。
4. 操作パネルの [+] キーまたは [-] キーを押して、手順 2 で測った実測値を入力します。
 - ・[Enter] キーを押して、初期調整値を保存します。
5. 「補正 3 : 確認調整作画」を選択します。
 - ・「フィート`ナカ`サ : 250 mm」と表示されます。
6. 確認調整作画終了後、メディアをカットします。
 - ・定規等を使用して、確認調整作画の「 ∇ 」間の長さを測り、印刷時のフィード長さとも一致しているか確認します。
 - ・長さが一致していない場合は、手順 1 ~ 5 に従って再度調整を行います。
 - ・長さが一致した場合は、手順 7 に進みます。

7. 1章の「メディア送り補正の手順」P.45を参考に、操作パネルで「補正4：微調整作画」を選択します。

- パターンを見て、微調整値を確認します。パターンの中でもっとも白スジ・画像の重なりがないところを探します。そのパターンの下にある数字が、微調整値です。

8. 手順7の印刷結果に従って微調整値を入力します。

すでに調整値が分かっている場合の手順（メディア交換など）

1. 「補正5：微調整値」に調整値を入力します。
2. 確認作画の有無を選択し、調整を終了します。

補正1：初期調整作画

ホセイ1: ショキチョウセイサクガ

左の表示のときに [Enter] キーを押すと、初期調整作画を行います。

設定値

フィードナガサ: 250 mm

100 mm ~ <250 mm> ~ 500 mm

<> は初期値を表します。

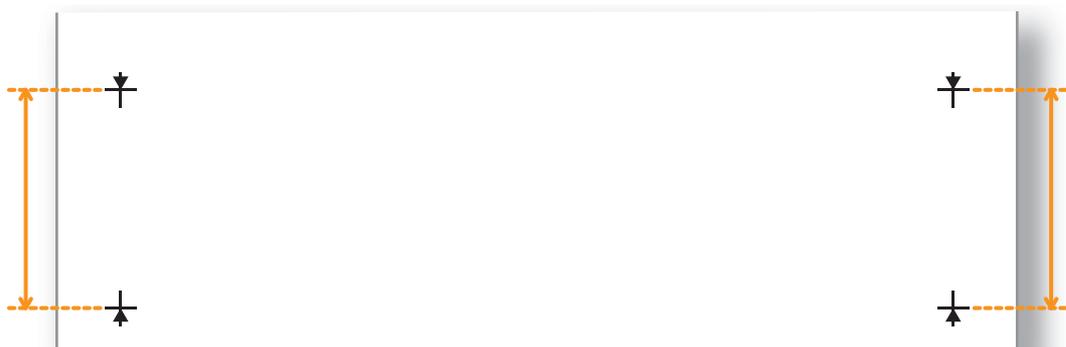
- 初期調整作画終了後、メディアをカットします。
- 定規等を使用して、初期調整作画の「」間の長さを測ります。
以下の例では、測る場所をオレンジ色の点線と矢印で示しています（オレンジ色の部分は実際は印刷されません）。

Note

初期調整作画のメディア搬送方向の長さ（フィード長さ）は、通常は 250 mm に設定されています。

フィード長さを長くすると、メディア送り補正の精度が若干向上します。

フィード長さを変更する場合は、操作パネルの [+] キーまたは [-] キーを押して、設定値を変更してください。



補正2：初期調整値

ホセイ2: ショキチョウセイイチ

調整値を [+] キー / [-] キーで入力して [Enter] キーを押します。

設定値

チョウセイイチ: 250 mm / 250 mm

設定値は、初期調整作画で設定したフィード長さ ± 50 mm の間で入力できます。

補正 3：確認調整作画

ホセイ3: カクニンチョウセイサクガ

左の表示のときに [Enter] キーを押すと、確認調整作画を行います。

設定値

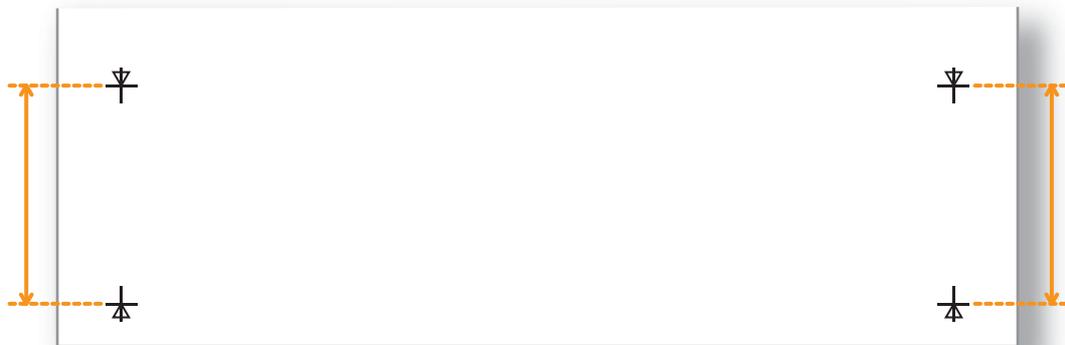
フィードナガサ: 250 mm

100 mm ~ <250 mm> ~ 500 mm
<> は初期値を表します。

- ・ 確認調整作画終了後、メディアをカットします。
- ・ 定規等を使用して、確認調整作画の「 \equiv 」間の長さを測ります。
下の例では、測る場所をオレンジ色の点線と矢印で示しています（オレンジ色の部分は実際は印刷されません）。
- ・ 長さが一致していない場合は、「補正 1：初期調整作画」で再度調整を行います。
- ・ 長さが一致した場合は、「補正 4：微調整作画」に進みます。

Note

確認調整作画のメディア搬送方向の長さ（フィード長さ）は、通常は 250 mm に設定されています。
フィード長さを長くすると、メディア送り補正の精度が若干向上します。
フィード長さを変更する場合は、操作パネルの [+] キーまたは [-] キーを押して、設定値を変更してください。

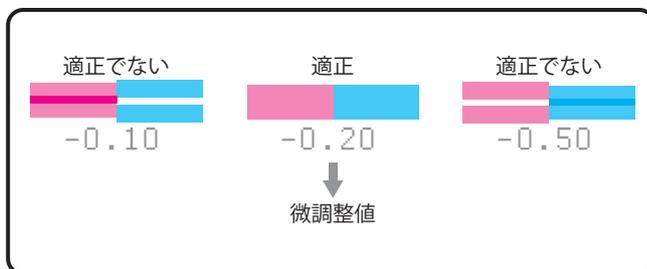


補正 4：微調整作画

ホセイ4: ビチョウセイサクガ

左の表示のときに [Enter] キーを押すと、微調整作画を行います。

- ・ パターンを見て、微調整値を確認します。パターンの中でもっとも白スジ・画像の重なりがないところを探します。そのパターンの下にある数字が、微調整値です。印刷結果に従って微調整値を入力します。



Note

微調整値を入力し保存すると、その値が基準値となるように各微調整値が増減します。
微調整値に「-0.20」を保存し印刷した場合、調整パターンの下にある数字は、左から「+1.00」、「+0.60」、「+0.30」、「0.00」、「-0.10」、「-0.20（基準値）」、「-0.30」、「-0.40」、「-0.70」、「-1.00」、「-1.40」となります。

補正 5：微調整値

ホセイ5: ピチヨウセイチ

調整値を [+] キー / [-] キーで入力して [Enter] キーを押します。
確認作画の有無を選択し、調整を終了します。

設定値

ピチヨウセイチ: 0.00%

-5.00% ~ <0.00%> ~ 5.00%
<> は初期値を表します。

** > 4：吸着ファン

**>4: キュウチャクファン

吸着ファンの動作を設定します。
[+] キー / [-] キーで選択して [Enter] キーを押します。
・薄いメディアや柔らかいメディアを使用していてシワになる場合は、弱めてください。

設定値

キュウチャクファン: High

<High> / Middle / Low / オフ
<> は初期値を表します。

** > 5：メディア厚さ

**>5: メディアアツサ

使用するメディアの厚さを設定します。
[+] キー / [-] キーで入力して [Enter] キーを押します。

設定値

メディアアツサ: 170 μm

80 μm ~ <170 μm> ~ 2,800 μm
<> は初期値を表します。

Note

- ・本メニューは、ある程度の画質調整を自動で行うためものです。より画質を高めたい場合は、画質調整を手動で行ってください。
 [「** > 2：調整作画」P.63](#)
- ・画質調整を行った場合、本メニューでメディア厚さを設定しなくても問題ありません。

** > 6 : メディア検出

**>6: メディアケンシュツ

メディアイニシャル時にメディアの幅の検出を行うかどうかを設定します。

設定値

ケンシュツ: オフ

メディア検出を行いません。

ケンシュツ: Top&Width

メディアイニシャル時に、メディアの幅および先端の検出を行います。

ケンシュツ: Width

メディアイニシャル時に、メディアの幅の検出を行います。

初期値はこの設定です。



Note

「**>6: メディア検出」を「Off」に設定した場合は、「**>7: メディア幅」でセットしたメディアの幅を設定してください。

** > 7 : メディア幅

**>7: メディア幅

「**>6: メディア検出」を「Off」に設定した場合は、セットしたメディアの幅を設定します。

「**>6: メディア検出」を「Off」以外に設定した場合は、検出されたメディアの幅を表示します。

[+] キー / [-] キーで入力して [Enter] キーを押します。

設定値

メディア幅: 1000 mm

182 mm ~ <1,000 mm> ~ 1,625 mm

<> は初期値を表します。

** > 8 : パス間ウェイト

**>8: パス間ウェイト

重ね描き印刷時および通常印刷時の、パス間のウェイト時間を設定します。

設定値

パス間ウェイト: 0.0 sec

<0.0 秒> ~ 5.0 秒

<> は初期値を表します。

** > 9 : Y レイヤー追加

**> 9: Yレイヤーツイカ

ホワイトアンダーレイ、または3レイヤーのデータのホワイトレイヤーの下に、イエローレイヤーを追加します。
 ・このメニューは6色設定時のみ設定できます。

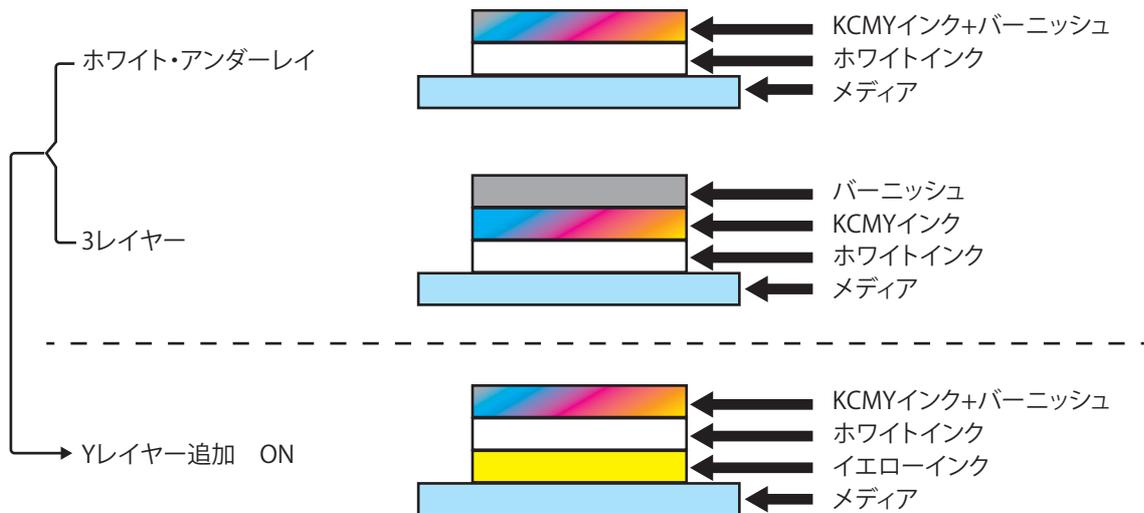
設定値

Yレイヤーツイカ: オフ

イエローレイヤーを追加しません。
 初期値はこの設定です。

Yレイヤーツイカ: オン

ホワイトレイヤーの下にイエローレイヤーを追加します。



Note

3レイヤーの場合に「Yレイヤー追加」を「オン」にすると、バーニッシュレイヤーとKCMYレイヤーを一番上のレイヤーに統合します。

** > 10 : ユーザコピー

**> 10: ユーザコピー

現在選択中のユーザ定義の設定を、一括して他のユーザ定義にコピーします。

設定値

ユーザコピー: Type 1 -> 2

コピー先のユーザ定義が選択できます。
 ALL を選択するとすべてのユーザ定義にコピーされます。

ユーザコピー: Type 1 -> ALL

** > 11 : 初期化

**> 11: ショキカ

選択されているユーザ定義の設定内容を、工場出荷時の初期値に戻します。

メニュー3: 設定

セット1: サイドマージン

セット1: サイドマージン

印刷時の左右のマージン（サイドマージン）を設定します。
[+] キー / [-] キーで入力して [Enter] キーを押します。

設定値

サイドマージン: 5 mm

<5 mm> ~ 80 mm

<> は初期値を表します。



Note

- ・「フラッシングメニュー」で「メディア上」に設定した場合は、最大印刷幅が 16 mm 小さくなります。
そのため左右の余白はそれぞれ、「サイドマージンメニューで設定した値」+8 mm となります。

「セット 21: フラッシング」P.85

セット2: 排紙モード

セット2: ハイシモード

印刷終了後のメディアの動作を設定します。

サブメニュー

ハイシモード: オフ

巻き取り装置を使用しません。
初期値はこの設定です。

ハイシモード: マキトリ

巻き取り装置を使用する場合に設定します。

ハイシモード: オートカット

自動でメディアのカットを行う場合に設定します。

「セット 3: カット方法」P.74

排紙モードで「巻き取り」に設定した場合

ハイシモード: マキトリ

Enter

排紙モード設定を「巻き取り」に設定すると、ページ間余白メニューに移行します。ページ間余白メニューでは、印刷結果どうしの間の余白を変更できます。

設定値

ページカンヨハク: ツウジョウ

印刷間の余白を変更しません。
初期値はこの設定です。

ページカンヨハク: セマイ

印刷間の余白が「通常」よりも狭くなります。

セット3：カット方法

セット3: カットホウホウ

印刷終了後の、メディアカット動作について設定します。

設定値

カット: 1ドギリ-2ダンカイ

「1度切り-3段階」よりも少ない工程でカットします。
幅が狭めのメディアに適しています。

カット: 1ドギリ-3ダンカイ

通常のカット方法です。
初期値はこの設定です。

カット: 2ドギリ-2ダンカイ

「1度切り-2段階」ではカットできない場合に設定します。
幅が狭めのメディアに適しています。

カット: 2ドギリ-3ダンカイ

「1度切り-3段階」ではカットできない場合に設定します。

Note

- ・「**>6：メディア検出」で「Off」に設定した場合は、自動でカットすることができません。

👉 [「**>6：メディア検出」P.71](#)

- ・メディアによっては、カットできない（カット自体ができない、またはきれいにカットできない）場合があります。その場合は、「排紙モードメニュー」にて「オフ」を設定し、手動でカットしてください。

👉 [「セット2：排紙モード」P.73](#)

カット圧メニュー

カット: 1ドギリ-3ダンカイ

Enter

カット動作時に、メディアをカットする強さを設定します。

設定値

カットアツ: ヨワイ

通常よりも弱い力でカットします。
「強い」では力が強すぎる場合や、薄いメディアを使用するときなどに使用します。

カットアツ: ツヨイ

通常のカット圧です。
初期値はこの設定です。

セット4：原点設定

セット4: ゲンテンセッテイ

印刷データの印刷開始位置（原点）を設定します。

既に印刷したメディアに、印刷データの配置を変えて余白部分に再度印刷したい場合などに設定します。

[+] キー / [-] キーで入力して [Enter] キーを押します。

設定値

X (PF):	-15000 mm	X (メディア送り量):
⋮	⋮	-15,000 mm ~ 15,000 mm
X (PF):	15000 mm	
Y (CR):	0 mm	Y (プリントヘッド移動量):
⋮	⋮	0 mm ~ 1,690 mm
Y (CR):	1690 mm	

Note

- ・ サイドマージンの設定値により、Y (プリントヘッド移動量) の最大設定値は減少します。

👉 「セット1：サイドマージン」P.73

- ・ メディア右側の余白は、設定により下記の合計値になります。

「原点設定メニューのY (プリントヘッド移動量) の値」 + 「8 mm (フラッシング設定が「メディア上」の場合)」 + 「サイドマージンメニューで設定した値」

👉 「セット1：サイドマージン」P.73

👉 「セット21：フラッシング」P.85

セット5：CR 作画移動幅

セット5: CRサクガイドウハバ

印刷中にプリントヘッドが移動する範囲を設定します。

設定値

CRサクガイドウハバ:	データハバ	プリントヘッドが印刷データ幅の範囲を移動します。
CRサクガイドウハバ:	キカイハバ	プリントヘッドが本製品の最大移動幅まで移動します。
CRサクガイドウハバ:	メディアハバ	プリントヘッドがメディアの幅を移動しません。 初期値はこの設定です。
CRサクガイドウハバ:	データエッジ	プリントヘッドの移動範囲が、印刷データのパスの幅にあわせて変化します。 プリントヘッドの移動範囲が最適になるため、「データ幅」設定時より、印刷速度が向上します。

セット 6：重ね描き回数

セット6: カサネガキカイスウ

印刷 1 パスあたりの重ね描き回数を設定します。

- ・ 5 色または、6 色設定かつ、重ね描き回数が 1 回のときのみ、レイヤー印刷重ね描き回数の設定に移ります。

設定値

カサネガキカイスウ: 1カイ

<1 回> ~ 9 回

<> は初期値を表します。

レイヤー印刷重ね描き回数

カサネガキカイスウ: 1カイ

レイヤーの選択に移ります。

サブメニュー

レイヤー カサネガキカイスウ 1: Co

 [カラーレイヤー重ね描き回数](#)

レイヤー カサネガキカイスウ 2: Wh

 [ホワイトレイヤー重ね描き回数](#)

レイヤー カサネガキカイスウ 3: Va

 [バーニッシュレイヤー重ね描き回数](#)

カラーレイヤー重ね描き回数

レイヤー カサネガキカイスウ 1: Co

カラー (CMYK) の重ね描き回数の設定に移ります。

設定値

Color: 1カイ

<1 回> ~ 9 回

<> は初期値を表します。

ホワイトレイヤー重ね描き回数

レイヤー カサネガキカイスウ 2: Wh

ホワイトインクの重ね描き回数の設定に移ります。

- ・ 6 色設定のときのみ設定できます。

設定値

White: 1カイ

<1 回> ~ 9 回

<> は初期値を表します。

バーニッシュレイヤー重ね描き回数

レイヤー カサネガキカイスウ 3: Va

バーニッシュ (クリアトップコート) の重ね描き回数の設定に移ります。

設定値

Varnish: 1カイ

<1 回> ~ 9 回

<> は初期値を表します。

セット7：斜行チェック

セット7: シャコウチェック

メディア搬送中の斜行検出を設定します。

設定値

シャコウチェック: オフ

斜行チェックを行いません。

シャコウチェック: オン

斜行チェックを行います。
初期値はこの設定です。

セット8：シングルヘッド

セット8: シングルヘッド

印刷するときに使用するプリントヘッドを選択します。

印刷速度は低下しますが、1つのプリントヘッドに不具合が生じた場合でも、印刷を行うことができます。

設定値

シングルヘッド: オフ

2つのプリントヘッドを使用して印刷します。
初期値はこの設定です。

† < と

プリントヘッド1のみを使って印刷します。

シングルヘッド: 2

プリントヘッド2のみを使って印刷します。

Important!

プリントヘッドに不具合が生じた場合は、お買い求めの MUTOH 製品取扱店または MUTOH カスタマーサポート窓口までご連絡ください。

👉 「お問い合わせ先」P.158

セット 9：ノズル選択

セット9: ノズルセンタク

プリントヘッドのノズルを半分に減らして印刷するかどうかを設定できます。印刷速度は低下しますが、画質の向上が期待できます。
・このメニューは、4色設定時のみ表示されます。

設定値

ノズルセンタク:	ALL	ノズル選択機能を使用しません。初期値はこの設定です。
ノズルセンタク:	Aノズル	プリントヘッドのノズルを半分に減らして印刷します。各色2列あるノズル列の内、片側のノズル列のみ使用します。
ノズルセンタク:	Bノズル	「Aノズル」の場合と逆のノズル列を使用します。

Note

「シングルヘッドメニュー」と組み合わせて使用することもできます。

👉 「セット 8：シングルヘッド」P.77

セット 10：オートクリーニング

セット10: オートクリーニング

オートクリーニングを設定します。設定した時間が経過するとクリーニングを行います。

サブメニュー

オートクリーニング1:	ルイセキサクガ	印刷を開始してからクリーニングを行うまでの時間を設定します。
-------------	---------	--------------------------------

累積作画メニュー

オートクリーニング1: ルイセキサクガ

Enter

印刷を開始してからクリーニングを行うまでの時間を設定します。

設定値

ルイセキサクガ:	オフ	< オフ > / 1h / 2h / 3h / 4h <> は初期値を表します。
----------	----	---

セット 11：ロール紙長さ設定

セット11: ロールシナガサセッテイ

セットしたロール紙の長さを設定します。

設定値

ロールシナガサセッテイ: オフ

ロール紙長さ設定を使用しません。
初期値はこの設定です。

ロールシナガサセッテイ: ロールシ1

ロールシナガサセッテイ: ロールシ2

ロールシナガサセッテイ: ロールシ3

セットしたロール紙の長さを設定します。
ロール紙長さの設定値は、「ロール紙 1」
～「ロール紙 3」として、それぞれ3通り
設定することができます。

ロール紙長さ設定で、ロール紙 1～ロール紙 3 に設定した場合

長さメニュー

ロールシナガサセッテイ: ロールシ1

Enter

セットしたロール紙の長さを設定します。

設定値

ナガサ: 30 m

1 m ~ <30 m> ~ 200 m
<> は初期値を表します。

作画停止メニュー

ナガサ: 30 m

Enter

プリンターの内部でカウントしているロール紙の長さの値がゼロになったときに、
印刷を停止するかどうかを設定します。

設定値

サクガテイシ: オフ

印刷の停止判定にロール紙の残量カウント
を使用しません。リアセンサーが反応した
場合に印刷が停止します。
初期値はこの設定です。

サクガテイシ: オン

リアセンサーが反応しない場合でも、ロー
ル紙の残量カウントがゼロになると印刷を
停止します。



Note

- ・ 通常はロール紙が終わるとリアセンサーで検出されるため、「オフ」設定で問題ありません。
- ・ 紙管から紙が離れにくいタイプのロール紙だと、「作画停止メニュー」を「オフ」に設定していると、ロール紙が終わったときに印刷が停止しないことがあります。そのような場合は、「オン」に設定してください。

ニアエンドメニュー

サクガティシ:	オン
<input type="button" value="Enter"/>	

プリンターの内部でカウントしているロール紙の長さの値がゼロになる前に「ロールシ ニアエンド: * m」(*は1～10の数字)を表示させることができます。

設定値

ニアエンド:	オフ
--------	----

「ニアエンド」を表示しません
初期値はこの設定です。

ニアエンド:	ノコリ*m
--------	-------

ノコリ 1 m～10 m
長さを選択すると、ロール紙の残量カウントがその長さに達したときに「ニアエンド」を表示します。

セット 12：先端処理

セット12:	センタンシヨリ
--------	---------

先端処理機能を設定します。

設定値

センタンシヨリ:	オート
----------	-----

<オート>/オフ
<>は初期値を表します。

セット 13：CR メンテナンス

セット13: CRメンテナンス

以下を行うときに使用します。

- ・フラッシングボックス用吸収材の交換
- ・クリーニングワイパーの交換
- ・カッターの交換

 「メンテナンスについて」P.100

サブメニュー

CRメンテナンス: Start

[Enter] キーを押して、作業を行ってください。

- ・キャリッジが本製品の左側へ移動します。
- ・クリーニングワイパーが上側へ移動します。

CRメンテナンス: End

作業が終了したら、[Enter] キーを押します。

- ・キャリッジ、クリーニングワイパーが元の位置に移動します。

セット 14：インクステータス

セット14: インクステータス

各インクカートリッジ（インクパック）のインク残量が表示されます。
（単位：％）

1234: XX / XX / XX / XX

5678: XX / XX / XX / XX

4 色使用時

- ・1：マゼンタ (M)
- ・2：マゼンタ (M)
- ・3：シアン (C)
- ・4：シアン (C)
- ・5：イエロー (Y)
- ・6：イエロー (Y)
- ・7：ブラック (K)
- ・8：ブラック (K)

5 色使用時

- ・1：ブラック (K)
- ・2：マゼンタ (M)
- ・3：シアン (C)
- ・4：イエロー (Y)
- ・5：バーニッシュ (Va)
- ・6：バーニッシュ (Va)
- ・7：洗浄液 (Cl)
- ・8：洗浄液 (Cl)

6 色使用時

- ・1：ブラック (K)
- ・2：マゼンタ (M)
- ・3：シアン (C)
- ・4：イエロー (Y)
- ・5：バーニッシュ (Va)
- ・6：バーニッシュ (Va)
- ・7：ホワイト (Wh)
- ・8：ホワイト (Wh)

Note

- ・インクに関する各種情報を表示させる場合は、純正品のインクおよび S/C カードを使用してください。純正品以外を使用すると、インクステータスが正しく表示されません。
- ・インク残量が 10% で点滅表示している場合、対応しているインクカートリッジに対してスマートチップリカバリーが実行されています。
 「スマートチップリカバリー」P.147

セット 15：寿命確認

セット15: ジュミョウカクニン

製品各部の部品寿命を表示します。

- ・ 部品寿命は、*印の数（最大5個：残り100%）で表示します。部品寿命が近づくにつれて、*印の数が1個（20%）ずつ減っていきます。
- ・ *印が全て消えて、「Change」と表示された場合は、部品寿命に達しています。部品の交換を依頼してください。

「お問い合わせ先」P.158

- ・ 「Change」になると、メニューに入っていないときに「ジュミョウカクニン [ポンプ]」など表示が出るようになります。この表示は [Cancel] キーで削除できます。

ヘッド1: E*** F

プリントヘッド1の部品寿命を表示します。この場合は、残り60%を示します。

ヘッド2: E*** F

プリントヘッド2の部品寿命を表示します。

ポンプ: E*** F

ポンプ1の部品寿命を表示します。

CRモータ: Change

CRモーターの部品寿命を表示します。この場合は、部品寿命に達しています。部品の交換を依頼してください。

PFモータ: E**** F

PFモーターの部品寿命を表示します。

Cポンプ: E*** F

循環ポンプの寿命を表示します。

UVランプL: E*** F

UVランプ（左）の寿命を表示します。

UVランプR: E*** F

UVランプ（右）の寿命を表示します。

セット 16：ヘッダーダンプ

セット16: ヘッダーダンプ

印刷データについて下記の情報を印刷するかどうかを設定できます。

- ・ データヘッダー
- ・ データドット数 (ヘッダーダンプ設定が「オン」設定時のみ印刷します)
- ・ 印刷日時
- ・ プリンターシリアルナンバー
- ・ ファームウェアバージョン
- ・ 受信時間 (ヘッダーダンプ設定が「ダンプ」設定時のみ印刷します)
- ・ 受信サイズ (ヘッダーダンプ設定が「ダンプ」設定時のみ印刷します)

設定値

ヘッダーダンプ:	オフ	ダンプデータを印刷しません。 初期値はこの設定です。
ヘッダーダンプ:	オン	印刷データを印刷後、ダンプデータを印刷 します。
ヘッダーダンプ:	ダンプ	ダンプデータのみを印刷します。ただし、 「データドット数」は印刷しません。
ヘッダーダンプ:	インサツ	前回印刷したダンプデータを印刷します。 ダンプデータの履歴が無い場合は、「デー タガ アリマセン」と表示されます。

Note

- ・ ダンプデータは、テクニカルサポートを受ける場合に参考情報として活用します。
- ・ コンピュータと接続して印刷する場合は、「データヘッダー」に RIP ソフトの印刷設定が印刷されます。

セット 17：排気ファン

セット17: ハイキファン

排気ファンの動作を設定します。

製品内部の換気を行い、各部品の性能を安定させます。またインクミストによる製品内部の汚れを軽減させます。特に長時間印刷する場合は、動作させることを推奨します。

設定値

ハイキファン:	オフ	排気ファンの動作を Off します。
ハイキファン:	Low	排気ファンを「弱」で動作させます。 初期値はこの設定です。
ハイキファン:	High	排気ファンを「強」で動作させます。

セット 18：ホワイトメンテナンス

セット18: ホワイトメンテナンス

ホワイトインクのメンテナンス動作を設定します。

- ・ 普段の印刷にホワイトインクをほとんど使わない場合は、「微量」に設定しておくことで待機中のホワイトインクの消費を抑えることができます。
- ・ このメニューは、6色設定時のみ表示されます。

設定値

ホワイトメンテナンス: ツウジョウ

通常の頻度でホワイトインクのメンテナンス動作をします。
初期値はこの設定です。

ホワイトメンテナンス: ビリョウ

ホワイトインクのメンテナンス動作の頻度を少なくします。

Note

ホワイトインクはプリントヘッドやインクチューブ内で沈殿・凝固しやすい性質があります。そのため本製品は、待機中であっても性能維持のため定期的に少量のホワイトインクを排出します。

セット 19：スタートフィード

セット19: スタートフィード

スタートフィードを設定しておくことで、印刷結果どうしの間の余白を変更できます。

- ・ 値が0以上: 「0」設定時よりも余白が増えます。
- ・ 値が0: 印刷間の余白を変更しません。
- ・ 値が0以下: 「0」設定時よりも余白が減ります。

設定値

スタートフィード: 150 mm

-10 mm ~ <150 mm> ~ 500.0 mm
<> は初期値を表します。

Note

巻き取り装置をご使用の場合に「スタートフィード」を0未満に設定するときは、「ページ間余白メニュー」を「狭い」に設定してください。「通常」のままだと、「スタートフィード」での設定値が正しく反映されません。

[「排紙モードで「巻き取り」に設定した場合」P.73](#)

セット 20：初期化

セット20: ショキカ

本製品の各設定値を、工場出荷時の設定値(初期値)に戻します。

サブメニュー

ショキカ: ALL

全ての設定値を初期化します。

ショキカ: セッテイメニュー

設定メニューの設定値を初期化します。

セット 21：フラッシング

セット21: フラッシング

印刷中のフラッシング動作を設定します。

フラッシング設定が「オン」と「メディア上」の場合、リターン回数の設定に移ります。

設定値

フラッシング: オン

プリントヘッドが1往復する毎に、原点側のフラッシングボックスに戻ってフラッシング動作を行います。
初期値はこの設定です。

フラッシング: メディアジョウ

プリントヘッドが、メディアの余白上でもフラッシング動作を行います。
原点側のフラッシングボックスまで戻る回数が減るため、印刷速度が向上します。

フラッシング: オフ

フラッシング動作を行いません。

Note

- ・フラッシング動作は、プリントヘッドのノズル詰まりを防ぐためのメンテナンス動作です。インクを消費します。
- ・フラッシングを「オフ」に設定すると、フラッシング動作を行わないため、ノズル詰まりが発生しやすくなります。その場合、印刷品質は保証できません。
- ・フラッシング設定が「メディア上」の場合は、最大印刷幅が 16 mm 小さくなります。そのため左右の余白はそれぞれ、「サイドマージンメニューで設定した値」+8 mm となります。

 [「セット 1：サイドマージン」P.73](#)

リターン回数メニュー

フラッシング: オン

フラッシング: メディアジョウ

Enter

プリントヘッドが、原点側のフラッシングボックスでフラッシング動作を行う間隔を設定します。

設定した回数だけプリントヘッドが往復すること、フラッシング動作を行います。

[+] キー / [-] キーで入力して [Enter] キーを押します。

設定値

リターンカイスウ: 1カイ

<1 回> ~ 999 回

<> は初期値を表します。

Important!

リターン回数を多く設定すると、長時間印刷する場合にノズル詰まりが発生しやすくなります。
その場合、印刷品質は保証できません。

<フラッシング動作例>

フラッシング設定	リターン回数設定	動作
オン	1回	プリントヘッドが1往復する毎に、原点側のフラッシングボックスでフラッシング動作を行います。 メディア上ではフラッシング動作を行いません。
オン	5回	プリントヘッドが5往復する毎に、原点側のフラッシングボックスでフラッシング動作を行います。 メディア上ではフラッシング動作を行いません。
メディア上	1回	プリントヘッドが1往復する毎に、原点側のフラッシングボックスでフラッシング動作を行います。 また、プリントヘッドが1往復する毎に、メディア上でもフラッシング動作を行います。
メディア上	5回	プリントヘッドが5往復する毎に、原点側のフラッシングボックスでフラッシング動作を行います。 また、プリントヘッドが1往復する毎に、メディア上でもフラッシング動作を行います。
オフ	—	フラッシングボックスでもメディア上でもフラッシング動作を行いません。

セット 22：カラーメンテナンス

セット22: カラーメンテナンス

長時間（72 時間以上）使用しない場合のスリープモード、または電源オフからの復帰時に、カラーメンテナンスを行います。
色合いの変化が気になる場合は、設定をオンにしてください。

設定値

カラーメンテナンス: オフ カラーメンテナンスを行いません。
初期値はこの設定です。

カラーメンテナンス: オン カラーメンテナンスを行います。
多くのインクを消費します。

セット 23：追加照射回数

セット23: ツイカショウシャカイスウ

通常の印刷動作の後に、UV 光を追加照射する回数を設定します。
[+] キー / [-] キーで入力して [Enter] キーを押します。

設定値

ツイカショウシャカイスウ: 0カイ <0 回> ~ 3 回
<> は初期値を表します。

セット 24：一時詳細表示

セット24: イチジショウサイヒョウジ

簡易選択メニューで非表示に設定した項目を、設定メニューで一時的に表示させることができます。

[Enter] キーを押すと、設定メニューのすべての項目が表示された状態で、前階層のメニューに戻ります。

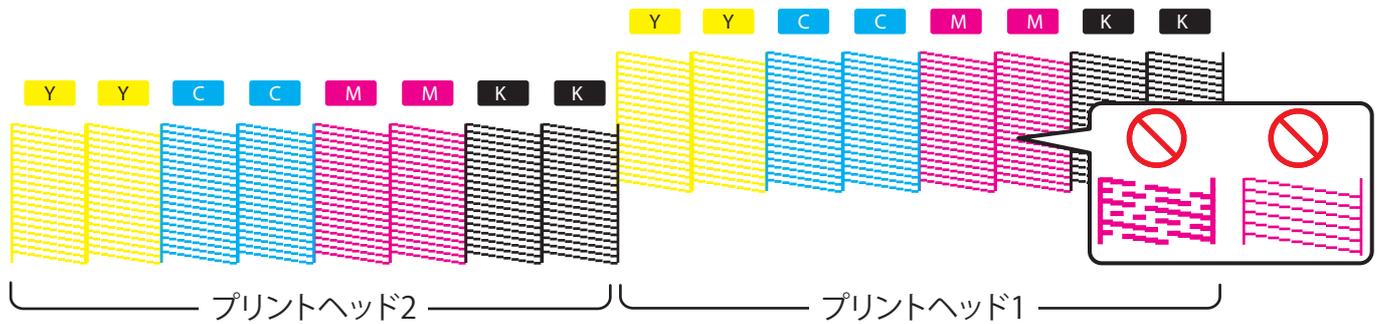
メニュー4: テスト作画

テスト 1: ノズルチェック

テスト1: ノズルチェック

印刷に使用するヘッドの目詰まりや印刷の欠け・かすれがないか確認をする時に使用します。

👉 「ノズルチェックの手順」P.38



Note

- ・ 4色使用時のノズルチェックの印刷例です。
- ・ プリンター情報（印刷時刻、シリアル番号、ファームウェアバージョン）が印刷されます。

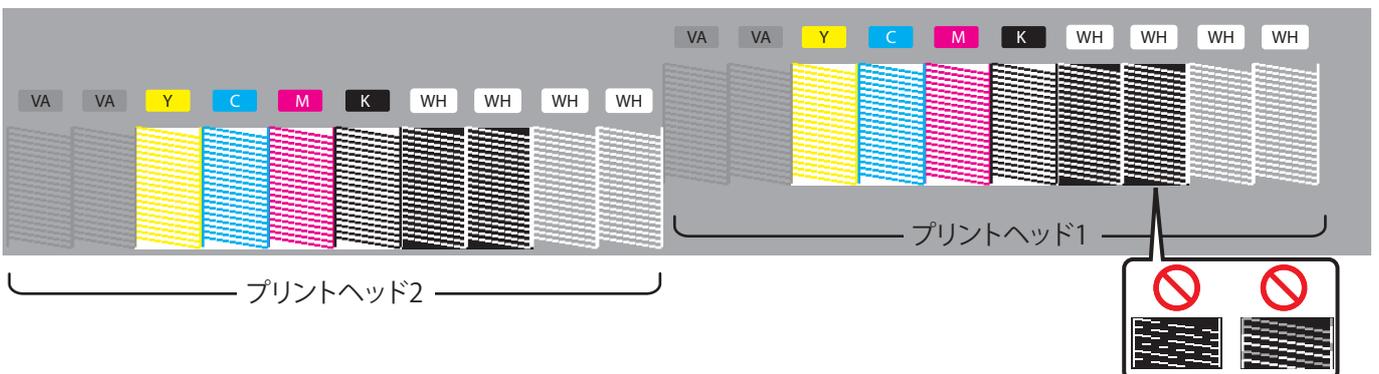
テスト 2: ノズルチェック B

テスト2: ノズルチェックB

一部のノズルチェックパターンの背景に色を付けて印刷します。

- ・ ホワイトのノズルの一部の背景が黒になります。
- ・ CMYKのノズルは背景が白になります。
- ・ バーニッシュ（およびホワイトの一部）のノズルは背景なしになります。

👉 「ノズルチェックの手順」P.38



Note

- ・ 6色設定時のみ、メニューに「ノズルチェック B」を表示します。
- ・ プリンター情報（印刷時刻、シリアル番号、ファームウェアバージョン）が印刷されます。

テスト3：モードプリント

テスト3: モードプリント

モードプリント印刷を行います。以下の印刷条件を確認するときに使用します。

- ・作画モード
- ・エフェクト
- ・送り補正の微調整値

2018/1/01 00:00 G2(720x1080 12Pass Bi) - i-Weave UV / 微調整値0%

テスト4：設定内容

テスト4: セッテイナイヨウ

設定内容の印刷を行います。
現在の設定内容および、ユーザ定義を確認するときに使用します。

現在の設定内容

現在の設定内容	
<p>印刷条件</p> <ul style="list-style-type: none"> 印刷モード: 印刷モード 印刷速度: 印刷速度 印刷圧力: 印刷圧力 印刷温度: 印刷温度 印刷湿度: 印刷湿度 印刷速度: 印刷速度 印刷圧力: 印刷圧力 印刷温度: 印刷温度 印刷湿度: 印刷湿度 印刷速度: 印刷速度 印刷圧力: 印刷圧力 印刷温度: 印刷温度 印刷湿度: 印刷湿度 	<p>印刷条件</p> <ul style="list-style-type: none"> 印刷モード: 印刷モード 印刷速度: 印刷速度 印刷圧力: 印刷圧力 印刷温度: 印刷温度 印刷湿度: 印刷湿度 印刷速度: 印刷速度 印刷圧力: 印刷圧力 印刷温度: 印刷温度 印刷湿度: 印刷湿度 印刷速度: 印刷速度 印刷圧力: 印刷圧力 印刷温度: 印刷温度 印刷湿度: 印刷湿度

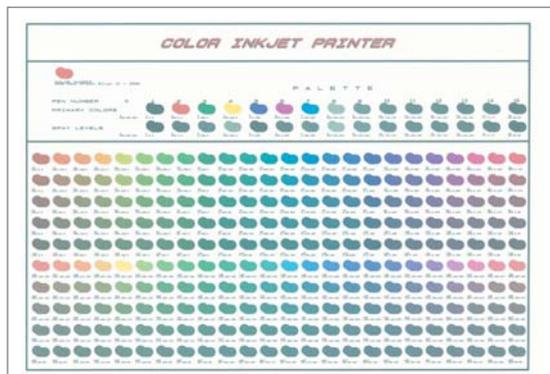
各ユーザ定義設定

ユーザ定義	ユーザ定義	ユーザ定義	ユーザ定義	ユーザ定義	ユーザ定義
印刷モード	印刷モード	印刷モード	印刷モード	印刷モード	印刷モード
印刷速度	印刷速度	印刷速度	印刷速度	印刷速度	印刷速度
印刷圧力	印刷圧力	印刷圧力	印刷圧力	印刷圧力	印刷圧力
印刷温度	印刷温度	印刷温度	印刷温度	印刷温度	印刷温度
印刷湿度	印刷湿度	印刷湿度	印刷湿度	印刷湿度	印刷湿度

テスト5：パレット

テスト5: パレット

カラーデモとして、パレット印刷を行います。



Note

現在選択されているユーザ定義の作画モードが、「Graphics 1」または「Graphics 2」に設定されている場合は、「パレット作画」メニューは表示されません。

☞ [「** > 1：作画モード」P.62](#)

テスト 6：ヘッド調整

テスト6: ヘッドチョウセイ >

本製品のキャリッジの内部には、プリントヘッドが2つ搭載されています。このメニューでは、プリントヘッド1とプリントヘッド2の印刷がズレないように調整します。[>] キーを押すと、サブメニューを表示します。

以下の場合に行ってください。

- ・「調整作画」を行っても画質が改善しないとき
- ・薄いメディアやインク滴が広がらないメディアに変更した後

このメニューを行った後には、かならず「調整作画」を行ってください。行わないと双方向印刷での画質が低下する恐れがあります。

サブメニュー

ヘッドチョウセイ1: Standard

現在のユーザ定義で使用している作画モードのみを調整します。

「Custom」で「チョウセイ ALL」を選択した場合よりも短い時間で調整できます。

この「Standard」で調整したときは、RIP側の作画モードの中身をユーザ定義の作画モードと同じにする必要があります。RIP側の作画モードの解像度、パス数、作画方向をユーザ定義の作画モード相当にしてください。

ヘッドチョウセイ2: Custom

現在のユーザ定義で使用している作画モード以外の作画モードも調整できます。RIP側の作画モードがユーザ定義の作画モードと違っていても、画質を最適にできます。

ヘッドチョウセイ 2：Custom を選択した場合

ヘッドチョウセイ2: Custom

調整方法を選択できます。

「チョウセイ A」～「チョウセイ F」を選択する場合は、印刷で使用する作画モードと合ったものを選択してください。

RIP側の作画モードの解像度、パス数、作画方向がユーザ定義の作画モードと異なっている場合は、RIP側に合わせた調整パターンを選択してください。

[「作画モードに対応する調整パターン」P.64](#)

サブメニュー

チョウセイ1: チョウセイALL

すべてのパターンを調整します。

チョウセイ2: チョウセイパターンA

A～Fのうちから選択された調整パターンを印刷します。

⋮

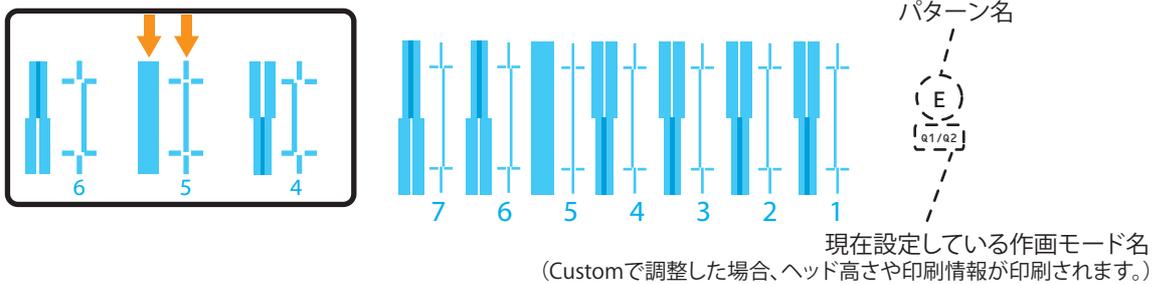
チョウセイ7: チョウセイパターンF

手順

1. 調整パターンを印刷し、ズレがないところを探します。
 - ズレのないパターンの下に印刷されている番号が調整値です。
2. 調整値を入力します。

調整パターン

- [Enter] キーを押すと、印刷を行います。ヘッド調整パターンは、メディア両端と中央に印刷されます。
- 印刷結果を確認し、もっともズレのないパターンの下に印刷されている番号を探します。
- ディスプレイに「パターン E： 4」などと表示されているので、もっともズレのないパターンの番号を [+] キー / [-] キーで入力して [Enter] キーを押します。
- 下図の場合「パターン E： 5」と入力します。
- 「ヘッドチョウセイ 2：Custom」を選択し、かつ「チョウセイ ALL」を選択した場合は、A～F について調整値を入力します。



Note

上記のパターンは、4色使用の場合の例です。

メニュー5: クリーニング

ヘッドクリーニングを行います。

クリーニング: ビリョウ

「通常クリーニング」より少量のインクを消費します。

クリーニング: ツウジョウ

印刷作業の開始前と終了後にノズルチェックを行い、ノズル抜けがある場合に使用します。

クリーニング: キョウリョク

「通常クリーニング」より多くのインクを消費します。「通常クリーニング」でノズル抜けが直らない場合は「強力クリーニング」を行ってください。

クリーニング: ビリョウジュウテン

「強力クリーニング」よりかなり高いクリーニング効果がありますが、多くのインクを消費します。

クリーニング: ショキジュウテン

「微量充てん」よりかなり高いクリーニング効果がありますが、「微量充てん」よりかなり多くのインクを消費します。

メニュー6: 簡易選択

「メニュー3: セッテイ」に各メニューを表示するかどうかを選択できます。
[Enter] キーを押すと、表示する・しないを変更できます。

[*] =表示する
[] =表示しない

1:[*]	サイドマージン	「サイドマージン」メニューを表示します。 初期値は [*] です。
2:[*]	ハイシモード	「ハイシモード」メニューを表示します。 初期値は [*] です。
3:[*]	カットホウホウ	「カットホウホウ」メニューを表示します。 初期値は [*] です。
	⋮	⋮
23:[*]	ツイカショウシャカイスウ	「ツイカショウシャカイスウ」メニューを表示します。 初期値は [*] です。
24:	ALL On	[Enter] キーを押すと、簡易選択メニューのすべての項目を [*] (表示する) に します。
25:	ALL Off	[Enter] キーを押すと、簡易選択メニューのすべての項目を [] (表示しない) にします。

メニュー7: メンテナンス

メンテナンス 1: デイリーメンテナンス

メンテナンス1: デイリーメンテナンス

以下の場合に使用します。

- ・ヘッドクリーニングを行っても、ノズル抜けが直らない場合に清掃を行うとき
- ・スリープモードにせず、1日中印刷を行う場合にデイリーメンテナンスを行うとき

 「デイリーメンテナンス後も印刷を行う場合の手順」P.122

サブメニュー

デイリーメンテナンス: Start

[Enter] キーを押して、各部の清掃を行ってください。

デイリーメンテナンス: End

清掃が終了したら、[Enter] キーを押してください。

- ・自動で微量クリーニングを行います。

Important!

1日の作業終了後にデイリーメンテナンスを行う場合は、「デイリーメンテナンス」P.114を参照してください。

メンテナンス 2: プラグ寿命

メンテナンス2: プラグジュミョウ

大容量パックアダプターのプラグの点検、交換を行うときに使用します。

サブメニュー

プラグ1: カクニン

アダプタープラグの寿命を確認します。

プラグ2: ショキカ

アダプタープラグの寿命を初期化します。

プラグ寿命確認メニュー

プラグ1: カクニン

各スロットの大容量パックアダプターのアダプタープラグの寿命を確認します。

- ・寿命は、*印の数（最大5個：残り100%）で表示します。寿命が近づくにつれて、*印の数が1個（20%）ずつ減っていきます。
- ・*印が全て消えて、「Change」と表示された場合は、寿命に達しています。アダプタープラグの交換をしてください。

 「大容量パックアダプターのプラグ交換」P.110

- ・「Change」になると、メニューに入っていないときに「[X] プラグコウカン」と表示が出るようになります。

この表示は [Cancel] キーで削除できます。

Slot1: E*** F

スロット1のプラグ寿命を表示します。
この場合は、残り60%を示します。

⋮

Slot8: Change

スロット8のプラグ寿命を表示します。
この場合は、寿命に達しています。プラグの交換をしてください。

プラグ寿命初期化メニュー

プラグ2: ショキカ

各スロットの大容量パックアダプターのアダプタープラグの寿命を初期化します。メッセージで指示されている以外のアダプタープラグを交換したときに、このメニューから交換したスロットを選択し、プラグ寿命の初期化を行ってください。

ショキカ: Slot1

スロット1のプラグ寿命を初期化します。

⋮

ショキカ: Slot8

スロット8のプラグ寿命を初期化します。

Important!

プラグ交換していないスロットのプラグ寿命を初期化しないでください。インク漏れの原因になります。

メンテナンス3：インク排出

メンテナンス3: インクハイシュツ

プリンター内のインクを排出します。長期保存時や輸送前に行います。

 「長期間使用しない場合（長期保存）」P.27

 「輸送の方法」P.137

メンテナンス 4：漬け置きクリーニング

メンテナンス4: ツケオキクリーニング

メンテナンス液を満たしたキャップにプリントヘッドを浸して、ノズル面に付着した汚れを落とします。専用のメンテナンス液が必要です。

 「漬け置きクリーニング」P.125

メニュー8: バージョン

メニュー8: バージョン>

ファームウェアのバージョンを表示します。

Version : X.XX

メニュー9: 初期設定

初期設定 1：言語

シヨキセッテイ1: ゲンゴ

ディスプレイに表示される言語を設定します。

サブメニュー

ゲンゴ: エイゴ English

英語で表示します。
初期値はこの設定です。

ゲンゴ: ニホンゴ Japanese

日本語で表示します。

初期設定 2：長さ

シヨキセッテイ2: ナガサ

ディスプレイに表示される長さの単位を設定します。

サブメニュー

ナガサ: mm

ミリメートル (mm) で表示します。
初期値はこの設定です。

ナガサ: inch

インチ (inch) で表示します。

初期設定 3：IP アドレス

シヨキセツテイ3: IPアドレス

本製品の IP アドレスを設定します。

- ・ [+] キー：設定値を増加させます。
- ・ [-] キー：設定値を減少させます。
- ・ [Enter] キー：入力を確定し、カーソルが次の設定値に移動します。
- ・ すべての設定値の入力を確定してください。

設定値

IP: 192. 168. 1. 253

0.0.0.0 ~ <192.168.1.253> ~ 255.255.255.255

<> は初期値を表します。

Note

製品の IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイは、かならずネットワーク管理者に相談してから設定してください。

初期設定 4：サブネットマスク

シヨキセツテイ4: サブネットマスク

本製品のサブネットマスクを設定します。

- ・ [+] キー：設定値を増加させます。
- ・ [-] キー：設定値を減少させます。
- ・ [Enter] キー：入力を確定し、カーソルが次の設定値に移動します。
- ・ すべての設定値の入力を確定してください。

設定値

MASK: 255. 255. 255. 0

0.0.0.0 ~ <255.255.255.0> ~ 255.255.255.255

<> は初期値を表します。

初期設定 5：ゲートウェイ

シヨキセツテイ5: ゲートウェイ

本製品のゲートウェイを設定します。

- ・ [+] キー：設定値を増加させます。
- ・ [-] キー：設定値を減少させます。
- ・ [Enter] キー：入力を確定し、カーソルが次の設定値に移動します。
- ・ すべての設定値の入力を確定してください。

設定値

GW: 192. 168. 1. 254

0.0.0.0 ~ <192.168.1.254> ~ 255.255.255.255

<> は初期値を表します。

初期設定 6：警告ブザー

シヨキセツテイ6: ケイコクブザー

エラーが発生したときの警告ブザーの動作を設定します。
「オフ」に設定することで、夜間に印刷するときなど、プリンター操作を行う人がいない場合に、警告ブザーが鳴り続けることを防止できます。

サブメニュー

ケイコクブザー: オン

操作パネルのいずれかのキーを押すと、ブザー音が止まります。
初期値はこの設定です。

ケイコクブザー: オフ

ブザー音が複数回鳴ると、キー操作を行わない場合でも、ブザー音は自動的に止まります。

メニュー10: Jobステータス

メニュー10: Jobステータス >

前回の印刷結果について、各種情報を表示します。

Jobステータス: カンリョウ

印刷が完了したかどうかを表示します。
・完了した場合:「カンリョウ」
・中断した場合:「キャンセル」

データナガサ: XXX.X m

印刷データの全長（メディア送り方向）を表示します。

インサツズミ: XXX.X m

印刷済みの部分の長さを表示します。

インサツノコリ: XXX.X m

まだ印刷されていないデータの長さを表示します。

Note

- ・この機能で表示される数値は目安です。厳密な精度を保證するものではありません。
- ・印刷データに長さ情報が含まれていない場合は、すべての項目で「0」を表示します。
- ・この機能は、印刷動作が終了したデータについての情報を見る場合に使用します。印刷中のデータについては、[「印刷中に操作パネルでできること」P.50](#)の[「メニュー3: Jobステータス」P.51](#)を参照してください。

第3章 メンテナンス

メンテナンスについて	100
手袋、ゴーグルをつける.....	101
付属の手袋の装着方法.....	101
インクをかくはんする	102
インクをかくはんする.....	102
インクの確認と交換	105
インク残量を確認する.....	105
インクの交換が近づいたら	106
インクの交換.....	106
大容量パックアダプターのプラグ交換	110
廃液タンクを空にする	111
廃液タンクを空にする.....	111
デイリーメンテナンス	114
デイリーメンテナンスの流れ	114
デイリーメンテナンスの準備	115
デイリーメンテナンスを行う	117
デイリーメンテナンス後も印刷を行う場合の手順	122
ご使用にあわせたメンテナンス	124
ヘッドクリーニング	124
内部の清掃.....	126
消耗品の交換.....	127
フラッシングボックス用吸収材の交換	127
カッターの交換	131
クリーニングワイパーの交換	134
輸送.....	136
移動の方法.....	136
輸送の方法.....	137
インク排出後の初期充電の方法.....	138

メンテナンスについて

本製品の性能を維持するために、お客様によるメンテナンスをお願いいたします。
メンテナンスには次のようなものがあります。

毎日の作業の開始前	「手袋、ゴーグルをつける」P. 101
	「インクをかくはんする」P. 102
	「ノズルチェックとクリーニング」P. 38
毎日の作業の終了後 1日に1回	「デイリーメンテナンス」P. 114
ご使用に合わせて	「ヘッドクリーニング」P. 124
	「インクの交換」P. 106
	「大容量パックアダプターのプラグ交換」P. 110
	「廃液タンクを空にする」P. 111
	「フラッシングボックス用吸収材の交換」P. 127
	「カッターの交換」P. 131
1か月に1度	「内部の清掃」P. 126
6か月に1度	「クリーニングワイパーの交換」P. 134

Important!

次の場合には、サービスマンによる対応が必要となりますので、MUTOH カスタマーサポートまでお問い合わせください。

- ・重障害エラーが繰り返し発生した。
- ・各種モーター、ポンプ、UV ランプの寿命を知らせるメッセージが表示された。

 「メッセージとエラーメッセージ」P. 142

 「お問い合わせ先」P. 158

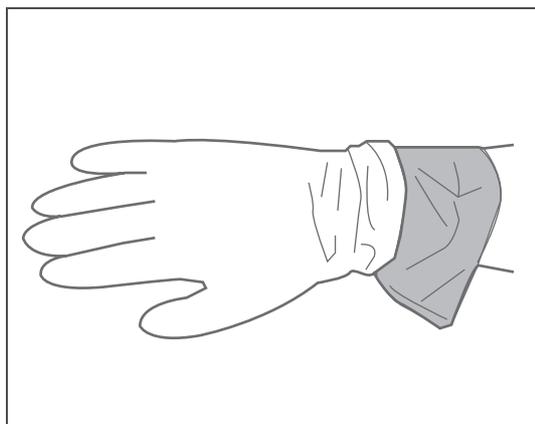
手袋、ゴーグルをつける

UV 硬化インクが皮膚や目に付着すると、炎症やアレルギー反応を起こす場合があります。
プリンター使用時は手袋、ゴーグルまたは保護メガネ、保護衣をご着用ください。

特に下記の作業を行う場合は、付属の手袋（もしくは耐溶剤性の手袋）とゴーグルを着用してください。

- ・ 「インクをかくはんする」P.102
- ・ 「インクの交換」P.106
- ・ 「大容量パックアダプターのプラグ交換」P.110
- ・ 「廃液タンクを空にする」P.111
- ・ 「デイリーメンテナンスを行う」P.117
- ・ 「フラッシングボックス用吸収材の交換」P.127
- ・ 「クリーニングワイパーの交換」P.134

付属の手袋の装着方法



ポリエチレン手袋の上に、ゴム手袋を重ねて着用してください。

⚠ 注意



硬化前のインクに素手で触れないようにしてください。



- ・ 手袋にインクが付着した場合は、新しい手袋に取り換えてください。
- ・ 衣類等に付着した場合はすぐに脱ぎ、再使用する場合は、洗濯をしてください。
- ・ 皮膚に付着した場合は直ちに石鹸と多量の水で 15 分間洗浄し、万一刺激が続いたり炎症がある場合は、医師の診断／手当を受けてください。
- ・ 眼に入った場合は、多量の水で 15 分間洗浄し、速やかに医師の診断／手当を受けてください。
- ・ 飲み込んだ場合は直ちに口をすすぎ、無理に吐かせないようにし、医師の診断／手当を受けてください。

インクをかくはんする

インクをかくはんする

インクの沈殿・凝固を防ぐため、インクを次の場合にかくはんしてください。

- ・初めて使用する前
- ・次のメッセージが表示されたとき

6色設定時

Wカートリッジ フットクダサイ

ホワイト (Wh) のインクをかくはんしてください。

- ・ 12 時間ごとに表示します

KMICY カートリッジ フットクダサイ

ブラック (K)、マゼンタ (M)、シアン (C)、イエロー (Y) のインクをかくはんしてください。

- ・ 72 時間ごとに表示します。

KMICYW カートリッジ フットクダサイ

ブラック (K)、マゼンタ (M)、シアン (C)、イエロー (Y)、ホワイト (Wh) のインクをかくはんしてください。

5色設定時

KMICY カートリッジ フットクダサイ

ブラック (K)、マゼンタ (M)、シアン (C)、イエロー (Y) のインクをかくはんしてください。

- ・ 72 時間ごとに表示します。

4色設定時

ALL カートリッジ フットクダサイ

ブラック (K)、マゼンタ (M)、シアン (C)、イエロー (Y) のインクをかくはんしてください。

- ・ 72 時間ごとに表示します。

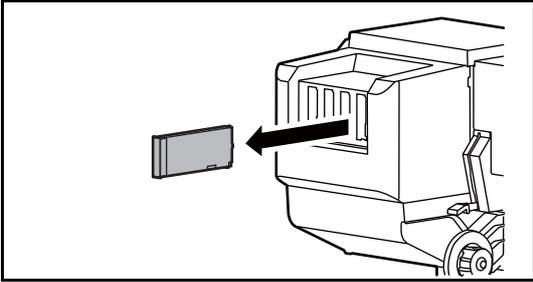
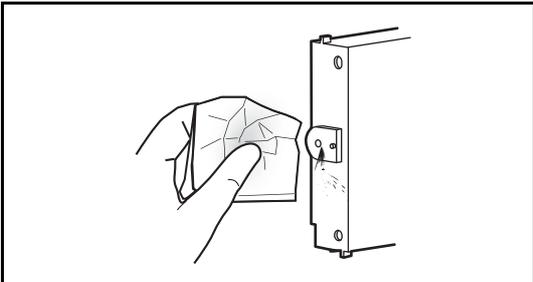
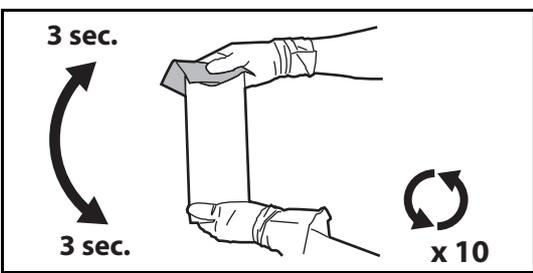
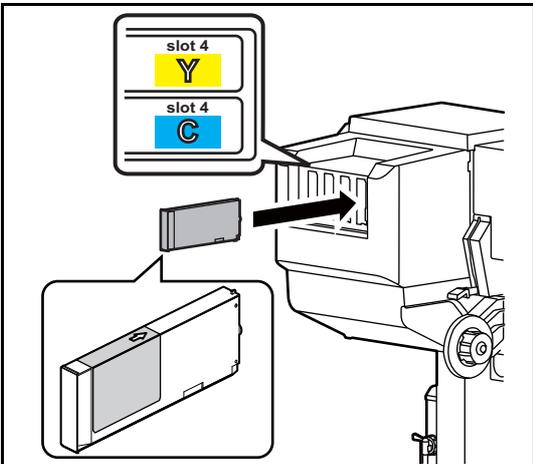
Important!

- ・ インクは定期的にかくはんする必要があります。
放置するとインクが沈殿・凝固し、画質不良や故障の原因となります。
- ・ インクをかくはんするメッセージが表示された後、12 時間までは一定時間経過しないと印刷できない状態が続きます。
12 時間経過後は、印刷ができなくなります。どちらの場合も、インクをかくはんすると復帰します。

注意

-  UV 硬化インクおよび廃液が皮膚や目に付着すると、炎症やアレルギー反応を起こす場合があります。
作業を行うときは、かならず付属の手袋（もしくは耐溶剤性の手袋）とゴーグルを着用し、インクが付着しないよう注意してください。

インクカートリッジをお使いの場合の手順

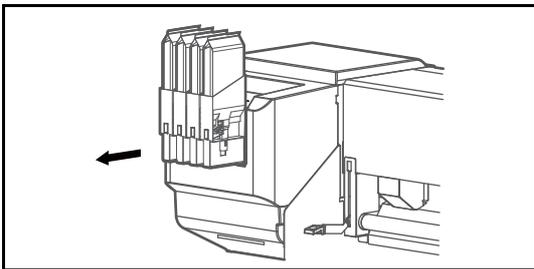
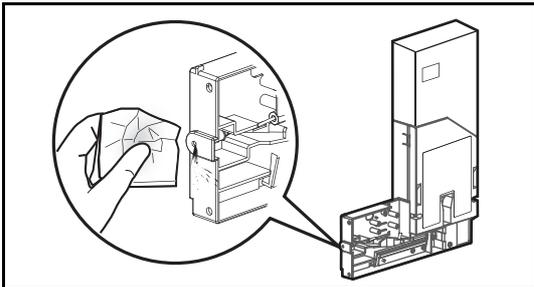
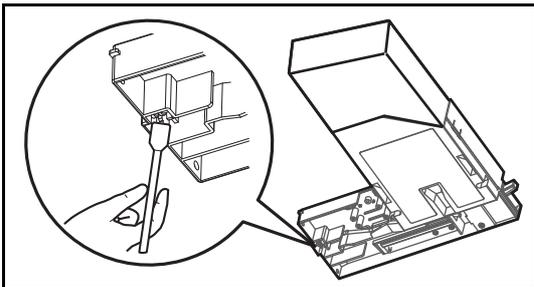
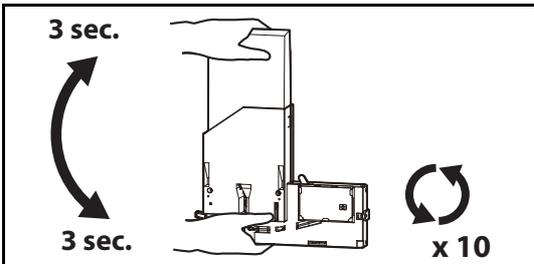
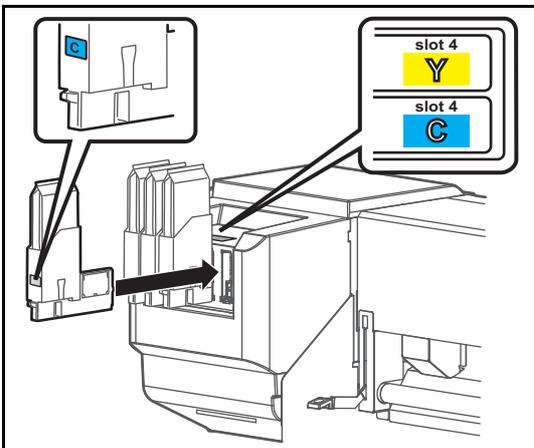
- [1]  インクカートリッジをインクカートリッジスロットから取り外します。
- [2]  プリンター付属のペーパータオルで、インクカートリッジの差し込み口に付着しているインクを拭き取ります。
- [3]  下記の方法でインクをかくはんします。
 - ・差し込み口を上に向けて3秒待ちます。
 - ・次に、差し込み口を下に向けて3秒待ちます。
 - ・これを10回繰り返します。
- [4]  インクカートリッジを元のカートリッジスロットに取り付けます。
 - ・本製品のラベルとインクカートリッジの色を合わせてください。
 - ・矢印マークを上にしてください。
 - ・奥までしっかり差し込んでください。

Important!
カートリッジを戻すときは、元のカートリッジスロットに取り付けてください。同じ色であっても、別のカートリッジスロットに取り付けしないでください。

大容量パックアダプターをお使いの場合の手順

Note

大容量パックアダプターの詳しい取り扱い方法につきましては、大容量パックアダプターの取扱説明書を参照してください。

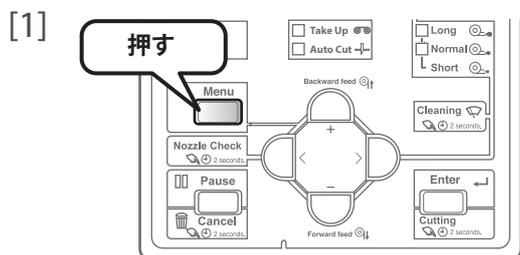
- [1]  大容量パックアダプターをインクカートリッジスロットから取り外します。
- [2]  プリンター付属のペーパータオルで、大容量パックアダプターの差し込み口に付着しているインクを拭き取ります。
- [3]  大容量パックアダプターを傾け、垂れてきたインクをクリーンスティックで吸い取ります。
 - ・ 傾けるときは、大容量パックアダプターの差し込み口がやや下を向くようにします。
 - ・ 傾けるときは、警告ラベルの貼付面が下向きになるようにします。
- [4] 
 - ・ インクパックが大容量パックアダプターから抜けないように、遮光カバーの上から押さえ、インクパックの差し込み口を上に向けて3秒待ちます。
 - ・ 次に、差し込み口を下に向けて3秒待ちます。
 - ・ これを10回繰り返します。
- [5]  大容量パックアダプターを元のカートリッジスロットに取り付けます。
 - ・ 本製品のラベルと大容量パックアダプターの色を合わせてください。
 - ・ 奥までしっかり差し込んでください。

Important!

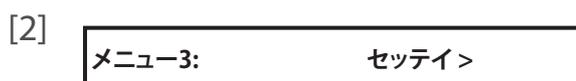
大容量パックアダプターを戻すときは、元のカートリッジスロットに取り付けてください。同じ色であっても、別のカートリッジスロットに取り付けしないでください。

インクの確認と交換

インク残量を確認する

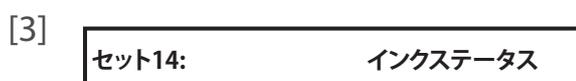


操作パネルの [Menu] キーを押します。



[-] キーを何回か押して、左の表示にします。

- [>] キーを押します。



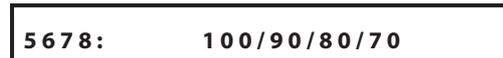
[-] キーを何回か押して、左の表示にします。

- [Enter] キーを押します。



[-] キーを押すと、表示が切り替わります。

- インクの残量を 0% ~ 100% で表示します。



Note

インク残量が 10% で点滅表示している場合、対応しているインクカートリッジに対してスマートチップリカバリーが実行されています。

「スマートチップリカバリー」P.147

・ 4 色使用時

1 M1 (マゼンタ)	2 M2 (マゼンタ)	3 C1 (シアン)	4 C2 (シアン)
5 Y1 (イエロー)	6 Y2 (イエロー)	7 K1 (ブラック)	8 K2 (ブラック)

・ 5 色使用時

1 K (ブラック)	2 M (マゼンタ)	3 C (シアン)	4 Y (イエロー)
5 Va1 (バーニッシュ)	6 Va2 (バーニッシュ)	7 Cl1 (洗浄液)	8 Cl2 (洗浄液)

・ 6 色使用時

1 K (ブラック)	2 M (マゼンタ)	3 C (シアン)	4 Y (イエロー)
5 Va1 (バーニッシュ)	6 Va2 (バーニッシュ)	7 Wh1 (ホワイト)	8 Wh2 (ホワイト)

インクの交換が近づいたら

インクの残量が少なくなると、操作パネルのエラー LED が点滅し、ブザーが鳴ります。

手順

[1]

[2] インクスクナイ

インクスクナイ



[Enter] キーを押します。

- ・ブザーが停止します。
- ・左図では 2 番目のスロットのインクの交換が近づいています。

[2] 交換用のインクを用意します。



Note

スリープモード中は、ブザーを停止した後もスリープモードを継続します。

インクの交換

インクがなくなると、操作パネルのエラー LED が点灯し、ブザーが鳴ります。

また、印刷が一時停止します。新しいインクに交換すると再開します。



Important!

- ・本製品の電源がオフになっている場合は、インクを交換しないでください。インク残量の検出が正しくできなくなります。
- ・交換用のインクカートリッジ（インクパック）がお手元がない場合は、使い終わったインクカートリッジ（インクパック）を製品に挿入したままにしてください。インクカートリッジ（インクパック）を取り外した状態で製品を放置すると、プリントヘッドが目詰まりする原因となります。
- ・インクを寒い所から暖かい所へ移動させた場合は、移動先の環境に慣らすため、3 時間以上放置してから使用してください。



警告



インクカートリッジ、インクパックは、火気や高温のものから遠ざけてください。
火災の原因となります。

インクカートリッジをお使いの場合の手順

[1]

[46] インクナシ

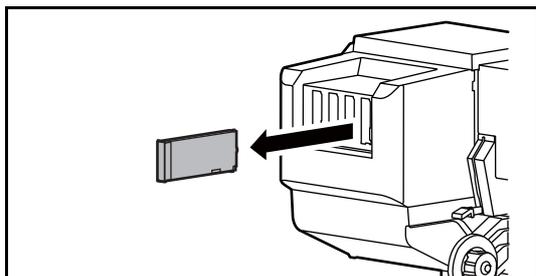
インクナシ



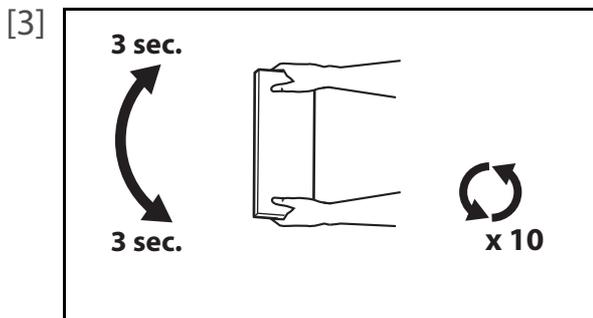
操作パネルの [Enter] キーを押します。

- ・ブザーが停止します。
- ・左図では 4 番目と 6 番目のスロットのインクの交換が必要です。

[2]



インクカートリッジをインクカートリッジスロットから取り外します。



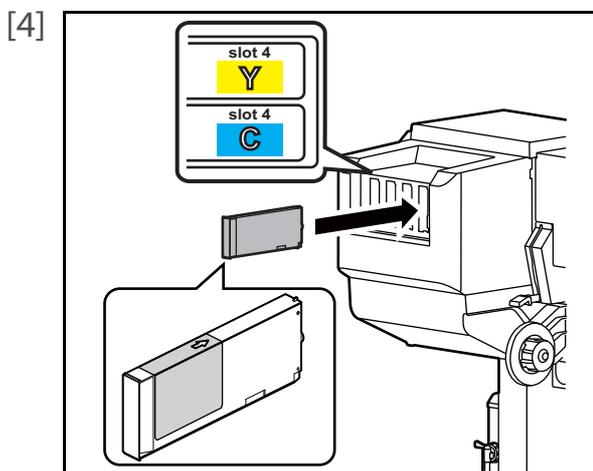
新しいインクカートリッジを用意し、下記の方法でインクをかくはんします。

- ・差し込み口を上に向けて 3 秒待ちます。
- ・次に、差し込み口を下に向けて 3 秒待ちます。
- ・これを 10 回繰り返します。



Note

パーニッシュインクと洗浄液は、かくはんせずにご使用いただけます。



新しいインクカートリッジをに取り付けます。

- ・本製品のラベルとインクカートリッジの色を合わせてください。
- ・矢印マークを上にしてください。
- ・奥までしっかり差し込んでください。

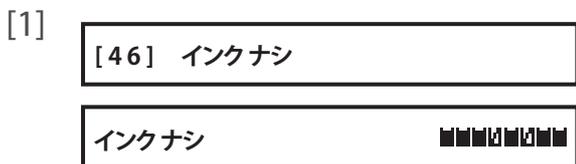


Important!

カートリッジを戻すときは、元のカートリッジスロットに取り付けてください。同じ色であっても、別のカートリッジスロットに取り付けしないでください。

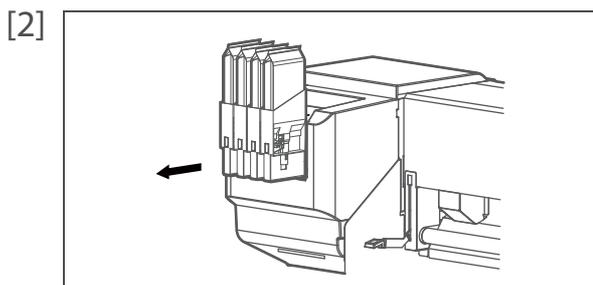
大容量パックアダプターをお使いの場合の手順

1. 大容量パックアダプターの取り外し

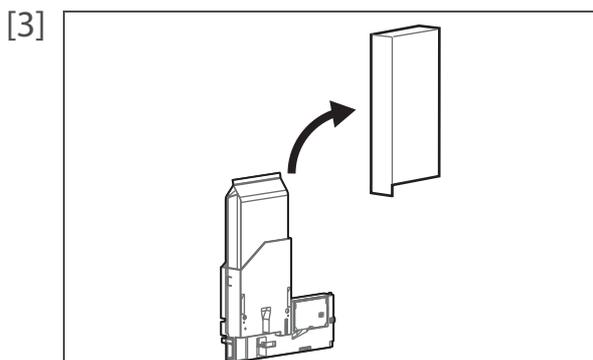


操作パネルの [Enter] キーを押します。

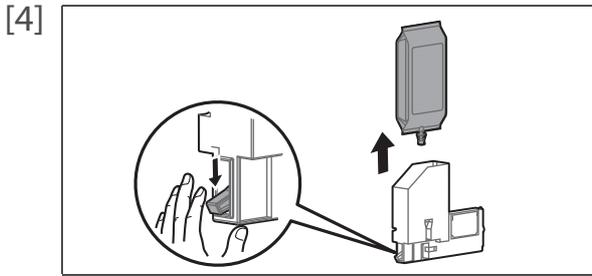
- ・ブザーが停止します。
- ・左図では 4 番目と 6 番目のスロットのインクの交換が必要です。



交換する大容量パックアダプターを取り外します。



遮光カバーを取り外します。

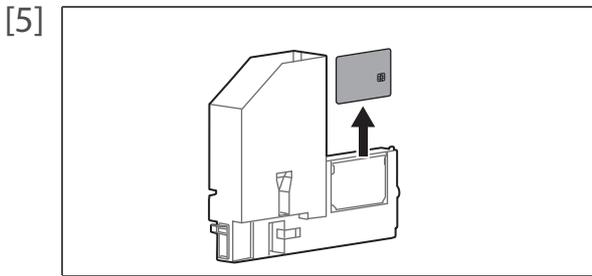


大容量パックアダプターのロックレバーを下げながら、空のインクパックを取り外します。



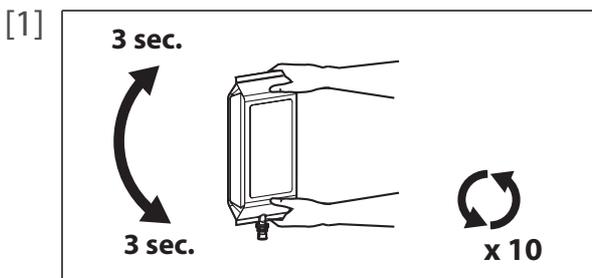
Note

使用済みのインクパックは、ビニール袋などに入れて、地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。



大容量パックアダプターから S/C カードを取り外します。

2. インクパックの取り付け



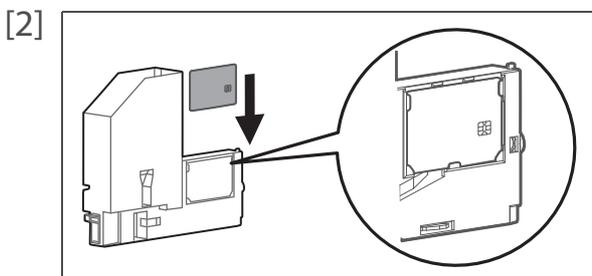
新しいインクパックを用意し、下記の方法でインクをかくはんします。

- ・差し込み口を上に向けて 3 秒待ちます。
- ・次に差し込み口を下に向けて 3 秒待ちます。
- ・これを 10 回繰り返します。

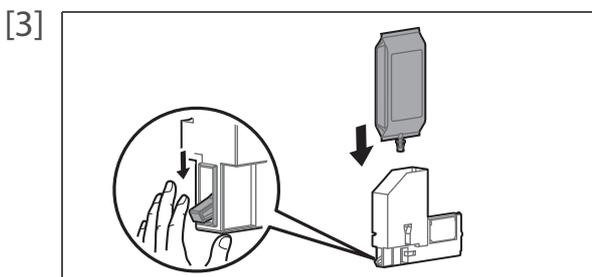


Note

パーニッシュインクは、かくはんせずにご使用いただけます。

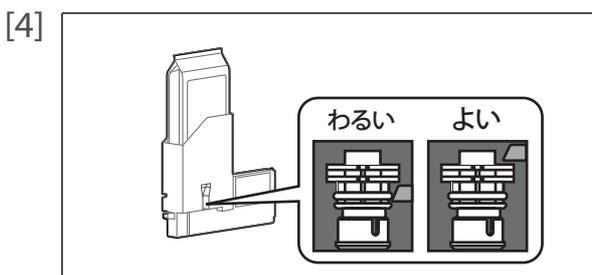


大容量パックアダプターのツメにスマートチップカードをスライドして取り付けます。

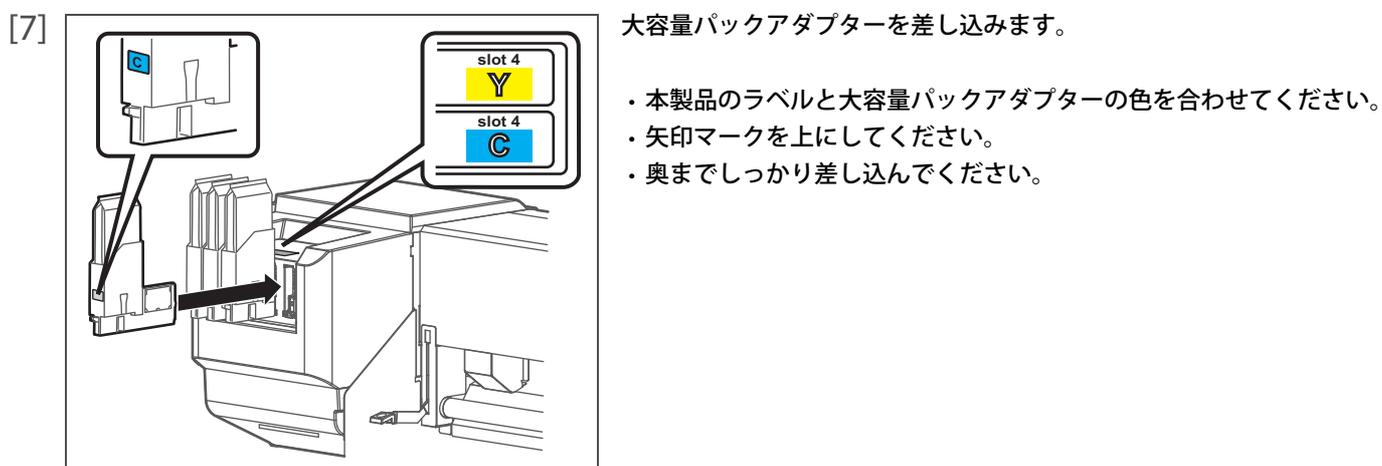
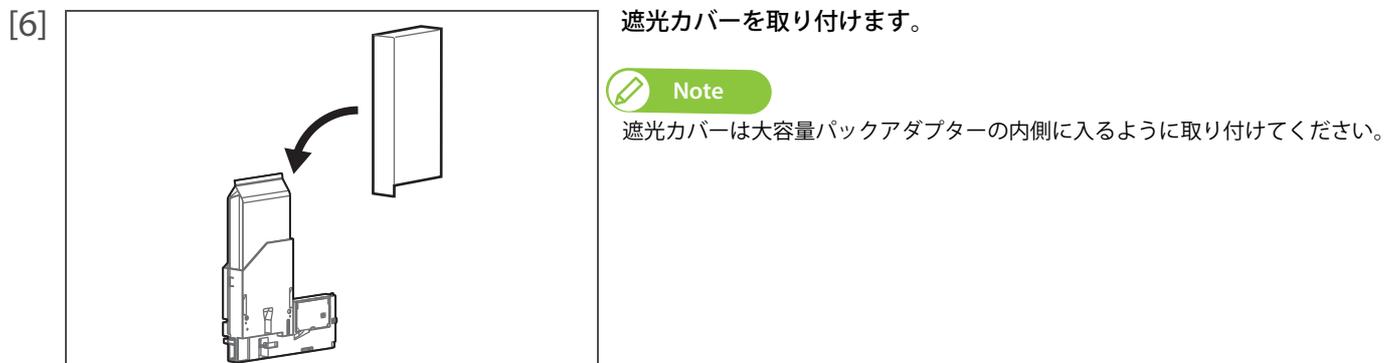
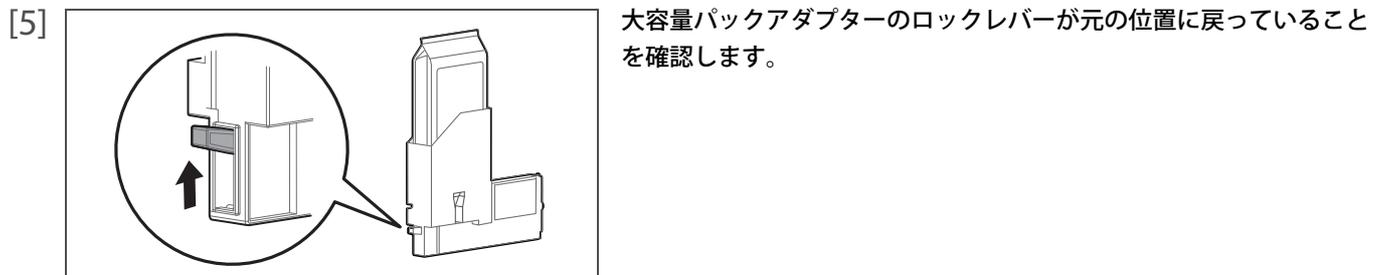


大容量パックアダプターのロックレバーを下げながら、インクパックを挿入します。

- ・インクパックは奥までしっかりと挿入してください。



インクパックが奥まで差し込まれ、ロックしていることを確認します。



大容量パックアダプターのプラグ交換

プラグ寿命がなくなると、操作パネルのエラー LED が点灯し、メッセージが表示されます。

以下の手順で新しいプラグに交換してください。

- [1]

[1] プラグコウカン

 [Enter] キーを押します。
- [2] 大容量パックアダプターの取扱説明書を見ながら、プラグを交換します。
 大容量パックアダプター取扱説明書「3.3 アダプタープラグの交換」
- [3]

[1] プラグ カエマシタカ? イイエ

 交換後、大容量パックアダプターを取り付けると、左のメッセージが表示されます。
 - ・ [-] キーを押します。
- [4]

[1] プラグ カエマシタカ? ハイ

 [Enter] キーを押します。
 - ・ 大容量パックアダプターの寿命がリセットされます。

Important!

- ・ アダプタープラグを交換していない場合は、「ハイ」を選択しないでください。
- ・ アダプタープラグを交換しないまま使用すると、インク漏れの原因となります。

廃液タンクを空にする

廃液タンクを空にする

次の場合には、廃液タンクの廃液を容器に移して排出してください。

- ・ 印刷開始前に廃液が廃液タンクに半分以上たまっている場合
- ・ ディスプレイ表示に「ハイエキタ カラニシテクダサイ → E」と表示された場合
- ・ ディスプレイ表示に「ハイエキタンク マンタン」と表示された場合

ディスプレイ表示

ハイエキタ カラニシテクダサイ → E

廃液を排出してください。

- ・ 洗浄動作は停止します。排出後、[Enter] キーを押すと再開します。

ハイエキタンク マンタン

廃液タンクが満タンになりました。ただちに廃液を排出してください。

- ・ 印刷などの動作は停止します。排出後、再開します。

警 告



- ・ 廃液は直射日光を避け、冷暗所に保管してください。
- ・ 廃液は火気や高温のものから遠ざけてください。
- ・ 廃液は少量であっても、他の物質、液体と混合しないでください。
他の物質（酸化剤など）と混合すると、発熱の原因となります。



- ・ 廃液は HDPE 製かつ、遮光性がある容器で保管してください。
- ・ 廃液を長期保管をする場合は、完全密封状態とせず容器に通気口を設けてください。

注 意



- UV 硬化インクおよび廃液が皮膚や目に付着すると、炎症やアレルギー反応を起こす場合があります。
作業を行うときは、かならず付属の手袋（もしくは耐溶剤性の手袋）とゴーグルを着用し、インクが付着しないよう注意してください。

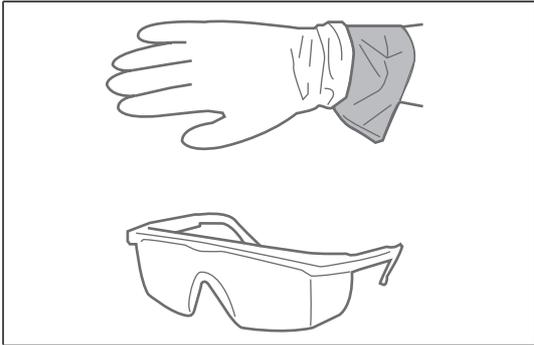
1. 廃液を容器に移す

- [1] 廃液を移し替える容器を用意します。

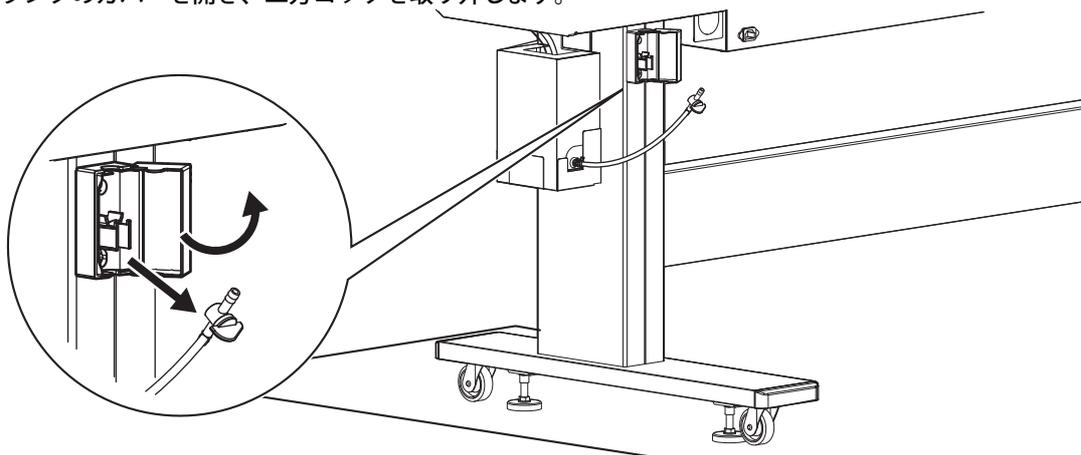
Important!

廃液タンクの容量は 2,000ml です。廃液を排出するときは、十分な容量の容器を用意してください。

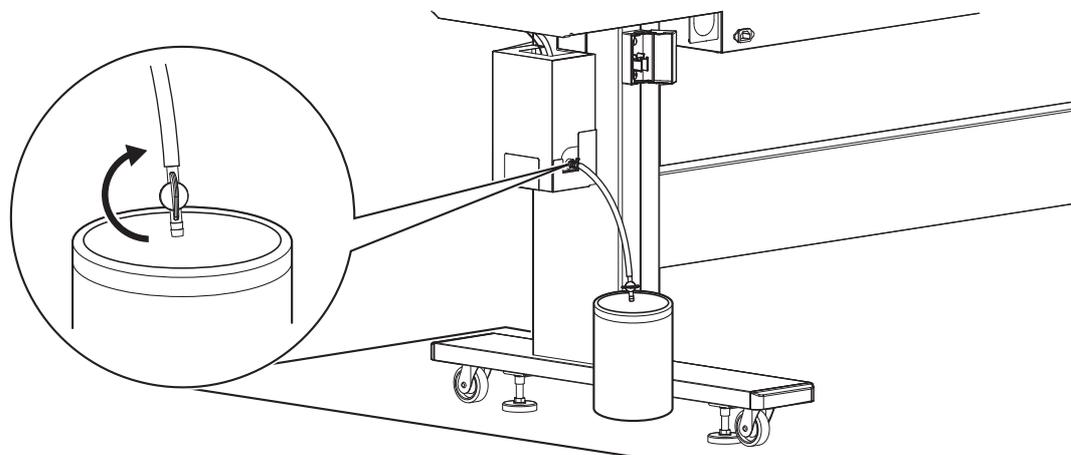
- [2] いらない用紙などを廃液タンクの下の床にしきます。

- [3]  ・ポリエチレン手袋の上に、ゴム手袋を重ねて着用します。
・ゴーグルを着用します。

- [4] 二方コッククランプのカバーを開き、二方コックを取り外します。



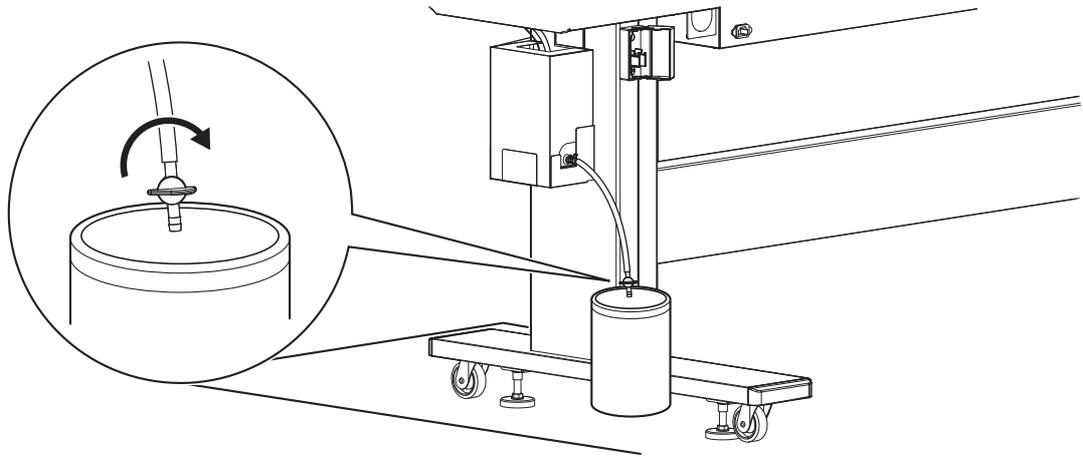
- [5] 二方コックの先端を空容器に入れた後、二方コックを開き、空容器に廃液を移します。



 Note

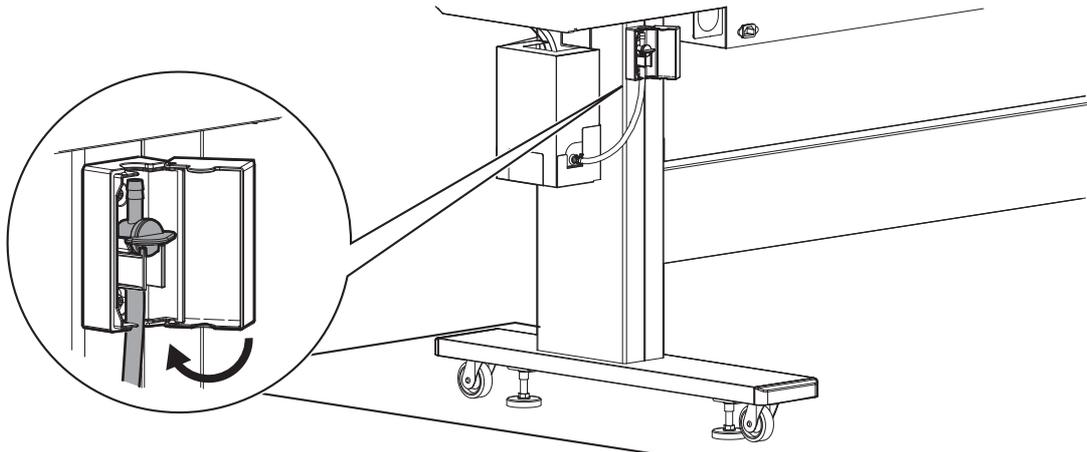
二方コックを開き、空容器に廃液を移す場合、廃液が飛び散ることがあります。
二方コックの先端を空容器に入れて処理を行ってください。

[6] 廃液を空容器に移し終わったら、二方コックを確実に閉めます。



[7] 二方コックの口を布等で拭き取ります。

[8] 二方コックを二方コッククランプに収納し、カバーを閉じます。



[9] 廃液は産業廃棄物として処理します。

 警告



- ・プリンターから出る廃液は、産業廃棄物（事業系 19 品目の内）の廃油（廃インキ）に該当します。廃棄物処理法および各自治体の条例に基づき、適正な廃液処理が義務付けられます。廃液処理業者に処理を委託してください。
- ・本製品から出る廃液は水生生物に対し有害です。生活排水や自然水系への流出を防いでください。

デイリーメンテナンス

デイリーメンテナンスの流れ

本製品は日常のメンテナンスが必要です。1日の作業終了後に、以下の流れに従って、デイリーメンテナンスを行ってください。

- ・ 前回のデイリーメンテナンスから一定時間が経過すると、操作パネルに「デイリーメンテナンス シテクダサイ」と表示されます。かならずメンテナンスを行ってください。

Important!

スリープモードにせず1日中印刷を行う場合も、1日に1回、かならずデイリーメンテナンスを行ってください。

デイリーメンテナンスを行わない場合、画質不良や故障の原因となります。

スリープモードにしない場合は、パネル設定メニューの「メンテナンス1： デイリーメンテナンス」から、各部の清掃を行ってください。

👉 「メンテナンス1： デイリーメンテナンス」P. 94

👉 「デイリーメンテナンス後も印刷を行う場合の手順」P. 122

デイリーメンテナンスに必要なものを準備します

プリンターをスリープモードにします

UVランプを清掃します

プリントヘッドのノズル面を湿らせます

プリントヘッド外周の清掃をします

クリーニングワイパーとキャップ外周の清掃をします

プリンターが自動でヘッドクリーニングを行います

デイリーメンテナンス完了!

デイリーメンテナンスの準備

用意するもの

[1] デイリーメンテナンスを行う場合は、以下のものを用意します。



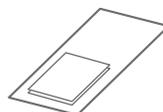
ポリエチレン手袋



ゴム手袋



ゴーグル



ペーパータオル
または、ポリニットワイパー



スポイト



専用メンテナンス液



プラスチックカップ



クリーンスティック



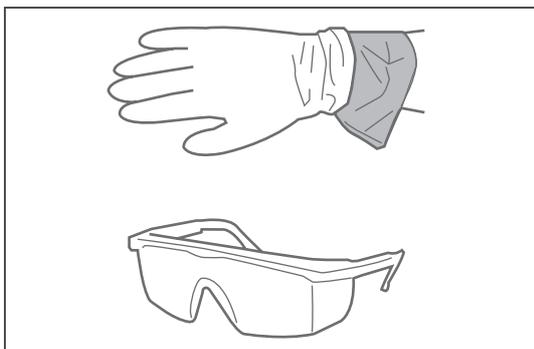
スクレイパー

Important!

- ・ペーパータオルは付属のもの、または別売品のポリニットワイパーをご使用ください。ティッシュペーパーは使用しないでください。紙から出る繊維や粉じんが、プリントヘッドの故障の原因となります。
- ・メンテナンス液は、専用のもの以外を使用しないでください。
- ・専用メンテナンス液などの別売品のご購入は、お買い求めの MUTOH 製品取扱店または MUTOH 各営業所にお問い合わせください。

[「オプション・サプライ品リスト」P.161](#)

[2]



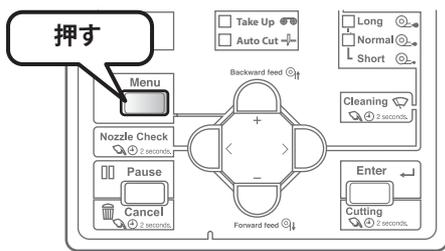
- ・ポリエチレン手袋の上に、ゴム手袋を重ねて着用します。
- ・ゴーグルを着用します。

⚠ 注意

UV 硬化インクおよび廃液が皮膚や目に付着すると、炎症やアレルギー反応を起こす場合があります。作業を行うときは、かならず付属の手袋（もしくは耐溶剤性の手袋）とゴーグルを着用し、インクが付着しないよう注意してください。

スリープモードにする

[1]



[Menu] キーを押します。

[2]

メニュー-1: スリープモード >

[>] キーを押します。

[3]

スリープモード: スタート

[Enter] キーを押します。

[4]

スリープモードヲカイシマスカ?

[Enter] キーを押します。

[5]

デイリーメンテナンス: Start

[Enter] キーを押します。

シバラクオマチクダサイ

- ・ キャリッジとクリーニングワイパーがメンテナンス位置へ移動します。

[6]

デイリーメンテナンス: End

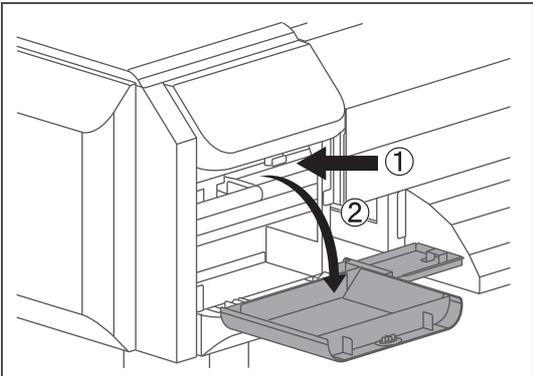
左のメッセージが表示されます。
・ デイリーメンテナンスを行います。

Important!

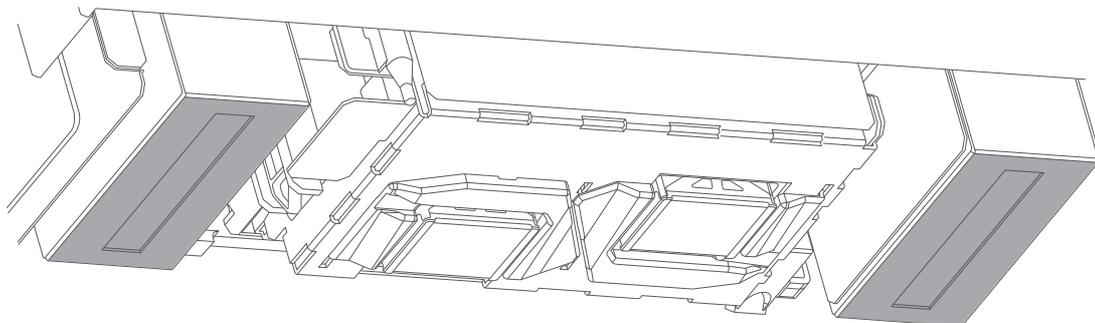
デイリーメンテナンス状態での作業時間の目安は 10 分以内です。

デイリーメンテナンスを行う

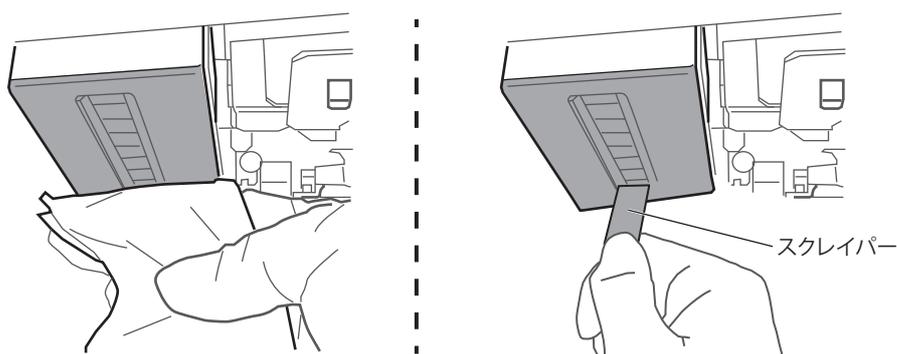
1. UV ランプを清掃する

- [1]  プリンター左側のメンテナンスカバーを開きます。

- [2] UV ランプ (2カ所) の下側にインクやホコリが付着しているか確認します。
・ UV ランプの下側にインクやホコリが付着していない場合は、清掃をする必要はありません。「[プリントヘッドのノズル面を湿らせる](#)」P.118 に進んでください。



- [3] UV ランプの下側にインクやホコリが付着している場合は、ペーパータオルで拭き取ります。
・ 付着したインクが固まって拭き取れない場合は、付属のスクレイパーを使用します。
・ スクレイパーを少し傾け、インクが固着している箇所に当てて、インクを削ぎ落とします。
・ ペーパータオルでインクの削りかすを拭き取ります。



Important!

- ・ スクレイパーは専用のものを使用してください。
- ・ スクレイパーの角を使って清掃をしないでください。UV ランプの破損の原因となります。
- ・ スクレイパーを UV ランプに強く押し付けしないでください。UV ランプの破損の原因となります。

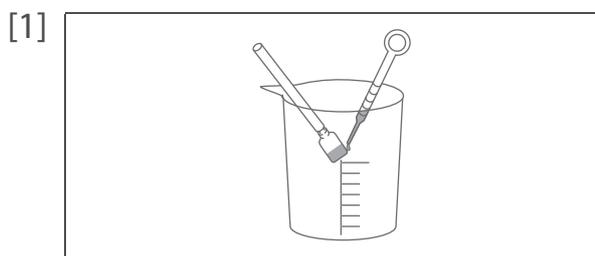
- [4] 続いて、プリントヘッドのノズル面を湿らせます。

2. プリントヘッドのノズル面を湿らせる

Important!

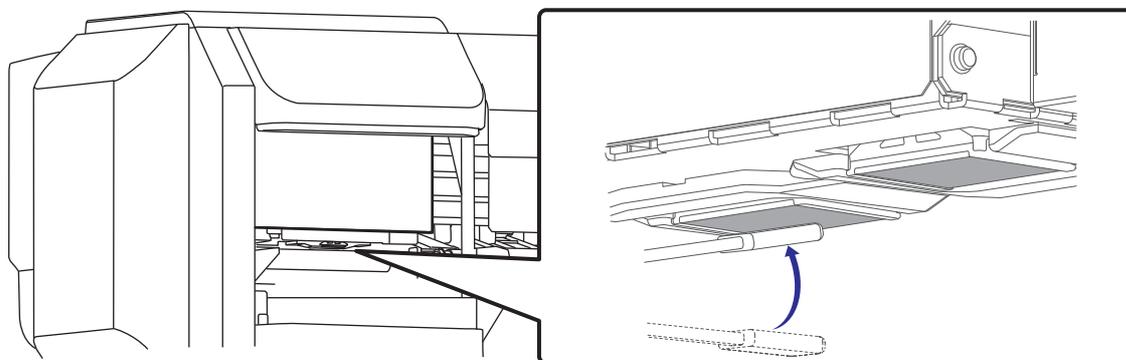
清掃時は、以下を守ってください。

- ・清掃作業は、必ず指示された手順通り行ってください。
特にプリントヘッド周辺、クリーニングワイパー、キャップを清掃した後に、同一のクリーンスティックでノズル面を湿らせることはしないでください。プリントヘッドの故障の原因となります。
- ・必ず未使用のクリーンスティックを使用して、専用メンテナンス液に浸してから、作業を行ってください。
専用メンテナンス液以外を使用すると、プリントヘッドが目詰まりする原因となります。
- ・クリーンスティックの先端を指でさわらないでください。
皮脂が付着するとプリントヘッドの故障の原因となります。
- ・クリーンスティックは再利用しないでください。
ホコリなどが付着し、プリントヘッドの故障の原因となります。



- ・プラスチックカップの中にクリーンスティックを入れます。
- ・スポイトを使ってクリーンスティックの先端に専用メンテナンス液を浸します。
(使用量目安：0.5 ml)

- [2] キャリッジの下側を見ます。
専用メンテナンス液を浸したクリーンスティックで、プリントヘッド（2カ所）のノズル面を湿らせます。
- ・クリーンスティックを軽く当てるようにしてノズル面を湿らせます。
 - ・ノズル面全体が湿るまで、数回繰り返します。



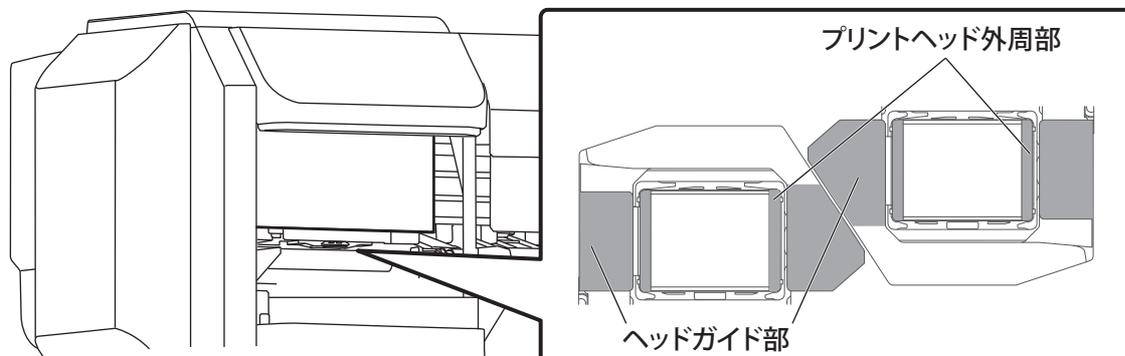
Important!

- ・ノズル面を絶対に擦らないでください。プリントヘッドの故障の原因となります。
- ・ノズル面全体が湿れば十分です。必要以上に繰り返さないでください。

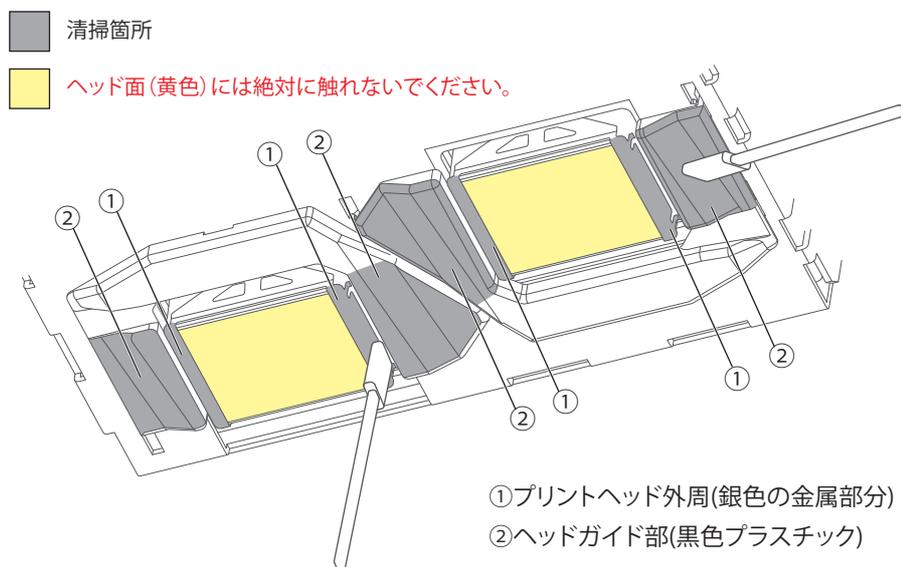
- [3] 続いて、プリントヘッド周辺を清掃します。

3. プリントヘッド周辺を清掃する

- [1] キャリッジの下側を見て、クリーンスティックで清掃します。
- ・プリントヘッド外周（銀色の金属部分）
 - ・ヘッドガイド部（黒色プラスチック）



- [2] キャリッジの下側に付着したインクやホコリを、クリーンスティックで清掃します。

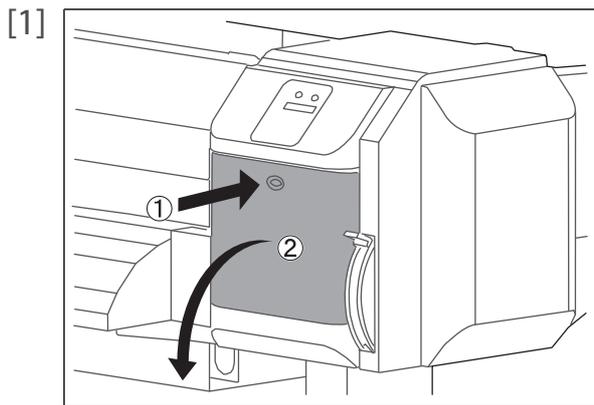


Note

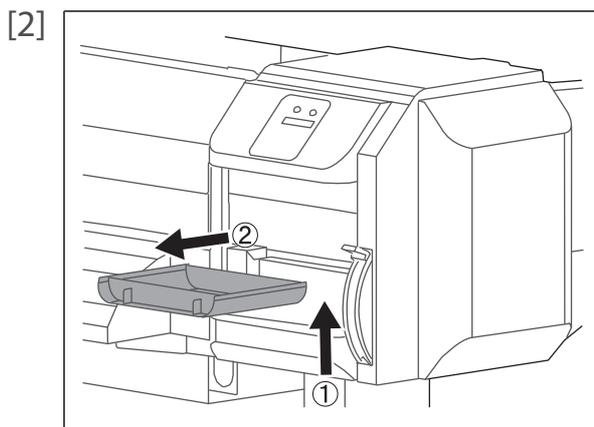
メンテナンス液が飛び散ってプリンターに付着した場合は、ペーパータオルで拭き取ってください。

- [3] メンテナンスカバーを閉じます。
- [4] 続いて、クリーニングワイパーとキャップ外周を清掃します。

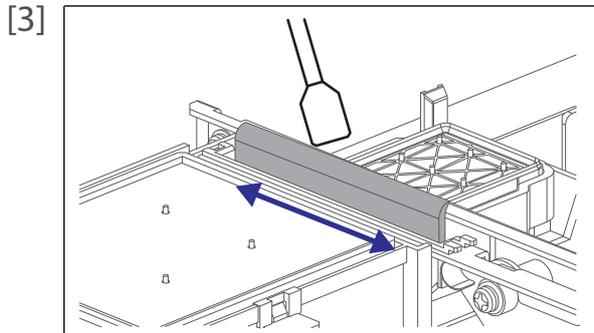
4. クリーニングワイパーとキャップ外周を清掃する



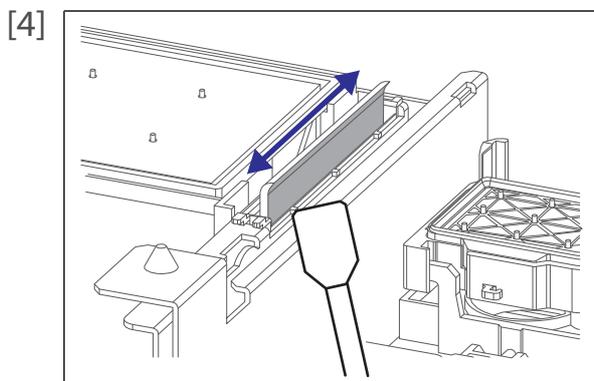
右側のメンテナンスカバーを開きます。



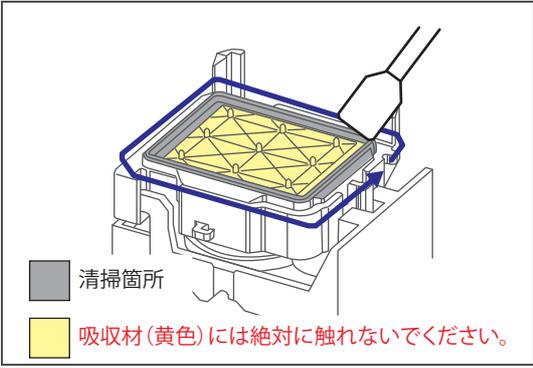
メンテナンスカバーを取り外します。



クリーンスティックで、クリーニングワイパーを拭き取ります。
・クリーニングワイパーの左側面を前後に拭き取ります。



クリーニングワイパーの右側面を前後に拭き取ります。

- [5]  クリーンスティックを使用して、キャップ外周に付着したインクやホコリを拭き取ります。
- 清掃箇所
■ 吸収材(黄色)には絶対に触れないでください。
- [6] メンテナンスカバーを取り付け、閉じます。
- [7] 続いて、デイリーメンテナンスを終了します。

5. デイリーメンテナンスを終了する

- [1]  [Enter] キーを押します。
- [2] 自動で微量クリーニングを行います。
- [3] クリーニング終了後、スリープモードに移行します。
- [4] ・ クリーンスティックを廃棄します。
・ スポイトに付着した専用メンテナンス液を、ペーパータオルで拭きます。
・ プラスチックカップ内の専用メンテナンス液を捨て、ペーパータオルでプラスチックカップをきれいに拭きます。

Important!

- ・ クリーンスティックは再利用しないでください。
ホコリなどが付着し、プリントヘッドの故障の原因となります。
 - ・ 専用メンテナンス液は、ボトルのふたをしっかりと閉めて保管してください。
- [5] デイリーメンテナンスを終了します。

デイリーメンテナンス後も印刷を行う場合の手順

以下の場合に、清掃を行ってください。

- ・ ヘッドクリーニングを行っても印刷のかすれ・欠けがなくならないとき
- ・ スリープモードにせず、1日中印刷を行う場合にデイリーメンテナンスを行うとき

準備：

「[デイリーメンテナンスの準備](#)」P.115 を参照して、準備をしてください。

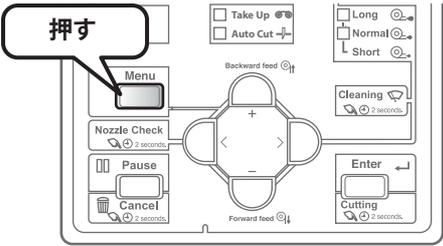
Important!

以下の手順は、メンテナンス後も印刷を行うときの手順です。

1日の作業終了後にデイリーメンテナンスを行うときは、スリープモードにして、メンテナンスを行ってください。

 「[デイリーメンテナンス](#)」P.114

1. デイリーメンテナンス状態にする

- [1]  [Menu] キーを押します。
- [2]

メニュー1:	スリープモード >
--------	-----------

 左のメッセージが表示されます。
- [3]

メニュー7:	メンテナンス >
--------	----------

 [-] キーを何回か押して、左の表示にします。
・ [>] キーを押します。
- [4]

メンテナンス1:	デイリーメンテナンス
----------	------------

 [Enter] キーを押します。
- [5]

デイリーメンテナンス:	Start
-------------	-------

 [Enter] キーを押します。

シバラクオマチクダサイ

 ・ キャリッジとクリーニングワイパーがメンテナンス位置へ移動します。
- [6]

デイリーメンテナンス:	End
-------------	-----

 左のメッセージが表示されます。
・ デイリーメンテナンスを行います。

2. 各部の清掃を行う

清掃箇所と手順は、「デイリーメンテナンス」P.114 と同一です。

「デイリーメンテナンスを行う」P.117 を参照して、各部の清掃を行ってください。

- ・ 「UV ランプを清掃する」P.117
- ・ 「プリントヘッドのノズル面を湿らせる」P.118
- ・ 「プリントヘッド周辺を清掃する」P.119
- ・ 「クリーニングワイパーとキャップ外周を清掃する」P.120

Important!

デイリーメンテナンス状態での作業時間の目安は 10 分以内です。

3. デイリーメンテナンスを終了する

[1] フロントカバーとメンテナンスカバーを閉じます。

[2]  [Enter] キーを押します。

[3] 自動で微量クリーニングを行います。

- [4]
- ・ クリーンスティックを廃棄します。
 - ・ スポイトに付着した専用メンテナンス液を、ペーパータオルで拭きます。
 - ・ プラスチックカップ内の専用メンテナンス液を捨て、ペーパータオルでプラスチックカップをきれいに拭きます。

Important!

- ・ クリーンスティックは再利用しないでください。
ホコリなどが付着し、プリントヘッドの故障の原因となります。
- ・ 専用メンテナンス液は、ボトルのふたをしっかりと閉めて保管してください。

[5] 各部の清掃を終了します。

ご使用にあわせたメンテナンス

ヘッドクリーニング

ノズルチェックをしてノズル抜けがあったときはヘッドクリーニングを行ってください。ヘッドクリーニングはインクを消費します。

本製品にはいくつかのクリーニングモードがあります。ご使用状況によって使いわけてください。

微量クリーニング	通常クリーニングより少量のインクを消費します。
通常クリーニング	印刷作業の開始前と終了後にノズルチェックを行い、ノズル抜けがある場合に使用します。
強力クリーニング	通常クリーニングより多くのインクを消費します。通常クリーニングでノズル抜けが直らない場合は強力クリーニングを行ってください。
微量充てん	強力クリーニングよりかなり高いクリーニング効果がありますが、多くのインクを消費します。 [Cleaning] キーからは選択できません。パネル設定メニューのクリーニングメニューから選択します。  「メニュー 5: クリーニング」P. 92
初期充てん	微量充てんよりかなり高いクリーニング効果がありますが、かなり多くのインクを消費します。 [Cleaning] キーからは選択できません。パネル設定メニューのクリーニングメニューから選択します。  「メニュー 5: クリーニング」P. 92

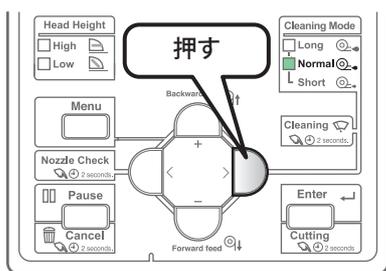
Important!

微量充てん、初期充てんを行うときは、以下のことを遵守してください。
充てん動作が中断するため、再充てんによるインクの損失が発生します。

- ・フロントカバー、メンテナンスカバーを開かないこと。
- ・インク残量の少ないインクカートリッジ（インクパック）を使用しないこと。

ヘッドクリーニングの手順

[1]



[Cleaning] キーを押して、クリーニングモードを選択します。

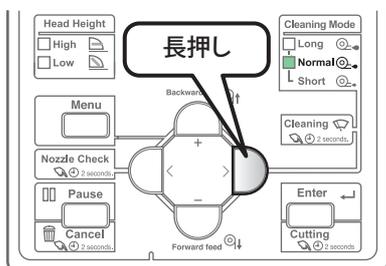
- ・ [Cleaning Mode] ランプが切り替わります。

Note

- ・ MSM のリモートパネルでも同じことができます。
- ・ [Cleaning Mode] ランプは下図のように切り替わります。



[2]



[Cleaning] キーを 2 秒以上長押しします。

- ・ クリーニングを開始します。

[3] ノズルチェックを行います。

- ・ ノズル抜けが直っていない場合は、クリーニングとノズルチェックを繰り返してください。

👉 「ヘッドクリーニングの手順」 P.125

Note

- ・ 通常クリーニングを数回繰り返してもノズル抜けが直らない場合は、強力クリーニングを行ってください。
- ・ 強力クリーニングを数回繰り返してもノズル抜けが直らない場合は、「デイリーメンテナンス後も印刷を行う場合の手順」 P.122 に従ってメンテナンスを行ってください。
- ・ どうしてもノズル抜けが直らない場合は、パネル設定メニューの「クリーニングメニュー」から「微量充てん」を行ってください。

漬け置きクリーニング

清掃時期：

- ・ 1 週間に 1 度 (推奨)
- ・ クリーニングでノズル詰まりや飛行曲がり解消しないとき

手順については、MUTOH Club (<https://mutoh-club.com/mutoh/guser/>) から「漬け置きクリーニング 手順シート」をダウンロードしてください。

内部の清掃

清掃時期：

- ・ 1か月に1度
- ・ インク汚れやほこりが見えるとき

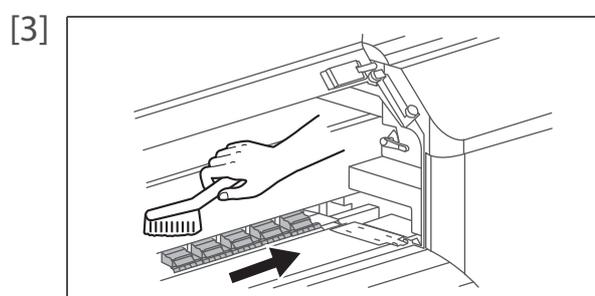
必要なもの

- ・ 柔らかいブラシ
- ・ 柔らかい布

手順

[1] メディアを取り外します。

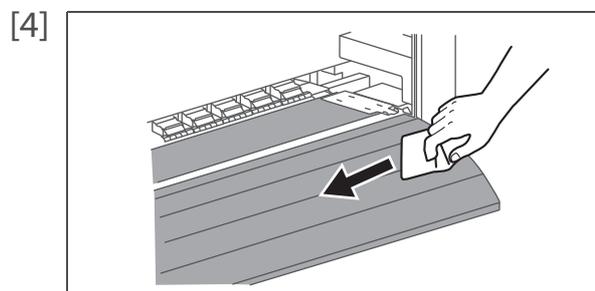
[2] フロントカバーを開きます。



柔らかいブラシを使って、加圧ローラーのほこりを払います。

Important!

本製品内部に付着したほこりをエアダスターなどで吹き飛ばさないでください。
ほこりが可動部に付着して、異音や故障の原因となる恐れがあります。



水を含ませてよく絞った柔らかい布で、プラテンとメディアガイドの汚れを取ります。

[5] フロントカバーを閉じます。

消耗品の交換

フラッシングボックス用吸収材の交換

フラッシングボックスは、プリントヘッドが排出するインクを受ける部品です。フラッシングボックス用吸収材は定期的に交換してください。交換せずに使用しつづけると、プリントヘッドが故障する原因になります。

交換時期の目安：

- ・ フラッシングボックス用吸収材上に堆積したインクかたまりが、フラッシングボックス枠より盛り上がった場合（使用頻度によりますので定期的に確認してください）

必要なもの

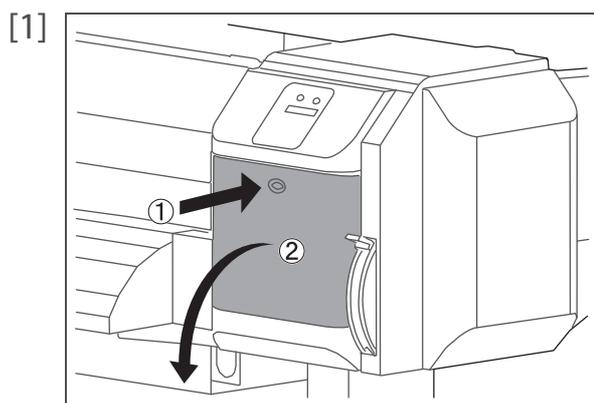
- ・ ポリエチレン手袋
- ・ ゴム手袋
- ・ ゴーグル
- ・ フラッシングボックス用吸収材
- ・ 汚れてもかまわない紙（インクが裏抜けしないもの）

⚠ 注意

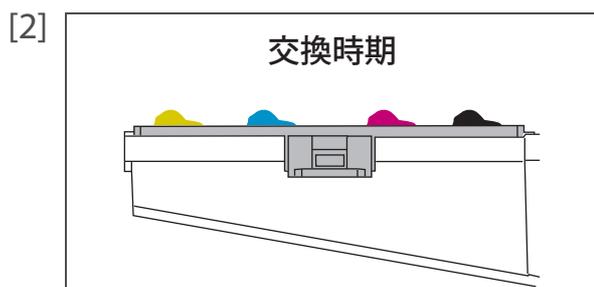


UV 硬化インクおよび廃液が皮膚や目に付着すると、炎症やアレルギー反応を起こす場合があります。作業を行うときは、かならず付属の手袋（もしくは耐溶剤性の手袋）とゴーグルを着用し、インクが付着しないよう注意してください。

1. 確認手順



右側のメンテナンスカバーを開きます。

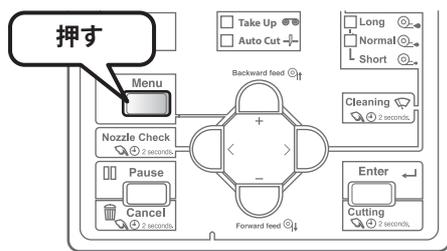


フラッシングボックス用吸収材を確認します。
・ インクのかたまりがフラッシングボックスの枠より盛り上がっていたら、交換時期です。

[3] メンテナンスカバーを閉じます。

2. CR メンテナンス状態にする

[1]



[Menu] キーを押します。

[2]

メニュー1: スリープモード>

左のメッセージが表示されます。

[3]

メニュー3: セッテイ>

[-] キーを何回か押して、左の表示にします。

- [>] キーを押します。

[4]

セット1: サイドマージン

左のメッセージが表示されます。

[5]

セット13: CRメンテナンス

[-] キーを何回か押して、左の表示にします。

- [Enter] キーを押します。

[6]

CRメンテナンス: Start

[Enter] キーを押します。

シバラクオマチクダサイ

- キャリッジとクリーニングワイパーがメンテナンス位置へ移動します。

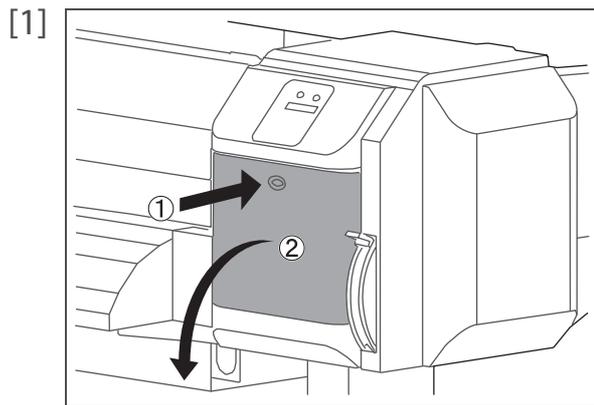
[7]

CRメンテナンス: End

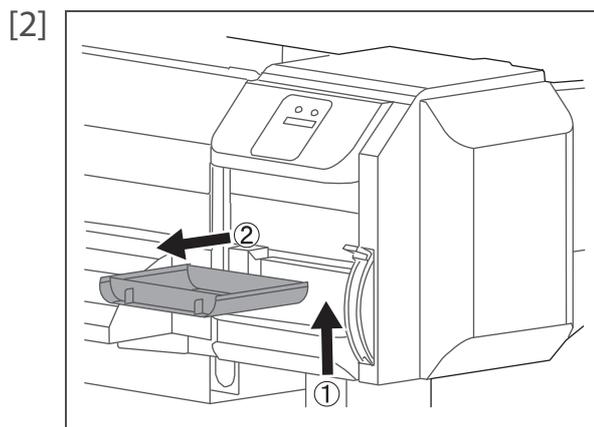
左のメッセージが表示されます。

- 交換を行います。

3. 交換手順



右側のメンテナンスカバーを開きます。

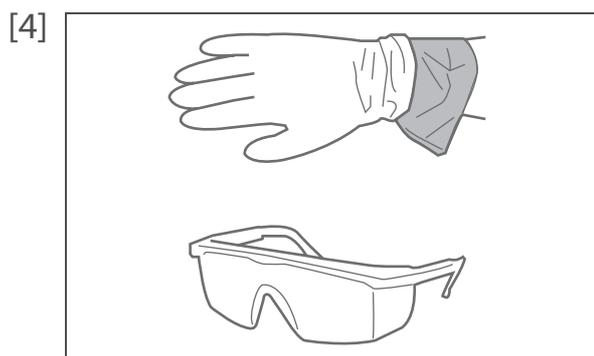


メンテナンスカバーを取り外します。

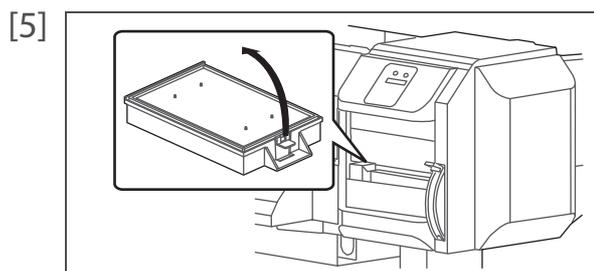
[3] プラテンに、汚れてもかまわない紙をしきます。

Important!

フラッシングボックス用吸収材からインクがたれることがあります。
床にも紙をしくことをおすすめします。



- ・ポリエチレン手袋の上に、ゴム手袋を重ねて着用します。
- ・ゴーグルを着用します。

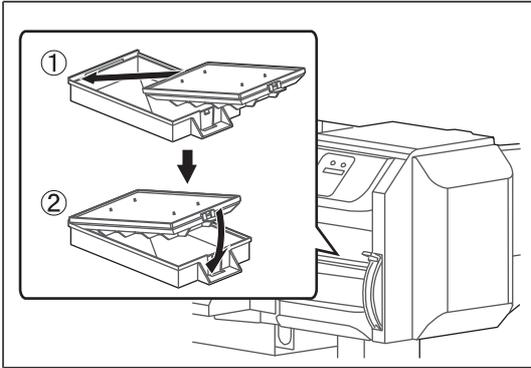


フラッシングボックス用吸収材のツメ部を持ち上げてフックを解除し、フラッシングボックス吸収材を取り外します。

Important!

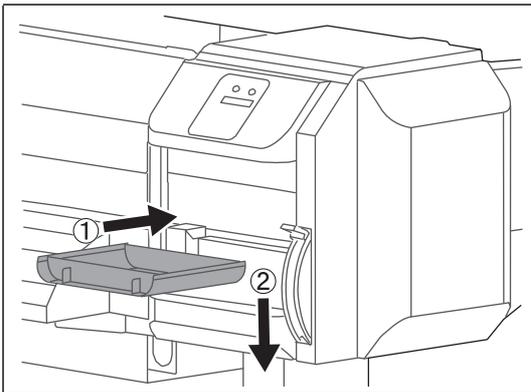
フラッシングボックス用吸収材を取り外すときに、インクがたれ落ちないように注意してください。

[6]



新しいフラッシングボックス用吸収材を取り付けます。

[7]



メンテナンスカバーを取り付けます。

[8]

メンテナンスカバーを閉じます。

[9]

CRメンテナンス:	End
-----------	-----

[Enter] キーを押します。

CRメンテナンス:	Start
-----------	-------

左のメッセージが表示されます。

・手順を終了します。

カッターの交換

交換時期の目安：

- ・メディアがきれいにカットできない場合
- ・カット部に毛羽立ちなどが発生した場合

必要なもの

- ・カッター交換刃

⚠ 注意

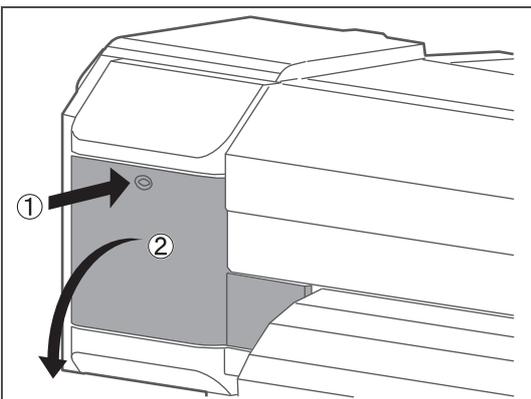


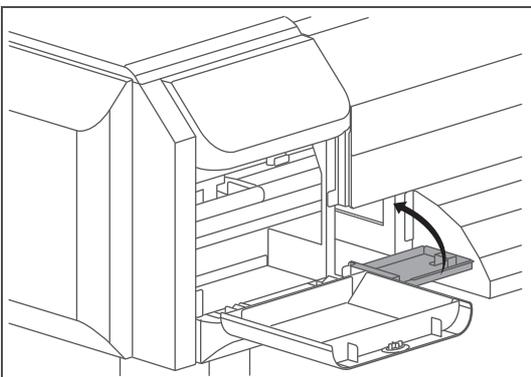
- ・カッターのつまみを強く押したり、急に離したりしないでください。カッターの下にバネがありますので、カッターが飛び出す可能性があります。
- ・カッターの刃先には触れないでください。けがをする恐れがあります。

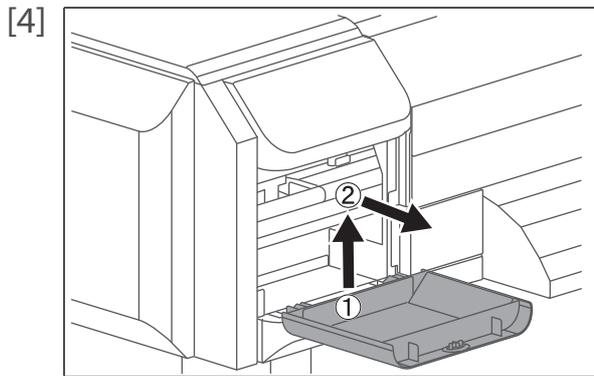
1. 交換手順

- [1] 本製品を CR メンテナンス状態にします。

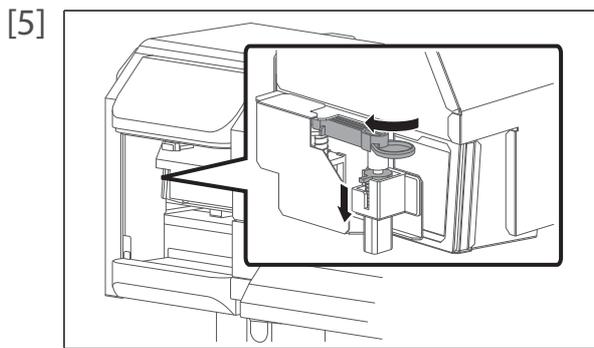
「CR メンテナンス状態にする」P.128

- [2]  メンテナンスカバーを開きます。

- [3]  メンテナンスカバー横のカバーを閉じます。



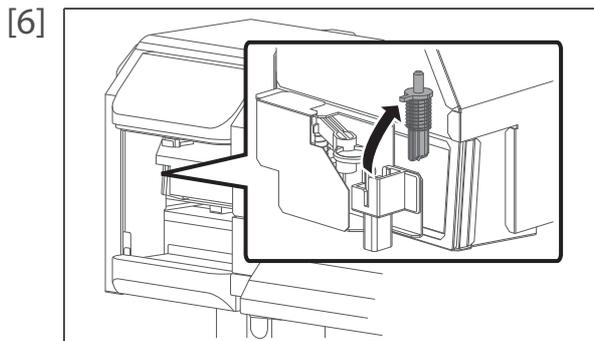
メンテナンスカバーを取り外します。



カッターのつまみを軽く押しながら、カッターキャップを図の方向に回転させます。

Important!

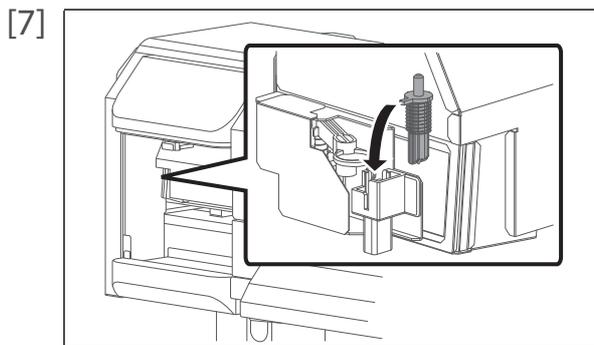
カッターキャップを下方向に押さないでください。
カッターキャップが破損する恐れがあります。



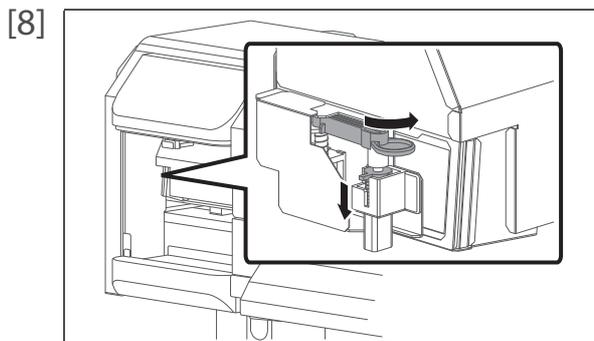
カッターを取り出します。

Note

使用済みのカッターは、ビニール袋などに入れて、地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。



新しいカッターを取り付けます。



カッターのつまみを軽く押しながら、カッターキャップを元の位置に戻します。

[9] メンテナンスカバーを取り付け、閉じます。

[10]

CRメンテナンス:

End

[Enter] キーを押します。

CRメンテナンス:

Start

左のメッセージが表示されます。

・手順を終了します。

クリーニングワイパーの交換

クリーニングワイパーは、製品が安定した印刷を行うために必要な部品です。定期的に交換してください。

交換時期の目安：

- ・ 約6か月

必要なもの

- ・ ポリエチレン手袋
- ・ ゴム手袋
- ・ ゴーグル
- ・ クリーニングワイパー
- ・ 汚れてもかまわない紙（インクが裏抜けしないもの）

⚠ 注意



UV 硬化インクおよび廃液が皮膚や目に付着すると、炎症やアレルギー反応を起こす場合があります。

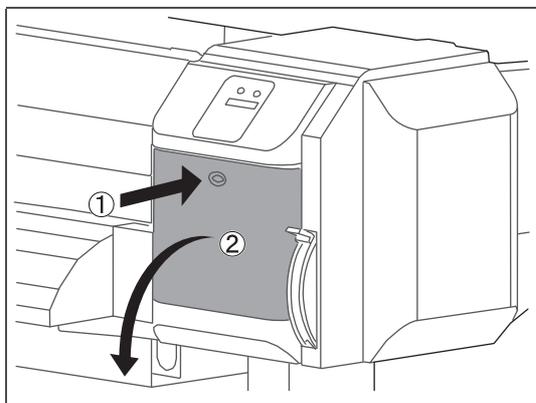
作業を行うときは、かならず付属の手袋（もしくは耐溶剤性の手袋）とゴーグルを着用し、インクが付着しないよう注意してください。

1. 交換手順

- [1] 本製品を CR メンテナンス状態にします。

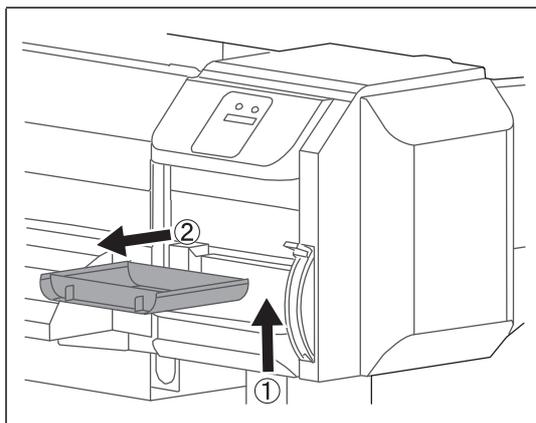
「CR メンテナンス状態にする」P.128

- [2]

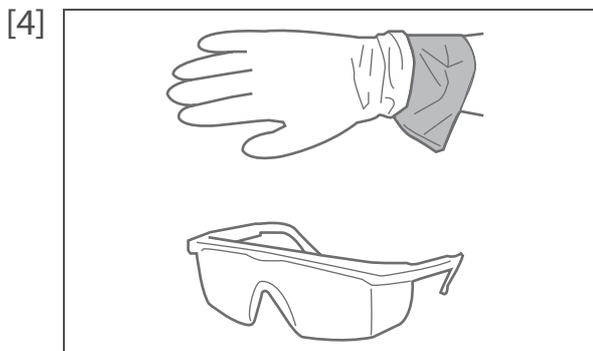


右側のメンテナンスカバーを開きます。

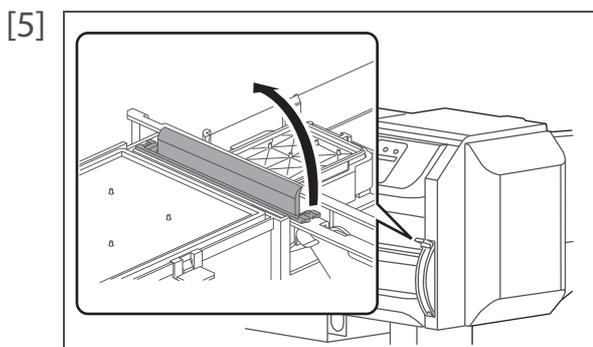
- [3]



メンテナンスカバーを取り外します。



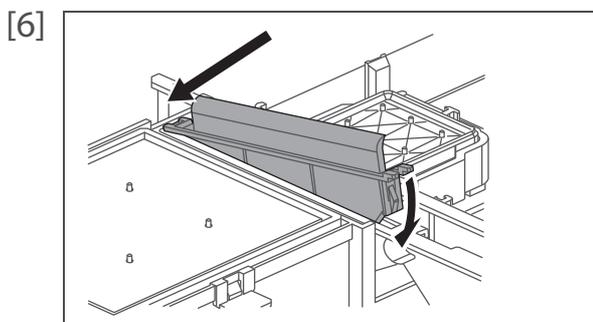
- ・ポリエチレン手袋の上に、ゴム手袋を重ねて着用します。
- ・ゴーグルを着用します。



- クリーニングワイパーを取り外します。
- ・クリーニングワイパーのツメ部を持上げてフックを解除し、クリーニングワイパーを取り外します。

Important!

クリーニングワイパーを取り外すときに、インクが垂れ落ちないように注意してください。

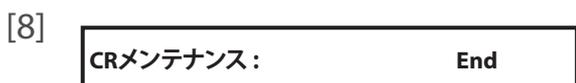


- 以下の手順に従って、新しいクリーニングワイパーを取り付けます。
- ・クリーニングワイパーの手前側を挿入します。
 - ・クリーニングワイパーのツメ部をカチッと音がするまで押し込みます。

Important!

クリーニングワイパーのゴム部分を素手で触れないように注意してください。皮脂が付着するとプリントヘッドの故障の原因となります。

[7] メンテナンスカバーを取り付け、閉じます。



[Enter] キーを押します。



左のメッセージが表示されます。

- ・手順を終了します。

本製品の輸送、移動方法について説明します。

移動の方法

本製品の移動方法について説明します。

Important!

- 製品は水平の状態を保ったまま移動させてください。
- 本製品を傾けたり、上下を逆にしないでください。
内部のインクが漏れる恐れがあります。また移動後の正常動作が保証できません。
- 本製品を移動するときは、廃液タンクを空にしてください。
移動時に廃液タンク内でインクがはねると、故障の原因となります。

1. 移動前の手順

[1] 電源をオフにします。

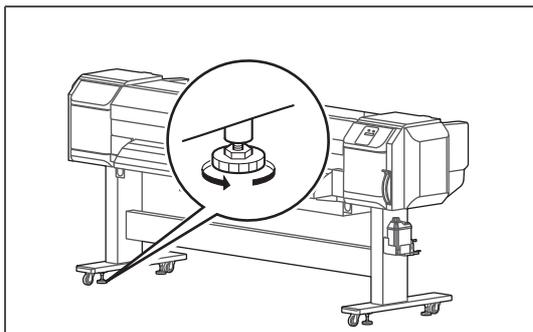
☞ 「電源をオフにする」P.26

[2] 廃液タンクを空にします。

☞ 「廃液タンクを空にする」P.111

[3] 電源ケーブルなどのケーブル類をすべて取り外します。

[4]



専用スタンドのアジャスター（4箇所）を、左図の方向に回転させて緩めます。

[5] 本製品を移動します。

2. 移動後の手順

- [1] 設置に適した場所を確認します。
スタートアップガイド
- [2] 設置場所に移動後、製品を固定します。
- [3] 電源ケーブルなどのケーブル類を取り付けます。
- [4] ノズルチェックを行い、目詰まりがないか確認します。
 「ノズルチェック」P.38
- [5] 画質調整を行います。
 「画質調整」P.43

輸送の方法

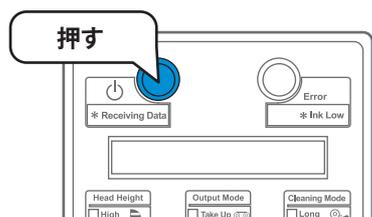
本製品を輸送する場合は、振動や衝撃から製品本体を守るために、保護材や梱包材を使用して購入時と同じ状態に梱包する必要があります。

Important!

本製品を輸送する場合は、お買い上げの MUTOH 製品販売店にご相談ください。

インク排出後の初期充電の方法

[1]



本製品の電源ボタンを押します。

- ・青色のランプが点灯します。
- ・本製品が初期動作を開始します。

[2]

インクジュウテンカイシ → Enter

左のメッセージが表示されたら、[Enter] キーを押します。

[3]

ハイエキヲ カラニシテクダサイ → E

左のメッセージが表示されたら、廃液タンクを空にしてください。

👉 「[廃液タンクを空にする](#)」P.111

- ・ [Enter] キーを押します。

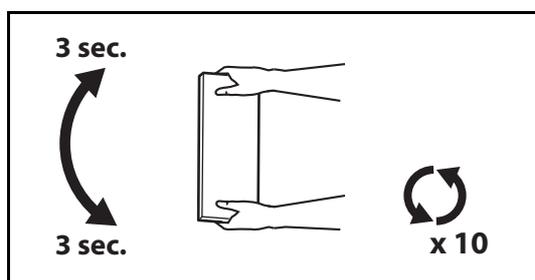
[4]

インクカートリッジ ヲ セット

左のメッセージが表示されます。

インクカートリッジをお使いの場合の手順

[1]



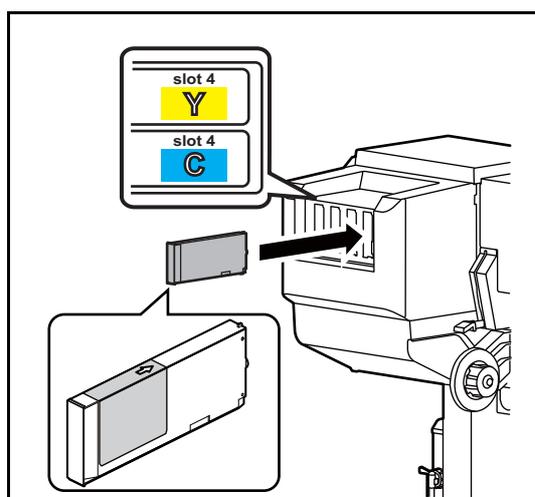
インクカートリッジは、開封後にかならずかくはんしてください。

- ・差し込み口を上に向けて3秒待ちます。
- ・次に、差し込み口を下に向けて3秒待ちます。
- ・これを10回繰り返します。

Note

バーニッシュインクと洗浄液は、かくはんせずにご使用いただけます。

[2]



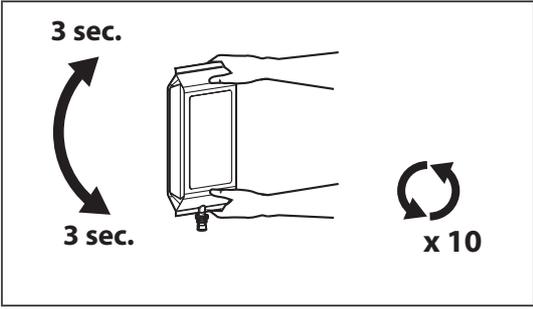
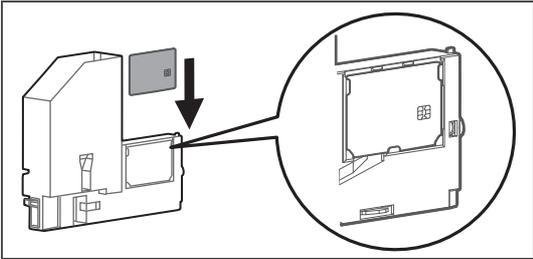
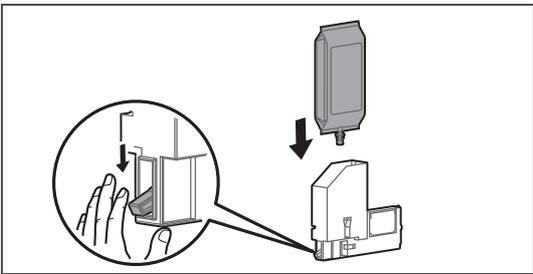
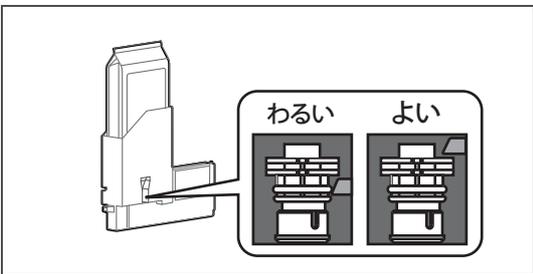
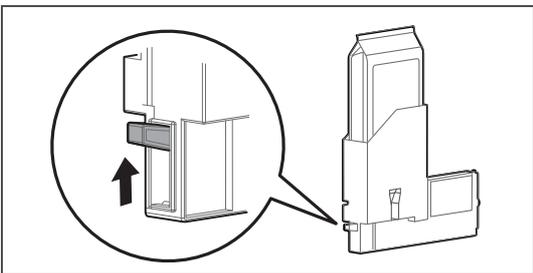
新しいインクカートリッジをに取り付けます。

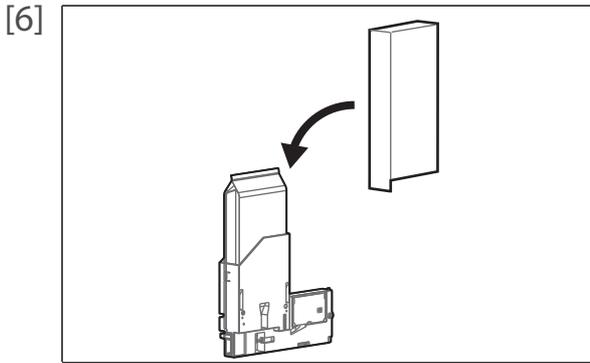
- ・本製品のラベルとインクカートリッジの色を合わせてください。
- ・矢印マークを上にしてください。
- ・奥までしっかり差し込んでください。

Important!

インクカートリッジは、輸送前と同じ色数の組み合わせでセットしてください。

大容量パックアダプターをお使いの場合の手順

- [1]  新しいインクパックを用意し、下記の方法でインクをかくはんします。
- ・差し込み口を上に向けて 3 秒待ちます。
 - ・次に差し込み口を下に向けて 3 秒待ちます。
 - ・これを 10 回繰り返します。
-  **Note**
バーニッシュインクは、かくはんせずにご使用いただけます。
- [2]  大容量パックアダプターのツメにスマートチップカードをスライドして取り付けます。
- [3]  大容量パックアダプターのロックレバーを下げながら、インクパックを挿入します。
- ・インクパックは奥までしっかりと挿入してください。
- [4]  インクパックが奥まで差し込まれ、ロックしていることを確認します。
- [5]  大容量パックアダプターのロックレバーが元の位置に戻っていることを確認します。

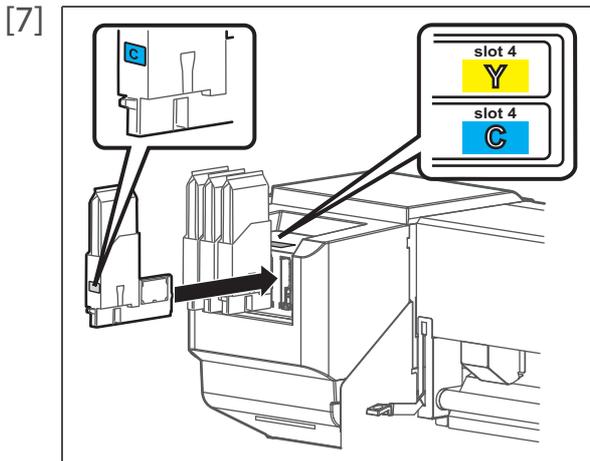


遮光カバーを取り付けます。



Note

遮光カバーは大容量パックアダプターの内側に入るように取り付けてください。



大容量パックアダプターを差し込みます。

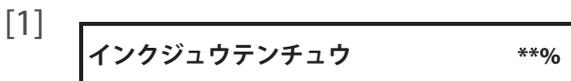
- ・本製品のラベルと大容量パックアダプターの色を合わせてください。
- ・奥までしっかり差し込んでください。



Important!

大容量パックアダプターは、輸送前と同じ色数の組み合わせでセットしてください。

インクをセットした後の手順



左のメッセージが表示されます。

- ・インク充てんを開始します。

⚠ 注意



インク充てん中に、以下の動作を行わないでください。

- ・本製品の電源をオフにする
- ・本製品の電源ケーブルを抜く
- ・フロントカバーを開ける
- ・メンテナンスカバーを開ける
- ・メディアセットレバーを上げる



インク充てんが完了すると、左のメッセージが表示されます。

- ・手順を終了します。



Important!

初期充てん終了直後にノズルチェックを行うと、次のような現象が発生する場合があります。

- ・印刷した線がかすれる
- ・部分的に印刷されない

このような場合には、「メニュー 5: クリーニング」P.92 に従って、微量充てんを行ってから、印刷結果を確認してください。微量充てんを行っても印刷結果に変化が無い場合は、製品を1時間以上放置後、再度クリーニングまたは微量充てんを行ってから印刷結果を確認してください。

それでも印刷結果に変化が無い場合は、「お問い合わせ先」P.158 までご連絡ください。

第4章 付録

メッセージとエラーメッセージ	142
動作状態表示	142
メッセージ型エラー表示と対処方法	144
再起動が必要なエラー	148
トラブルシューティング	149
設置・導入時のトラブル	149
動作に関するトラブル	150
メディアに関するトラブル	151
印刷に関するトラブル	153
メディアが詰まった場合	156
お問い合わせ先	158
本製品の仕様	159
仕様一覧	159
オプション・サプライ品リスト	161
インク	161
その他	162
改訂履歴	162

メッセージとエラーメッセージ

ここでは、本製品の正常作業時およびエラー発生時に表示されるメッセージと、その対処方法について説明します。

動作状態表示

本製品が正常に動作している場合の表示内容について説明します。

本製品が正常に動作している場合、操作パネルには以下の各動作状態が表示されます。

表示	内容
サクカ` デ` キマス	待機中。(メディアはセットされています。)
メデ` ィア` ナシ	待機中。(メディアはセットされていません。) 👉 「メディアのセット方法」P.32
デ` ータジ` ュシンチュウ	データ受信中です。
デ` ータカイセキチュウ	データ解析中です。
デ` ータサクカ` チュウ	印刷中です。
インサツノコリ： XXX. X m	現在印刷しているデータについて、まだ印刷されていないデータの長さをメートルで表示します。
ノコリジ` カン： XXXX min	現在印刷しているデータについて、印刷にかかる残り時間を分で表示します。
ク` リーニング` チュウ` **%	ヘッドクリーニング中です。しばらくお待ちください。
ゲ` ンテンニイト` ウチュウ	原点設定メニューで、プリントヘッドが印刷開始位置に移動中です。しばらくお待ちください。
パ` ラメータシヨキカチュウ	初期化メニューで、設定値の初期化中です。しばらくお待ちください。
2ヒ` ヨウ` オシツツ` ケル	キーを押していた時間が2秒未満でした。 再度キーを2秒以上押し続けてください。
メデ` ィアヲセットシテクタ` サイ	メディアをセットして、メディアセットレバーを下げてください。
ユーザ` :` Type` **` OK` ?	メディアイニシャル中です。しばらくお待ちください。 (* *は設定したユーザ定義を表示します。)
メデ` ィア` イニシャル` チュウ	
デ` イリーメンテナンスシテクタ` サイ	前回のデイリーメンテナンスから一定時間が経過しました。 デイリーメンテナンスを行ってください。 👉 「デイリーメンテナンス」P.114
ジ` ュミョウカクニン [ホ` ンプ`]	ポンプモーターの寿命が近づいています。(動作を継続します。) お買い求めの MUTOH 製品取扱店または MUTOH カスタマーサポート窓口までご連絡ください。 👉 「お問い合わせ先」P.158
ジ` ュミョウカクニン [CR` モータ`]	CR モーターの寿命が近づいています。(動作を継続します。) お買い求めの MUTOH 製品取扱店または MUTOH カスタマーサポート窓口までご連絡ください。 👉 「お問い合わせ先」P.158

表示	内容
ジ ュミョウカクニン [PF モータ]	PF モーターの寿命が近づいています。(動作を継続します。) お買い求めの MUTOH 製品取扱店または MUTOH カスタマーサポート窓口までご連絡ください。 ☞ 「お問い合わせ先」P.158
ジ ュミョウカクニン [UV ランプ *]	UV ランプの寿命が近づいています。(動作を継続します。) お買い求めの MUTOH 製品取扱店または MUTOH カスタマーサポート窓口までご連絡ください。 ☞ 「お問い合わせ先」P.158
ジ ュミョウカクニン [C ポンプ]	循環ポンプの寿命が近づいています。(動作を継続します。) お買い求めの MUTOH 製品取扱店または MUTOH カスタマーサポート窓口までご連絡ください。 ☞ 「お問い合わせ先」P.158
デ ンゲ ンシャタ ンチュウ	プリンターの電源をオフしています。しばらくお待ちください。
S/C リード チュウ	S/C カードの読み取り中です。
*** リモート モード ***	MSM などリモートパネルモードを実行中です。リモートパネルモード中は、操作パネルからの操作はできません。[Cancel] キーを 2 秒以上長押しすると、リモートパネルモードを強制終了します。
ロールシ ニアエント : * m	ロール紙の残量カウントがもうすぐゼロになります。ロール紙の残量は * m です。
ワイパ ーヲ トリツケマシタカ? → イイエ	クリーニングワイパーをセットしてください。 ☞ 「スタートアップガイド」
ワイパ ーヲ トリツケマシタカ? → ハイ	クリーニングワイパーがセットされていることを確認して、[Enter] キーを押してください。
インクジ ュウテンカイシ → Enter	インク充てんを開始します。[Enter] キーを押してください。
インククミアワセ: *シヨク	使用したいインク組み合わせを 4 色、5 色、6 色から選んでください。
センジ ョウカートリッジ ヲ セット	ヘッド洗浄処理中です。 洗浄カートリッジを取り付けてください。
ヘッド センジ ョウチュウ	初期洗浄で洗浄液の充てんおよび排出を行っています。 または、ヘッド洗浄処理で、プリントヘッドの洗浄中です。 しばらくお待ちください。
カートリッジ ヲ ヌイテクタ サイ	ヘッド洗浄処理中またはインク排出処理中です。 インクカートリッジ (大容量パックアダプター) を取り外してください。
インクカートリッジ ヲ セット	インク充てん中です。 インクカートリッジ (大容量パックアダプター) を取り付けてください。
インクジ ュウテンチュウ ***	インク充てん中です。 しばらくお待ちください。
ハイエキヲ カラニシテクタ サイ → E	廃液タンクの廃インクを容器に移し、[Enter] キーを押してください。 ☞ 「廃液タンクを空にする」P.111

メッセージ型エラー表示と対処方法

本製品の動作中に、メッセージ型エラーが発生した場合の表示内容とその対策について説明します。メッセージ型エラーは、本製品の動作中に何らかの障害が発生した場合に表示されます。メッセージ型エラーが発生した場合、本製品は操作パネルに以下のエラーメッセージを表示するとともに、動作を停止する場合があります。

表示	内容
カバーオープン	フロントカバーが開いています。 フロントカバーを閉じてください。
メンテナンスカバーLオープン	左のメンテナンスカバーが開いています。 メンテナンスカバーを閉じてください。
メンテナンスカバーRオープン	右のメンテナンスカバーが開いています。 メンテナンスカバーを閉じてください。
メディアニンシキエラー	メディア認識に失敗しました。(動作を停止します) メディアをセットし直してください。
メディアシャコウエラー	メディアが斜行しました。(動作を停止します) メディアをセットし直してください。
メディアカットエラー	メディアがカットできませんでした。(動作を停止します) メディアをセットし直してください。
ロールシザーリョウエラー	ロール紙の残量カウントがゼロになりました。(印刷を停止します。)
メディアエンド	メディアがなくなりました。(動作を停止します) 新しいメディアをセットしてください。  「メディアのセット方法」P.32
サクガシュウリョウ メディアエンド	メディアがなくなりました。(動作を停止します) 印刷は最後まで終了しました。 続けて印刷をする場合は、新しいメディアをセットしてください。  「メディアのセット方法」P.32
メディアサイズ メディアエンド	印刷の途中で、メディアがなくなりました。(動作を停止します) 新しいメディアをセットしてください。  「メディアのセット方法」P.32  Note 印刷が途中で終了すると、データを最後まで書ききれません。 この場合、印刷結果の後端の印刷品質は保証できません。
W カートリッジフッテクタサイ	ホワイト (Wh) のインクカートリッジ (インクパック) をかかはんしてください。
KMCY カートリッジフッテクタサイ	ブラック (K)、マゼンタ (M)、シアン (C)、イエロー (Y) のインクカートリッジ (インクパック) をかかはんしてください。
KMCYW カートリッジフッテクタサイ	ブラック (K)、マゼンタ (M)、シアン (C)、イエロー (Y)、ホワイト (Wh) のインクカートリッジ (インクパック) をかかはんしてください。
ALL カートリッジフッテクタサイ	すべてのインクカートリッジ (インクパック) をかかはんしてください。 ブラック (K)、マゼンタ (M)、シアン (C)、イエロー (Y) のインクカートリッジ (インクパック) をかかはんしてください。

表示	内容
[*****] インク スクナイ	<p>インク残量が少なくなりました。(動作を継続します) 新しいインクを用意してください。</p> <p> 「インクの交換」P.106</p>
[*****] インク ナシ	<p>インクがなくなりました。(動作を停止します) 新しいインクに交換してください。</p> <p> 「インクの交換」P.106</p>
[*****] カートリッジ ナシ	<p>インクカートリッジ (大容量パックアダプター) が挿入されていません。(動作を停止します) インクカートリッジ (大容量パックアダプター) を挿入してください。</p>
[*****] ミジ ユウテン	<p>インクが充てんされていません。 初期充てんを行ってください。</p> <p> 「インク排出後の初期充てんの方法」P.138</p>
ハイエキタンク マンタン	<p>廃液タンクが満タンになりました。(動作を停止します) ただちに廃液を容器に移してください。</p> <p> 「廃液タンクを空にする」P.111</p>
[*****] S/C リード エラー	<p>S/C カードの読み取りに失敗しました。 S/C カードを挿入し直してください。</p>
[*****] S/C カラー エラー	<p>インクカートリッジ (大容量パックアダプター) が、間違ったインクカートリッジスロットに取り付けられています。 インクカートリッジ (大容量パックアダプター) を正しいインクカートリッジスロットに取り付けてください。</p>
[*****] S/C インク エラー	<p>本製品で使用できない種類のインクです。 お買い求めの MUTOH 製品取扱店または、MUTOH 各営業所にお問い合わせください。</p> <p> 「お問い合わせ先」P.158</p>
[*****] S/C コード エラー	<p>適切でないインクカートリッジ (インクパック) が挿入されています。 お買い求めの MUTOH 製品取扱店または、MUTOH 各営業所にお問い合わせください。</p> <p> 「お問い合わせ先」P.158</p>
[*****] ハソンシタ チップ	<p>S/C カードが破損しています。 新しいインクカートリッジ (インクパック) に交換してください。</p>
[*****] インク カクニン	<p>インクカートリッジ (大容量パックアダプター) が正しく認識できませんでした。インクカートリッジ (大容量パックアダプター) を挿入し直してください。復帰しない場合は、お買い求めの MUTOH 製品取扱店または、MUTOH 各営業所にお問い合わせください。</p> <p> 「お問い合わせ先」P.158</p>
サクカ`テ`キマス / PF センサエラー	<p>PF 原点センサーが搬送原点位置を検出できませんでした。 印刷は可能ですが、印刷品質は保証できません。問題が解決しない場合は、お買い求めの MUTOH 製品取扱店または、MUTOH 各営業所にお問い合わせください。</p> <p> 「お問い合わせ先」P.158</p>

表示	内容
ジ ュミョウケイコク [C ホ° ンプ°]	<p>循環ポンプの交換が必要です。 サービス窓口にて部品の交換を依頼してください。 ブザーの停止や印刷を行うには、以下の操作を行ってください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ブザーを停止するには、[Enter] キーまたは [Cancel] キーを押してください。 2. 「メンテナンスコールシマシタカ?」と表示されます。操作パネルの [+] / [-] キーで [ハイ] / [イイエ] を選択してください。 3. [Enter] キーを押します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ [ハイ] を選択した場合は、「サクガデキマス」が表示されます。手順を終了します。 ・ [イイエ] を選択した場合は、「マモナク ショウ デキナクナリマス」と表示されます。手順 4 に進みます。 <ol style="list-style-type: none"> 4. [Enter] キーを押すと、「サクガデキマス」が表示されます。
フ ヒンコウカン [C ホ° ンプ°]	<p>循環ポンプが部品寿命に達しました。部品が交換されるまで、操作パネルからの操作ができなくなります。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ブザーを停止するには、[Enter] キーまたは [Cancel] キーを押してください。 2. サービス窓口にて部品の交換を至急依頼してください。 <ul style="list-style-type: none"> ・ この状態になると自動メンテナンス機能が働かないため、部品交換後のプリンターの動作保障はできません。
テイオン ケイコク	<p>プリンターが低温状態です。室温を調整し、警告が解除されるまでお待ちください。</p> <p> 「本製品の仕様」P.159</p>
コウオン ケイコク	<p>プリンターが高温状態です。室温を調整し、警告が解除されるまでお待ちください。</p> <p> 「本製品の仕様」P.159</p>

 **Note**

- ・ エラー表示の [*****] は警告対象のインクカートリッジ（インクパック）を示します。
- ・ 「インクナシ」と「カートリッジナシ」が同時に発生したときは「カートリッジナシ」表示を優先します。

スマートチップリカバリー

操作パネルに以下のメッセージが表示された場合、インクカートリッジのスマートチップ破損などの不具合が発生している可能性があります。

以下のエラーメッセージが表示された場合、正しいインクカートリッジが挿入されていることを確認したうえで、スマートチップリカバリーを実行することで正常に印刷できるようになります。

スマートチップリカバリーを実行するには、表示されたメッセージに応じて、操作を行ってください。

表示	内容
[****] S / C ニンシキ エラー	スマートチップリカバリーが必要なインクカートリッジが挿入されている可能性があります。 対象のインクカートリッジを挿し直してください。 それでも正常に読み取れない場合は、新しいインクカートリッジを挿入してください。 ・インクカートリッジを挿し直して、新たに「[****] カラーカクニン → E」が表示された場合は、「[****] カラーカクニン → E」の内容に従って操作してください。
[****] カラーカクニン → E	スマートチップリカバリーが必要なインクカートリッジが挿入されている可能性があります。 正しいインクカートリッジが挿入されているか、ご確認ください。 ・間違ったインクカートリッジが挿入されている場合、正しいインクカートリッジを挿入し直してください。 ・正しいインクカートリッジが挿入されている場合、Enter キーを押してください。スマートチップリカバリーが実行され、印刷動作が継続します。

Note

- ・スマートチップリカバリー実行中はインク量インジケータおよびインクステータスメニューにおいて、対象のインクが点滅表示します。
 「操作パネルのインジケータ表示」P.12、「セット 14：インクステータス」P.81

再起動が必要なエラー

再起動が必要なエラーとは、本製品が動作する上で次のような致命的な障害が発生した場合に表示されます。

- ・ 駆動の妨げとなる障害物が発生した場合
- ・ 電気回路（基板、モーター、センサー等）が故障した場合
- ・ 制御プログラム上の異常が発生した場合

再起動が必要なエラーが発生した場合、本製品は次の動作を行った後に動作停止します。

1. 駆動系の電源を自動的に遮断する。
2. 操作パネルのランプが全て点滅し、ブザーが断続的に鳴り続ける。
3. 操作パネルにエラーメッセージが表示される。

操作パネルのいずれかのキーを押すと、ブザー音は鳴り止みます。

再起動が必要なエラーは、エラーの原因を取り除き、本製品を再起動すると復旧します。

もし同じエラーメッセージが再び表示された場合は、本製品を購入された MUTOH 製品販売店または MUTOH カスタマーサポート窓口までご連絡ください。

連絡の際には、かならずエラーメッセージのコード番号をお伝えください。

 「お問い合わせ先」P.158

表示	内容
E ***エラー ○○○○○○○○○○ []	エラー状態の解除が不可能なトラブルが発生しました。 1. 駆動系に紙くず、紙片等の障害物があれば、取り除いてください。 2. 交換した部品が正しく取り付けられているか確認してください。 3. 電源をオフにします。しばらく待ってから電源をオンにして、本製品を再起動してください。

Note

- ・ エラーメッセージの「***」はどんなエラーが発生したかを示すコード番号です。
- ・ [] 内にはエラーの発生したコマンドコードが入ることがあります。

トラブルシューティング

ここでは、エラー表示しない製品の異常および故障とその時に考えられる要因とその対策について説明します。

Note

- ・プリンターの状態やエラー情報は MSM のステータス情報から確認できます。
プリンターが正常に動かない場合は、MSM をご確認ください。
 - ・MSM は最新のバージョンをお使いください。
MSM のヘルプのバージョン情報で、お使いの MSM より新しいバージョンがあるかを確認できます。
最新バージョンがある場合は、MUTOH Club からダウンロードしてください。
-  MUTOH Status Monitor 取扱説明書

設置・導入時のトラブル

インクの初期充電ができない

フロントカバーが開いていたり、メンテナンスカバーが開いていませんか？
- フロントカバーとメンテナンスカバーを閉じてください。

メディアセットレバーが上がっていませんか？
- メディアセットレバーを下げてください。

インクカートリッジ(大容量パックアダプター)は奥まで確実に差し込まれていますか？
- インクカートリッジ(大容量パックアダプター)を奥まで確実に差し込んでください。

初期充電してもインクが出ない

インクは冷えていませんか？
- 最低でも常温で3時間以上放置した後、クリーニングを数回行ってください。

初期充電中に電源をオフしませんでしたか？
- 再度電源をオンにし、初期充電をやりなおしてください。

初期充電後にノズル抜けが発生する

クリーニングを行ってみましたか？
- クリーニングを行ってから、印刷結果を確認してください。
- クリーニングを行っても印刷結果に変化が無い場合は、製品を1時間以上放置後、再度クリーニングまたは微量充電を行ってから印刷結果を確認してください。
- それでも印刷結果に変化が無い場合は、お問い合わせ先までご連絡ください。

 「ヘッドクリーニング」P.124、「お問い合わせ先」P.158

MSM やRIP からプリンターに接続できない

ギガビットイーサネットケーブルはきちんと接続していますか？

- ギガビットイーサネットケーブルをきちんと接続してください。

ネットワーク設定は正しく設定されていますか？

- ネットワーク設定を正しく設定してください。

プリンターのネットワーク設定をコンピューター側の環境に合わせていますか？

- 製品のネットワーク設定をコンピューター側の環境に合わせてください。

👉 「コンピューターとの接続」P.18、「初期設定 3：IP アドレス」P.97、「初期設定 4：サブネットマスク」P.97、「初期設定 5：ゲートウェイ」P.97

動作に関するトラブル

電源投入後まったく動かない/
メディアをセットしても動かない

電源ケーブルはつながっていますか？

- 電源ケーブルをつないでください。

AC 電源は規定の電圧になっていますか？

- 他のコンセントに接続してください。

フロントカバーが開いていたり、メンテナンスカバーが開いていませんか？

- フロントカバーとメンテナンスカバーを閉じてください。

メディアセットレバーが上がっていませんか？

- メディアセットレバーを下げてください。

メディアを正しくセットしていますか？

- メディアを正しくセットしてください。

インクカートリッジ(大容量パックアダプター)は挿入されていますか？

- インクカートリッジ(大容量パックアダプター)を挿入してください。

プリンターを使用環境以外の場所で使用していませんか？

- プリンターを使用する環境条件を、指定する環境に合わせてください。

MSM にエラーが表示されていませんか？

- MSM のステータス情報を確認してください。

👉 「メディアのセット方法」P.32、「設置場所の確認」スタートアップガイド P.5

メディアに関するトラブル

メディアイニシャル中にメディアが外れる、破れる、シワになる

メディアを正しくセットしていますか？

- メディアを正しくセットしてください。

加圧ローラーにメディアの切れ端等の異物が付着していませんか？

- 加圧ローラーを清掃してください。

プリンターを使用環境以外の場所で使用していませんか？

- プリンターを使用する環境条件を、指定する環境に合わせてください。

メディアがカールしたり、浮いたりしていませんか？

- メディアの両端にメディア押さえをセットしてください。

- 吸着ファンの設定を確認してください。

折り目、傷、破れ、および巻き癖のあるメディアは使用していませんか？

- メディアを交換してください。



Note

詰まったり、破れたりしたメディアは、「メディアが詰まった場合」P.151にしたがって取り除いてください。

メディアイニシャルでメディアを正しく認識できない

メディアを正しくセットしていますか？

- メディアを正しくセットしてください。

メディアを斜めにセットしていませんか？

- メディアを真っ直ぐにセットしてください。

プリンターを使用環境以外の場所で使用していませんか？

- プリンターの使用する環境条件を、指定する環境に合わせてください。

一度印刷したメディアを再度使用していませんか？

- 新品のメディアを使用してください。

🔗 「メディアのセット方法」P.32、「内部の清掃」P.126、「メディアをセットしたら・・・」P.36、「**>4：吸着ファン」P.70、「メディアが詰まった場合」P.156、「設置場所の確認」スタートアップガイド P.5

メディア詰まりが頻発する

プリンターを使用環境以外の場所で使用していませんか？

- プリンターを使用する環境条件を、指定する環境に合わせてください。

メディアがカールしたり、浮いたりしていませんか？

- メディアの両端にメディア押さえをセットしてください。

- 吸着ファンの設定を確認してください。

折り目、傷、破れ、および巻き癖のあるメディアは使用していませんか？

- メディアを交換してください。



Note

詰まったり、破れたりしたメディアは、「メディアが詰まった場合」P.151にしたがって取り除いてください。

印刷中にメディアが斜行する

メディアを正しくセットしていますか？

- メディアを正しくセットしてください。

🔗「設置場所の確認」スタートアップガイド P.5、「メディアをセットしたら・・・」P.36、「**>4：吸着ファン」P.70、「メディアが詰まった場合」P.156、「メディアのセット方法」P.32

印刷に関するトラブル

データを送っても印刷されない

ギガビットイーサネットケーブルはきちんと接続していますか？

- ギガビットイーサネットケーブルをきちんと接続してください。

MSMにエラーが表示されていませんか？

- MSMのステータス情報を確認してください。

印刷中、キャリッジが右端または左端でいったん停止する

MSMのMPS機能を使っていますか？

- MSMのステータス情報を確認してください。
MPSが動作中かどうかは、ステータスマニターのMPS情報タブから確認できます。

RIPの出力先がMPS機能になっていますか？

- お使いのRIPの出力先を確認してください。

お使いのコンピューターのスペックは以下の通りですか？

- OS: Windows 11 (64bit)
- CPU: Intel (R) Core (TM) i5 / i7
- メモリ: 8G バイト以上
- ネットワーク: ギガビットイーサネットに対応したネットワークポート、Category 6以降のギガビット対応イーサネットケーブルを使用

ギガビットイーサネットケーブルで接続をしていますか？

- プリンターとコンピューターの接続には、Category 6 以降のギガビットイーサネットケーブルをお使いください。

部分的に印刷が汚れたり、抜けたりする

メディアがカールしたり、浮いたりしていませんか？

- メディアの両端にメディア押さえをセットしてください。
- 吸着ファンの設定を確認してください。

メディアが湿気を含んでいたり、折り目、シワ等がありませんか？

- 新しいメディアに交換してください。

🔗 「コンピューターとの接続」P.18、「メディアをセットしたら・・・」P.36、「**>4：吸着ファン」P.70、「セット 19：スタートフィード」P.84

印刷はするが、描く位置がおかしい/
描けないところがある

メディアを正しくセットしていますか？

- メディアを正しくセットしてください。

原点を設定していませんか？

- 原点の設定を解除するか、または再設定してください。

印刷した線がにじむ

メディアの印字面に印刷していますか？

- メディアの印字面を確認して正しくセットしてください。

画質調整を行ってみましたか？

- 画質調整を行ってください。

メディア送り補正を行ってみましたか？

- メディア送り補正を行ってください。

印刷に白スジや黒スジが出る

メディアを正しくセットしていますか？

- メディアを正しくセットしてください。

メディアが湿気を含んでいたり、折り目、シワ等がありませんか？

- 新しいメディアに交換してください。

ノズルの状態は良好ですか？

- ノズルチェックを行ってください。

ノズル抜けがある場合は、ヘッドクリーニングを行ってください。

画質調整を行ってみましたか？

- 画質調整を行ってください。

メディア送り補正を行ってみましたか？

- メディア送り補正を行ってください。

 「メディアのセット方法」P.32、「セット4：原点設定」P.75、「**>2：調整作画」P.63、「**>3：送り補正」P.67、「ノズルチェックとクリーニング」P.38

印刷線が繋がらない/二重になる、
印刷結果がかすれる

ノズルの状態は良好ですか？

- ノズルチェックを行ってください。
- ノズル抜けがある場合は、ヘッドクリーニングを行ってください。

インクのかくはんを行いましたか？

- パネル表示にメッセージが表示されたら、インクのかくはんして下さい。

画質調整を行ってみましたか？

- 画質調整を行ってください。

メディア送り補正を行ってみましたか？

- メディア送り補正を行ってください。

インクカートリッジ(インクパック)は有効期限内ですか？

- 有効期限内のインクカートリッジ(インクパック)を使用してください。

印刷結果の色がおかしい

ノズルの状態は良好ですか？

- ノズルチェックを行ってください。
- ノズル抜けがある場合は、ヘッドクリーニングを行ってください。

大容量パックアダプターに、正しい組み合わせでインクパックとスマート
チップカードが取り付けられていますか？

- インクパックとスマートチップカードの組み合わせを確認してください。
- 組み合わせが間違っている場合、お問い合わせ先までご連絡ください。

インクのかくはんを行いましたか？

- パネル表示にメッセージが表示されたら、インクのかくはんして下さい。

クリーニングを行っても、ノズル抜け
がなおらない

クリーニングワイパーやプリントヘッド外周が汚れていませんか？

- 再度ヘッドクリーニングまたは微量充てんを行い、印刷結果を確認してください。
- デイリーメンテナンスを行い、印刷結果を確認してください。
- それでも印刷結果に変化が無い場合は、お問い合わせ先までご連絡ください。

クリーニングの設定は適切ですか？

- 通常クリーニングまたは強力クリーニングを2~3回行ってもノズル抜けがなおらない場合は、微量充てんを行ってください。

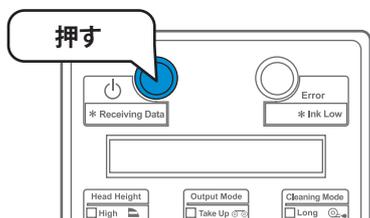
👉 「ノズルチェックとクリーニング」P.38、「**>2:調整作画」P.63、「**>3:送り補正」P.67、「デイリーメンテナンス」P.114、「メニュー5:クリーニング」P.92、「**>1:作画モード」P.62

メディアが詰まった場合

セットしたメディアが詰まった場合は、以下の手順に従って、メディアを取り除いてください。

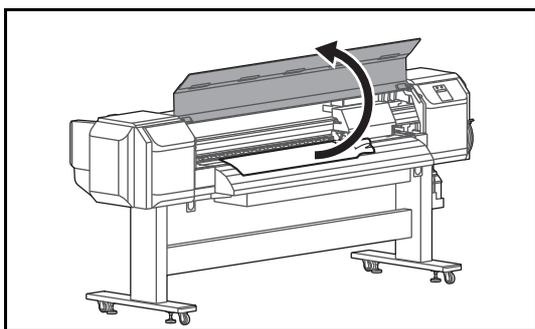
手順

[1]



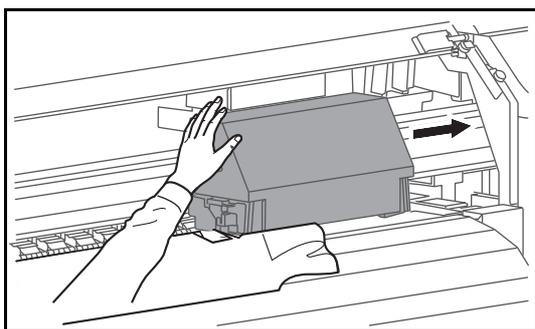
プリンターの電源をオフにします。

[2]



フロントカバーを開きます。

[3]



キャリッジをメディア上から移動させます。

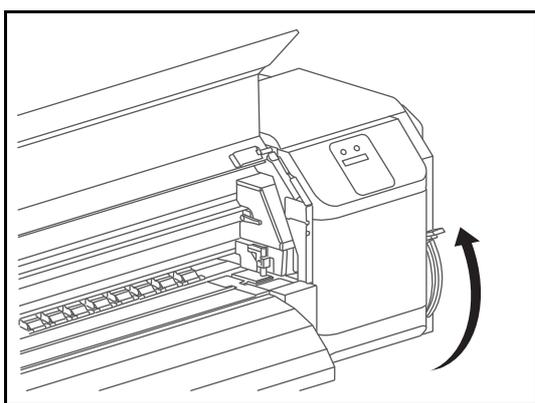
Important!

ヘッド高さが Low の場合は、High に切り替えてから移動させてください。

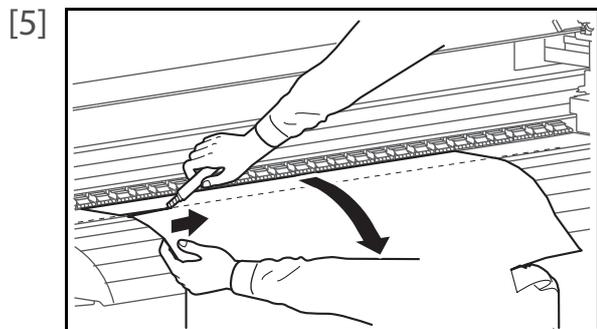
移動後は、また Low に戻してください。

[「ヘッド高さを変更する」P.47](#)

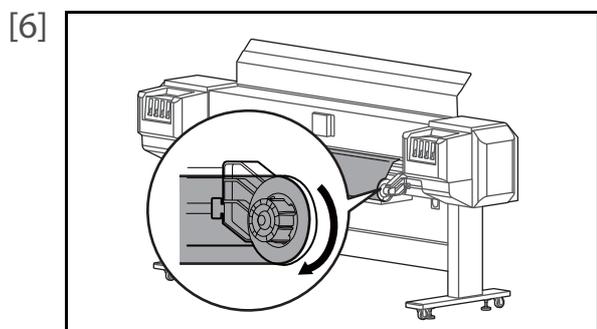
[4]



メディアセットレバーを上げます。



[5] メディアを手前側に引き出して、破れた部分をカッターナイフ等でカットします。



[6] ロール紙受けのフランジを回して、ロール紙を巻き取ります。

[7] 製品内部に紙くず、紙片等が残っている場合は、破れた紙片を取り除きます。

[8] フロントカバーを閉じて、プリンターの電源をオンにします。

[9] ノズルチェックを行います。

👉 「ノズルチェックとクリーニング」P.38

- ・ノズル抜けがある場合は、「クリーニングの手順」P.40 に進みます。
- ・ノズル抜けがない場合は、印刷を開始できます。

お問い合わせ先

本製品で技術的に困りのことがございましたら、MUTOH カスタマーサポートまでお問い合わせください。

MUTOH カスタマーサポート

TEL: ☎ 0120-174911

FAX: ☎ 0120-184711

E-mail: gsup@mutoh.co.jp

営業日：月～金曜日（土、日、祝祭日、弊社指定休日を除く）

受付時間：午前 9:00 ～ 12:00、午後 1:00 ～ 5:00

本製品の仕様

仕様一覧

機種名	VJ-1638UR2
印刷方式	オンデマンドピエゾ方式
駆動方式	ファームウェアサーボ /DC モーター駆動
メディア搬送方式	多点加圧式グリッドローラー方式
メディア固定	手動レバーによる加圧ローラーダウン方式
インク硬化装置	UV-LED ランプ
使用できるメディア	外径 150mm 以下 紙管径 2 インチまたは 3 インチ 重量 30 kg 以下 最大幅 1,625 mm 最小幅 182 mm 最大厚さ 0.3 mm (ヘッド高さ Low 時) 1.3 mm (ヘッド高さ High 時)
最大印字幅	1,615 mm
最大印刷長さ	200 m
ヘッド高さ調整	Low / High の 2 段階調整
CPU	64bit RISC CPU
メモリ	384 MB
インターフェース	Gb-Ethernet (1000BASE-T)
廃液タンク	本体固定式、容量 2,000 ml、ユーザーによる廃液排出
インク	色 4 色 (ブラック、シアン、マゼンタ、イエロー) 5 色 (ブラック、シアン、マゼンタ、イエロー、バーニッシュ、洗浄液) 6 色 (ブラック、シアン、マゼンタ、イエロー、ホワイト、バーニッシュ) 種類 220 ml インクカートリッジ、800 ml インクパック (ホワイトは 500 ml インクパック)

環境条件	本体動作環境	温度：20℃～32℃、湿度：40%～60% 結露なきこと
	本体精度保証環境	温度：22℃～30℃、湿度：40%～60% 結露なきこと
	本体保存環境	・インク未充てん保存：6ヶ月以内 温度：-20℃～60℃、湿度：20%～80% 結露なきこと ・インク充てん保存：30日以内 温度：5℃～30℃、湿度：20%～80% 結露なきこと
	インク保存環境	・ソフト UV インク (US11) ブラック、シアン、マゼンタ、イエロー、バーニッシュ（各 200 ml または 800 ml ホワイト（220 ml または 500 ml） 温度：5℃～35℃ 湿度：結露なきこと ・洗浄カートリッジ（200 ml） 温度：5℃～35℃ 湿度：結露なきこと
電源	電圧	AC 100V ～ 240V ±10%
	周波数	50/60Hz ±1Hz
消費電力	電源オフ	4 W 以下
	待機時	55 W 以下
	スリープモード	25 W 以下
	オペレーション	770 W 以下
消費電流	100V ～ 120V	10.0 A 以下
	200V ～ 240V	4.0 A 以下
外形寸法	高さ	1,261 mm（カバーオープン時：1,529 mm）
	幅	2,983 mm
	奥行き	818 mm
質量	本体	152 kg
	脚部	37 kg

オプション・サプライ品リスト

インク

型番	名称	販売単位
US11-BK220U	ソフト UV インクブラック (Bk) 220 ml	1 箱 (1 個入り)
US11-CY220U	ソフト UV インクシアン (Cy) 220 ml	1 箱 (1 個入り)
US11-MA220U	ソフト UV インクマゼンタ (Ma) 220 ml	1 箱 (1 個入り)
US11-YE220U	ソフト UV インクイエロー (Ye) 220 ml	1 箱 (1 個入り)
US11-VA220U	ソフト UV インクバーニッシュ (Va) 220 ml	1 箱 (1 個入り)
US11-WH220U	ソフト UV インクホワイト (Wh) 220 ml	1 箱 (1 個入り)
US11-BK800U	ソフト UV インクブラック (Bk) 800 ml	1 箱 (1 個入り)
US11-CY800U	ソフト UV インクシアン (Cy) 800 ml	1 箱 (1 個入り)
US11-MA800U	ソフト UV インクマゼンタ (Ma) 800 ml	1 箱 (1 個入り)
US11-YE800U	ソフト UV インクイエロー (Ye) 800 ml	1 箱 (1 個入り)
US11-VA800U	ソフト UV インクバーニッシュ (Va) 800 ml	1 箱 (1 個入り)
US11-WH500U	ソフト UV インクホワイト (Wh) 500 ml	1 箱 (1 個入り)
VJ-LUH1-CL220U	洗浄液 (CL) 220 ml	1 箱 (1 個入り)

その他

型番	名称	販売単位
VJ-HCIPADPT-UV8	大容量インクパックアダプター	1箱 (8個入り)
VJ16/19-TUP30	30kg 対応簡易巻き取り装置	—
VJ16/19-TUP40U	40kg 対応簡易巻き取り装置	—
VJ-ULVA1-ML500	メンテナンス液	1箱 (1本入り)
RH2 クリーンスティック	クリーンスティック	1箱 (100本入り)
POLYNITW2	ポリニットワイパー	1箱 (300枚入り)
DROPPER 6PACK SET	スポイト	1箱 (6個入り)
VJ-CB	VJ用カッター替刃	1箱 (1個入り)
VJ-FBPAD-U3	フラッシングボックス吸収材	1箱 (3個入り)
VJ1638UH-WIP	交換用クリーニングワイパー	1箱 (2個入り)
VJ-AC15SJ	ACケーブル (日本国内安全規格対応品)	1箱 (1本入り)



Note

詳細についてはお買い求めの MUTOH 製品取扱店または MUTOH 各営業所にお問い合わせください。

[「お問い合わせ先」P.158](#)

改訂履歴

制定年月	版数	マニュアル管理番号	対応ファームウェア
2020.10	00	VJ1638UR2J-A-00	V.1.06
2020.11	01	VJ1638UR2J-A-01	V.1.06
2021.2	02	VJ1638UR2J-A-02	V.1.06
2021.9	03	VJ1638UR2J-A-03	V.1.09
2025.12	04	VJ1638UR2J-A-04	V.1.11 以降

MUTOH